

**令和5年度
武藏野市子どもの学習・生活に関する調査
報告書**

**令和6年1月
武藏野市教育委員会**

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査実施の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査方法と回収状況	3
(1)調査方法	3
(2)回収依頼方法	3
(3)回収状況	3
4 調査項目	4
5 調査結果を見る上での注意事項	4
6 調査結果の概要	5
(1)児童・生徒	5
(2)保護者	6
(3)教員	7
第2章 調査結果の詳細	9
1 児童・生徒	11
(1)学校生活について	11
(2)放課後について	22
(3)「子どもの権利」について	28
2 保護者	32
(1)子どもの日常の様子について	32
(2)心配事や相談先について	34
(3)子どもの学校での様子などについて	38
(4)武藏野市の教育施策などについて	47
3 教員	52
(1)基本属性	52
(2)やりがいや充実感について	54
(3)学校教育の現状や推進していくべきことなどについて	56
(4)武藏野市の教育施策などについて	62
第3章 調査結果の分析	65
1 クロス集計比較	67
(1)児童・生徒	67
(2)保護者	73
(3)教員	77
2 三者比較・二者比較	79
(1)変えたいきまりやルールの有無	79

(2)学校の取り組みや行事のときに意見を聞いてもらえるか	80
(3)学校の取り組みや行事のときに目的や目標を考えているか	81
(4)学校で進めてほしいこと	82
(5)学校に協力できること	83
資料(調査票)	85
1 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査(小学校6年生用).....	87
2 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査(中学校3年生用)	94
3 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査(保護者用)	101
4 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査(教員用)	111

第1章 調査の概要

1 調査実施の目的

本市の市立小中学校に在学する児童・生徒の学習や生活に関する意識や現状、保護者の学校教育に関する考え方や子どもとの関わり方、教員の児童・生徒との関わり方や家庭や地域との連携に関する意向を把握することにより、第四期武蔵野市学校教育計画及び第六次子どもプラン武蔵野の策定のための基礎資料とする。

なお、毎年度行われている「全国学力・学習状況調査（国）」や「児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都）」等の質問項目と比較して、本調査の質問項目を精査することで、回答者及び学校の負担軽減を図った。

2 調査の対象

市立小学校6年生及び中学校3年生とその保護者。市立小中学校の全教員。

*対象学年が兄弟姉妹にいる場合、保護者は長子について回答する。

3 調査方法と回収状況

（1）調査方法

調査期間	児童・生徒 保 護 者	令和5年6月20日～7月25日
	教 員	令和5年7月20日～8月25日
調査方法	WE Bアンケート調査（無記名）	

（2）回収依頼方法

児童・生徒	全市立小中学校、チャレンジルーム、むさしのクレスコールを通じて、児童・生徒に回答依頼のチラシを配布した。 学習者用コンピュータの掲示板上で回答を依頼するとともに、回答画面のURLをブックマーク登録した。 授業時間中に回答する時間を設けることが難しい場合は、休み時間や帰宅後等に児童・生徒が各自で回答することも可能とした。
保 護 者	児童・生徒を通じて回答依頼のチラシを配布するとともに、各学校から保護者用メールにて回答を依頼した。
教 員	回答依頼のチラシを配布するとともに、教員が使用する校務支援システムの掲示板上で回答を依頼した。

（3）回収状況

調査対象	調査対象者数	有効回収数	有効回収率
児童・生徒	小学校6年生	1,191人	831件
	中学校3年生	747人	243件
保 護 者	1,938人	1,054件	54.4%
教 員	471人	313件	66.5%

*調査対象者数は、それぞれ令和5年5月1日現在。また、保護者については対象学年の兄弟姉妹の確認が困難であるため、対象学年の児童生徒数を合算した数としている。

4 調査項目

児童・生徒	1. 学校生活について 2. 放課後について 3. 「子どもの権利」について
保 護 者	1. 子どもの日常の様子について 2. 心配事や相談先について 3. 子どもの学校での様子などについて 4. 武蔵野市の教育施策などについて
教 員	1. 基本属性 2. やりがいや充実感について 3. 学校教育の現状や推進していくべきことなどについて 4. 武蔵野市の教育施策などについて

5 調査結果を見る上での注意事項

- ① 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ② 構成比は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため、合計が100にならない場合や、複数の選択肢の数値の合計がグラフ中の数値の合計と一致しない場合がある。
- ③ 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ④ 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中に触れていない場合がある。
- ⑤ 前回（平成30年度）調査で類似の設問を実施していた場合、その結果を掲載しているが、今回とは聴取方法が異なり、また設問文や選択肢等も変更となっている場合があるため、参考値としての掲載にとどめる。
- ⑥ 自由記述形式の設問については回答を分類して集計しているが、回答者が1名の回答については「その他」としてまとめている。

6 調査結果の概要

(1) 児童・生徒

① 学校生活について

- 1)学校生活については、「楽しいときが多い」が全体で5割を超え、「まあ楽しい」と合わせると、小学生6年生は8割半ばを上回り、中学校3年生は約9割を占めている。
- 2)学校で「楽しい」と感じることについては、「友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき」が8割弱と最も高く、次いで「好きなことをして、のんびりと過ごしているとき」が続き、3番目は小学校6年生では「給食を食べているとき」、中学校3年生では「授業中に問題が解けたとき」となっている。
- 3)悩みや困ったことがあったときの相談先としては、小学校6年生では「家族」が約6割、次いで「友達」が5割強と続くが、中学校3年生では順位を入れ替わり、「友達」が6割半ばで最も高く、次いで「家族」が約5割となっている。
- 4)学校の取り組みや行事のときに意見を聞いてもらえるかどうかについては、「よく聞いてくれる」が全体で6割強を占め、「少し聞いてくれる」と合わせると約9割となっている。
- 5)学校の取り組みや行事のときに目的や目標を考えているかどうかについては、「よく考えている」が全体で4割半ばを上回り、「少し考えている」と合わせると8割強を占めている。
- 6)変えたいきまりやルールの有無については、小学校6年生、中学校3年生ともに「ある」が2割強を占めている。
- 7)学校でもっとやってほしいことややってみたいこととしては、小学校6年生は「学習者用コンピュータなどを使って自分が興味のあることを調べること」が4割と最も高く、次いで「動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること」が2番目に高くなっている。一方で、中学校3年生では「いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること」が3割半ばで最も高く、次いで「プロの音楽家の演奏を聴いたり、美術作品を見たりすること」が2番目に高くなっている。

② 放課後について

- 1)放課後に一番よくいる場所としては、「自分の家」が全体で6割弱と最も高く、次いで「塾・習い事」が続き、3番目は小学校6年生が「公園」、中学校3年生が「クラブ活動・部活動」となっている。
- 2)放課後に何をして過ごしているかについては、「勉強（塾を含む）」が全体で約6割と最も高く、2番目は小学校6年生が「友達と遊ぶ」、中学校3年生は「スマホ・タブレット・パソコンで動画・SNSを見る（投稿する）」となっている。
- 3)放課後の勉強については、「塾で勉強したり、家庭教師に教えてもらう」が全体で約6割と最も高く、次いで「家で教科書や参考書を使って勉強する」と続くが、3番目は小学校6年生が「家の人に教えてもらったり、家人と一緒に勉強をしたりする」、中学校3年生が「学習者用コンピュータや家のタブレットやパソコンを使って勉強する」となっている。
- 4)放課後や休日に自分のやりたいことをする時間があるかどうかについては、「ある」は小学校6年生で6割半ばを上回り、中学校3年生で約6割となっている。一方で、「あまりない」・「ない」との回答は小学校6年生、中学校3年生ともに約1割となっている。

③「子どもの権利」について

- 1) 「子どもの権利」については、「内容を知っている」・「名前だけ知っている」との回答は全体で9割強を占めているが、「内容を知っている」だけでみると、小学校6年生が約6割、中学校3年生が3割強である。
- 2) 8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものについては、小学校6年生では「安心して生きる権利」が約6割、次いで「自分らしく育つ権利」が5割強と続くが、中学校3年生では順位を入れ替わり、「自分らしく育つ権利」が5割半ばで最も高く、次いで「安心して生きる権利」が4割半ばとなっている。
- 3) 家族の中にいつも助けたり、世話をしている人がいるかどうかについては、「いる」が全体で1割強を上回っており、小学校6年生では1割半ばと、1割を下回る中学校3年生より高くなっている。
- 4) 家族を助けたり、世話をしていることによる影響としては、「特に影響はない」が世話をしている人全体の約5割を占める一方で、「自分のやりたいことや好きなことをする時間が少ない」が約2割、「お世話をすることがストレスでイライラすることが多い」が1割半ばを上回るなど、影響があるとの回答もみられる。

(2) 保護者

① 子どもの日常の様子について

- 1) 子どもが学校に楽しそうに通っているかどうかについては、「いつも楽しそう」・「楽しそうなときが多い」との回答が全体で8割強を占めている。一方で、「楽しそうなときが多い」・「いつも楽しそうでない」との回答は1割半ばとなっている。
- 2) 子どもが話す学校での出来事の内容については、「友達と話したことや遊んだこと」が全体の7割半ばと最も高く、次いで、「学校の先生のこと」、「その日学習したこと」と続いている。

② 心配事や相談先について

- 1) 子どもの日常生活について心配していることとしては、小学校6年生の保護者では「友人関係」が4割強で最も高く、次いで「勉強や成績のこと」、「SNSとの付き合い方」と続いている。一方で、中学校3年生の保護者では「勉強や成績のこと」が約7割と最も高く、次いで「SNSとの付き合い方」、「友人関係」と続いている。
- 2) 子育ての悩みの相談先については、「家族」が8割強を上回って最も高く、次いで「知人・友人」が約7割、「学校の先生」が2割半ばと続いている。

③ 子どもの学校での様子について

- 1) 学校の取り組みや行事のときに、先生が子どもたちの考えを聞いていると思うかどうかについては、「よく聞いている」が全体で5割強を占め、「少しは聞いている」と合わせると約8割となっている。

- 2)学校の行事や取り組みのときに、子どもが目的や目標を考えていると思うかどうかについては、「よく考えている」が全体で4割弱であり、「少しこそ考えている」と合わせると8割弱を占めている。
- 3)変えたいきまりやルールの有無については、小6保護者では「ある」が4割弱、中3保護者では4割半ばとなっている。
- 4)学校でもっと進めてほしいこととしては、「生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）」と「子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実」がともに6割強と高く、次いで、「働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）」が5割半ばで続いている。
- 5)よりよい教育活動を推進するために学校に協力できるものとしては、「子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実」が2割半ばを上回り最も高く、次いで「健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）」と「開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）」が2割弱で続いている。

④ 武蔵野市の教育施策について

- 1)武蔵野市の教育施策で知っているものとしては、「スクールカウンセラーによる相談」が8割強を上回り最も高く、次いで「就学援助制度（学用品費、給食費の援助）」が6割強、「武蔵野市子どもの権利条例」が4割半ばと続いている。
- 2)「子どもの権利」については、「内容を知っている」・「名前だけ知っている」との回答は全体で9割強を占めているが、「内容を知っている」だけでみると、小6保護者、中3保護者ともに3割台となっている。
- 3)子どもに関わる費用で負担を感じているものについては、「学力向上のための費用（塾、学習参考書、通信教材）」が6割弱と最も高く、次いで「大学等への進学のための費用」が4割強、「習いごと（ピアノ、ダンス、書道など）やスポーツクラブでの活動」が3割半ばと続いている。
- 4)地域や保護者のボランティアが行うなど、必ずしも学校が担う必要がないものとしては、「放課後や夜間、お祭りの時の見回り」が約6割と最も高く、次いで「登下校時の見守り」が5割強、「中学校の部活動や小学校の吹奏楽部、合唱クラブの練習」が4割弱と続いている。

(3) 教員

① やりがいや充実感について

- 1)今の仕事へのやりがいや充実感については、「よく感じている」が4割強を占め、「感じるときもある」と合わせると9割強を占めている。
- 2)仕事のやりがいや充実感を感じるときについては、「受け持っている子どもの成長を感じたとき」が8割半ばを上回り最も高く、次いで「子どもや保護者からの感謝の言葉を述べられたとき」が7割半ば、「同僚や管理職から自分の仕事が認められたとき」が約6割と続いている。

② 学校教育の現状や推進していくべきことなどについて

- 1)学校の取り組みや行事のときに、子どもたちの考えを聞いているかについては、「よく聞いている」が約5割であり、「少しは聞いている」と合わせると9割強を占めている。「よく聞いている」は中学校教員よりも小学校教員の方が約7ポイント高くなっている。
- 2)学校の行事や取り組みのときに、子どもたちに目標を考えさせているかについては、「よく考えさせている」が7割半ばを上回り、「たまに考えさせている」と合わせると9割半ばを占めている。
- 3)変えたいきまりやルールの有無については、「ある」が4割強を占めている。「ある」は小学校教員よりも中学校教員の方が約7ポイント高くなっている。
- 4)学校教育でもっとやっていくとよいと思うことについては、「働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）」が8割強と最も高く、次いで「多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通した合意形成など）」と「特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）」がともに6割半ばで続いている。
- 5)よりよい教育活動の推進のために保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みについては、「働き方改革の推進」が6割強と最も高く、次いで「不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、ＳＣやＳＳＷなど関係機関、ＮＰＯとの連携など）」が5割半ば、「体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞など）」が5割弱と続いている。
- 6)市講師や部活動指導員、ＩＣＴサポーター等との連携を進めていく上の課題については、「勤務時間内に打ち合わせをする時間がない」が7割強と最も高く、次いで「学校に来る人材が、それぞれどのような役割を担っているのかが分からぬ」が約4割、「学校の実態に合った人材を探すことが難しい」が4割弱と続いている。「学校の実態に合った人材を探すことが難しい」と「学校教育や子どもに関わる人材としての素養が不十分な場合がある」は、小学校教員よりも中学校教員の方が20ポイント以上高くなっている。

③ 武蔵野市の教育施策について

- 1)武蔵野市の施策で知っているものについては、「武蔵野市民科の実施」が9割強を占めて最も高く、次いで「学校司書（図書館サポーター）の配置」も約9割、「開かれた学校づくり協議会」が8割強、「子どもの権利条例」が8割を占めている。一方で、「プログラミング教材の貸出」と「子どもの家庭生活気づきのチェックリスト」は3割強の認知度であった。
- 2)「子どもの権利」については、「内容を知っている」が8割強を占め、「名前だけ知っている」が1割半ばとなっており、「全く知らない」との回答はなかった。
- 3)「子どもの権利」を教えるにあたって感じている難しさとしては、「子どもの権利について教える時間がない」が4割強と最も高く、次いで「子どもに関心を持ってもらうのが難しい」が4割弱、「適切な教材がない」が3割強と続いている。一方で、「難しさを感じていない」は1割を下回っているが、勤務校別にみると、小学校教員よりも中学校教員の方が約11ポイント高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

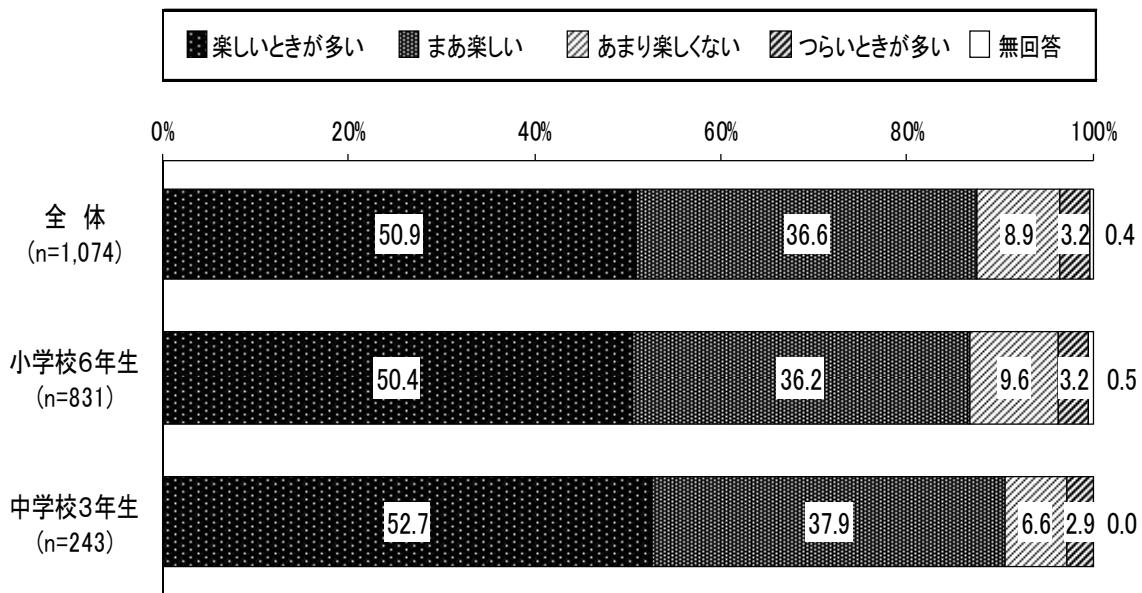
1 児童・生徒

(1)学校生活について

Q1 あなたにとって学校はどんな場所ですか？

全体では、「楽しいときが多い」(50.9%)と「まあ楽しい」(36.6%)を合計した《楽しい》が87.5%となっている。

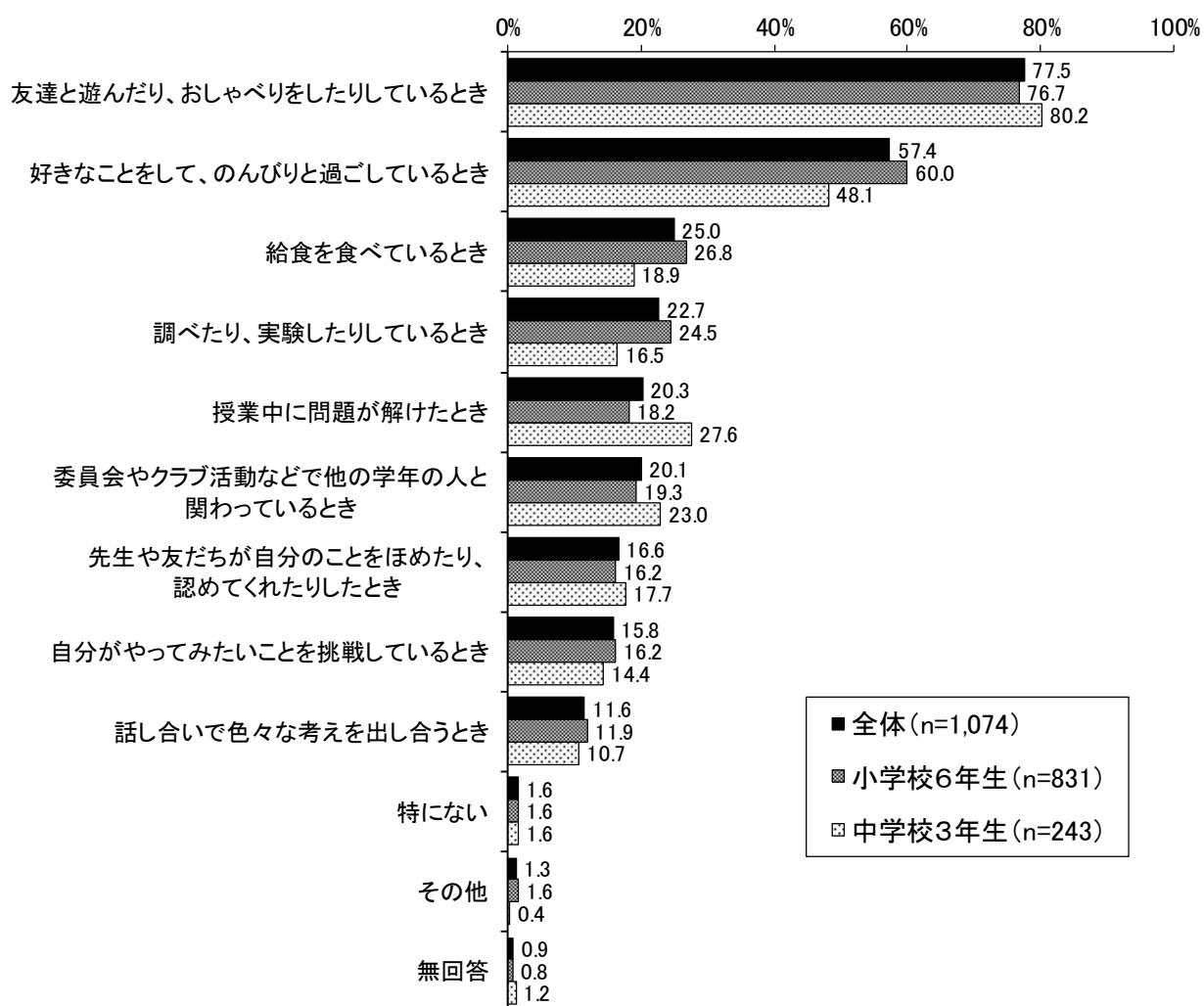
《楽しい》は、小学校6年生では86.6%、中学校3年生では90.5%となっている。



Q2 学校にいるときに「楽しい」と感じるのはどんなときですか？3つまで選んでください。
 Q1で「あまり楽しくない」、「つらいときが多い」を選んだ人も、少しでも楽しいと感じたことがあれば、そのときがどんなときだったかを選んでください。

全体では、「友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき」が77.5%と最も高く、次いで「好きなことをして、のんびりと過ごしているとき」(57.4%)、「給食を食べているとき」(25.0%)と続いている。

小学校6年生、中学校3年生ともに、「友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき」と「好きなことをして、のんびりと過ごしているとき」が上位2項目となっているが、3番目に高い項目は、小学校6年生では「給食を食べているとき」、中学校3年生では「授業中に問題が解けたとき」となっている。



* 「その他」の回答としては、「好きな教科のとき」、「クラブ活動をする時」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

学校で楽しいと思うことを 1 つ書いてください。(自由記述)

平成 30 年度は自由記述で聴取しており、回答を分類して集計した結果を以下に掲載する。

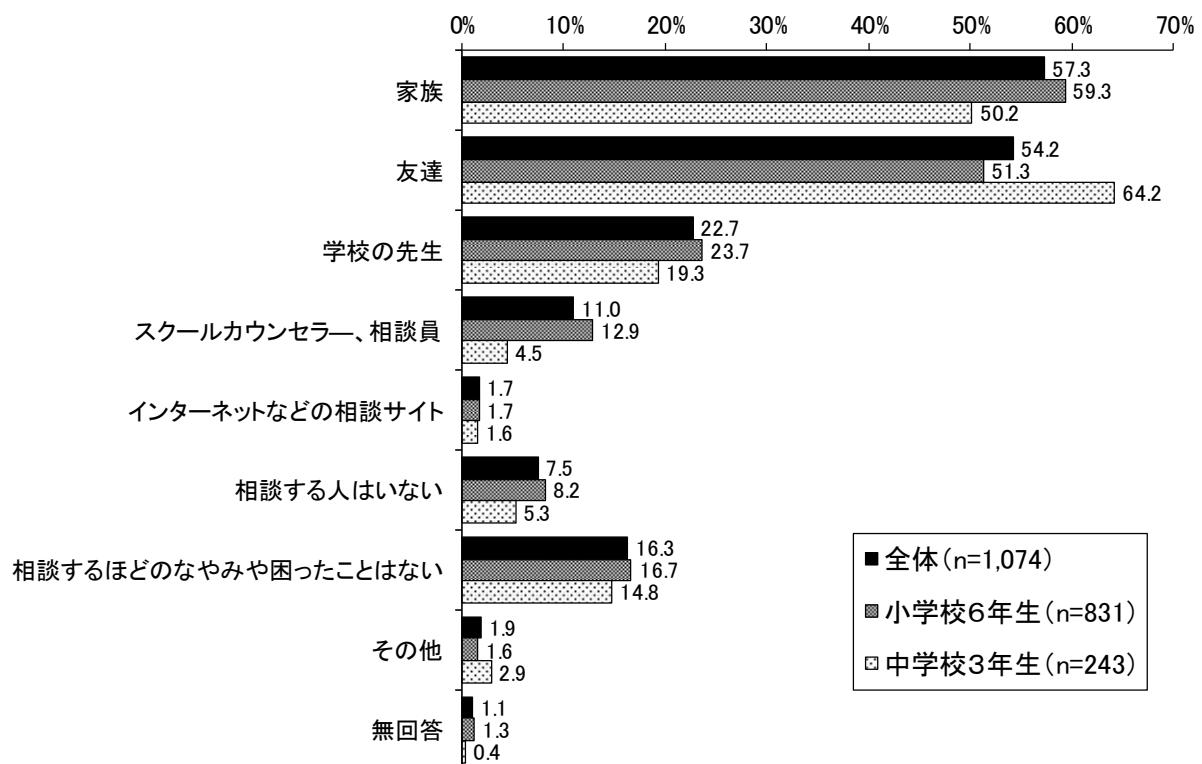
										(%)	
小学校		なかのよい友だちがたくさんいるから	調べたり、実際にやつてみたりする授業が多いから	放課後自由に遊べるから（休時間なども含めている）	クラスやクラブ活動・委員会でいろいろな活動ができるから	給食	先生がよくわかるように教えてくれるから	上級生がやさしいから	規則が厳しくないから	その他（掃除や全てなど）	特にないなど
4年生 (n=815)	29.4	35.5	24.2	5.4	2.2	0.8	0.2	0.2	0.9	1.2	
6年生 (n=838)	33.8	22.2	29.7	7.2	4.8	0.7	1.1	0.0	0.2	0.4	

										(%)
中学校		友達がたくさんいるから	放課後自由に遊べるから（休時間なども含めている）	クラスやクラブ活動・委員会でいろいろな活動ができるから	調べたり、実際にやつてみたりする授業が多いから	先生がよくわかるように教えてくれるから	上級生が優しいから	その他（給食がほとんど）	特にないなど	
2年生 (n=593)	45.0	20.2	17.5	10.1	1.0	0.2	3.7	2.2		

Q3 悩みや困ったことがあったときはだれに相談しますか？あてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「家族」が57.3%と最も高く、次いで「友達」(54.2%)、「学校の先生」(22.7%)と続いている。

小学校6年生では最も高い項目は「家族」であるが、中学校3年生では「友達」が最も高くなっている。



* 「その他」の回答としては、「塾の先生」、「相談しない」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

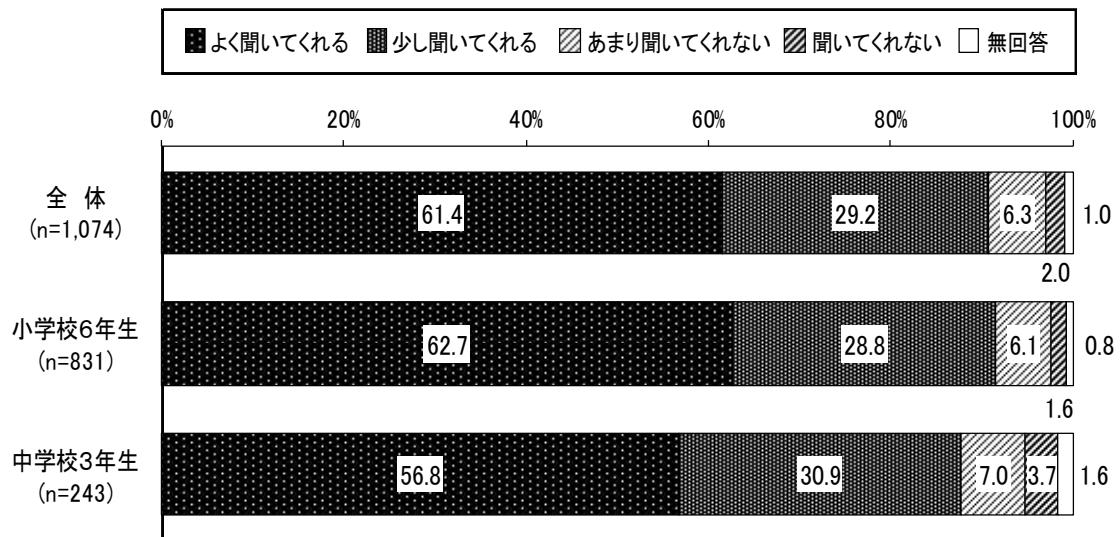
あなたが、困ったときに一番よく相談する人は、だれですか。(○は1つ)

	母	友達	父	兄弟・姉妹	学校の先生	祖父母	相談員	スクールカウンセラー	親戚のおじさん・おばさん	インターネットなどの 相談サイト	(%) 電話相談窓口の人
全 体 (n=2,378)	43.5	18.5	4.8	3.4	1.7	1.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
小学校 4 年生 (n=914)	51.9	11.7	7.2	4.7	1.6	1.4	1.0	0.0	0.0	0.1	0.0
小学校 6 年生 (n=861)	41.9	19.0	3.9	2.3	2.0	0.8	1.0	0.1	0.0	0.0	0.1
中学校 2 年生 (n=603)	33.2	27.9	2.3	2.8	1.5	1.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	相談できる人はいない	い	特に相談したいと思わない	無回答						
全 体 (n=2,378)	2.0	3.2	20.3	0.7							
小学校 4 年生 (n=914)	1.3	3.0	15.5	0.5							
小学校 6 年生 (n=861)	2.4	4.4	20.9	0.9							
中学校 2 年生 (n=603)	2.3	1.8	26.5	0.5							

Q4 セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイディアや考えを聞いてくれますか？

全体では、「よく聞いてくれる」(61.4%)と「少し聞いてくれる」(29.2%)を合計した《聞いてくれる》が90.6%となっている。

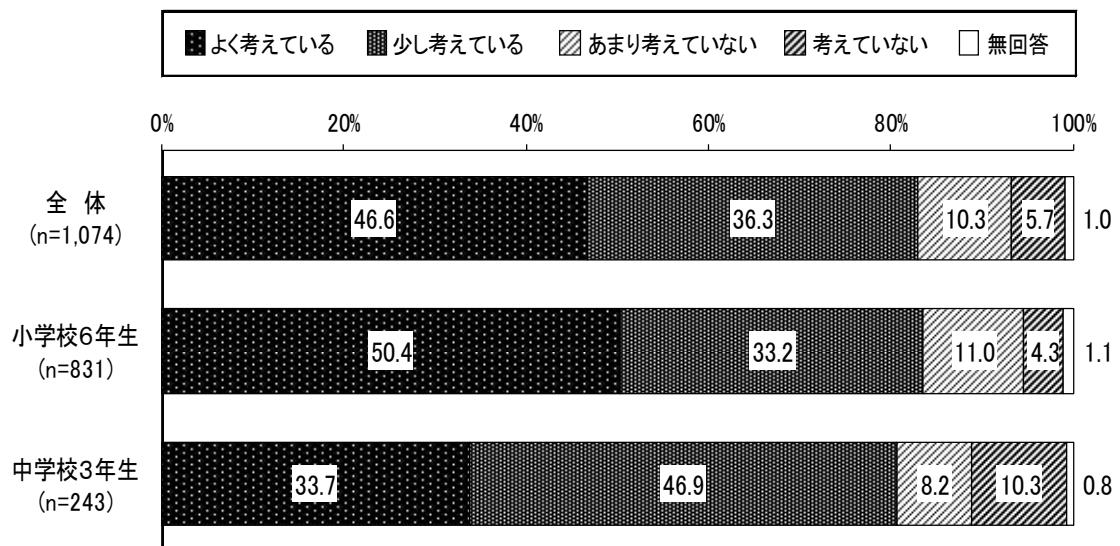
《聞いてくれる》は、小学校6年生では91.5%、中学校3年生では87.7%となっている。



Q5 あなたは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういうことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？

全体では、「よく考えている」(46.6%)と「少し考えている」(36.3%)を合計した《考えている》が83.0%となっている。

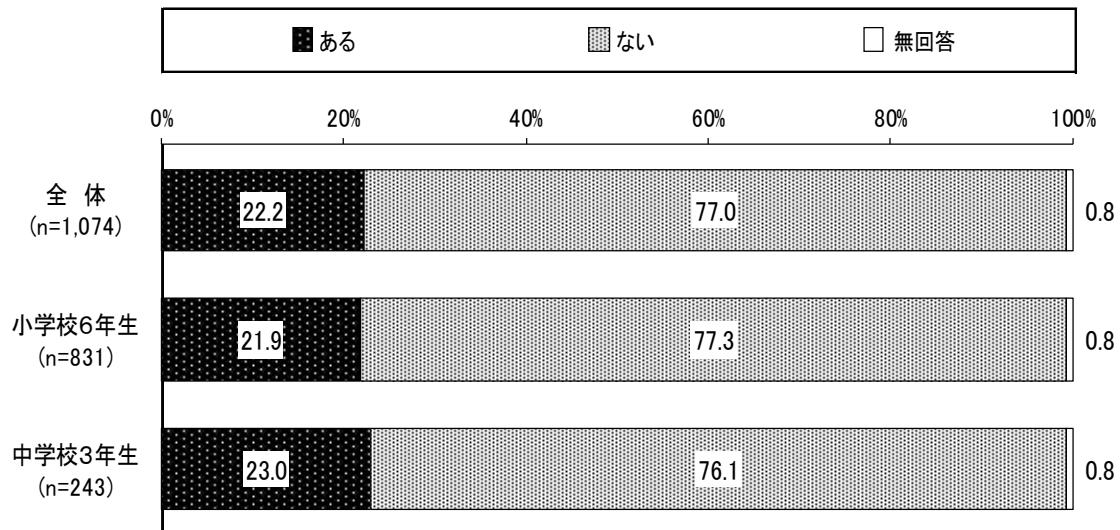
《考えている》は、小学校6年生では83.6%、中学校3年生では80.7%となっている。



Q 6 あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものはありませんか？

全体では、「ある」が 22.2%、「ない」が 77.0% となっている。

「ある」は、小学校 6 年生では 21.9%、中学校 3 年生では 23.0% と大きな差はみられない。



Q 6-2 それはどんなきまりやルールですか？（自由記述）

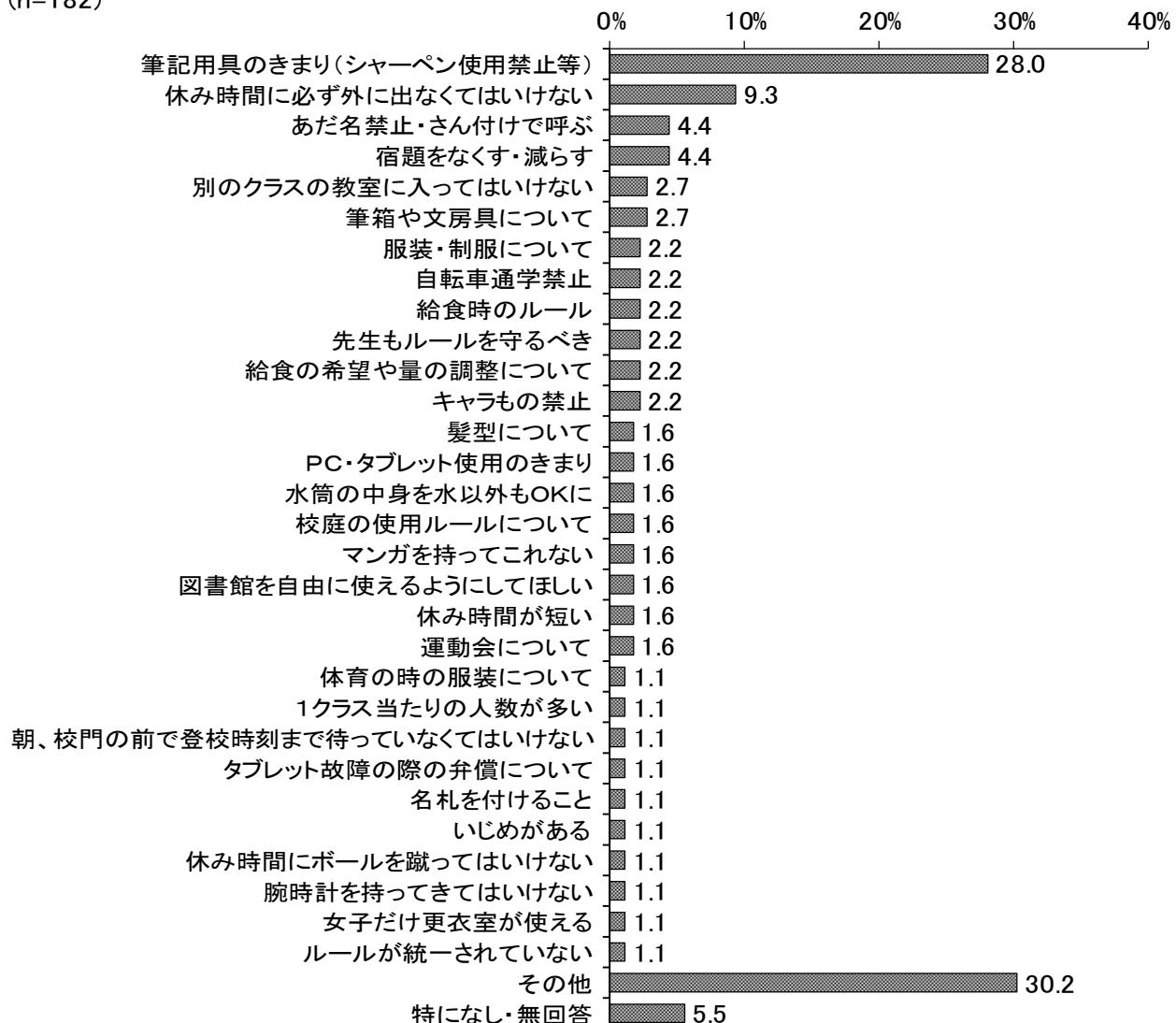
Q 6 で「ある」と回答した人に「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているのはどんなきまりやルールか尋ねたところ、小学校 6 年生では、「筆記用具のきまり（シャーペン使用禁止等）」が 28.0% と最も高く、次いで「休み時間に必ず外に出なくてはいけない」(9.3%)、「あだ名禁止・さん付けで呼ぶ」、「宿題をなくす・へらす」(ともに 4.4%) と続いている。

中学校 3 年生では、「服装・制服について」が 23.2% と最も高く、次いで「髪型について」(17.9%)、「カーディガンを着てはいけない」(12.5%) と続いている。

*この設問は自由記述であるが回答を分類して集計している。

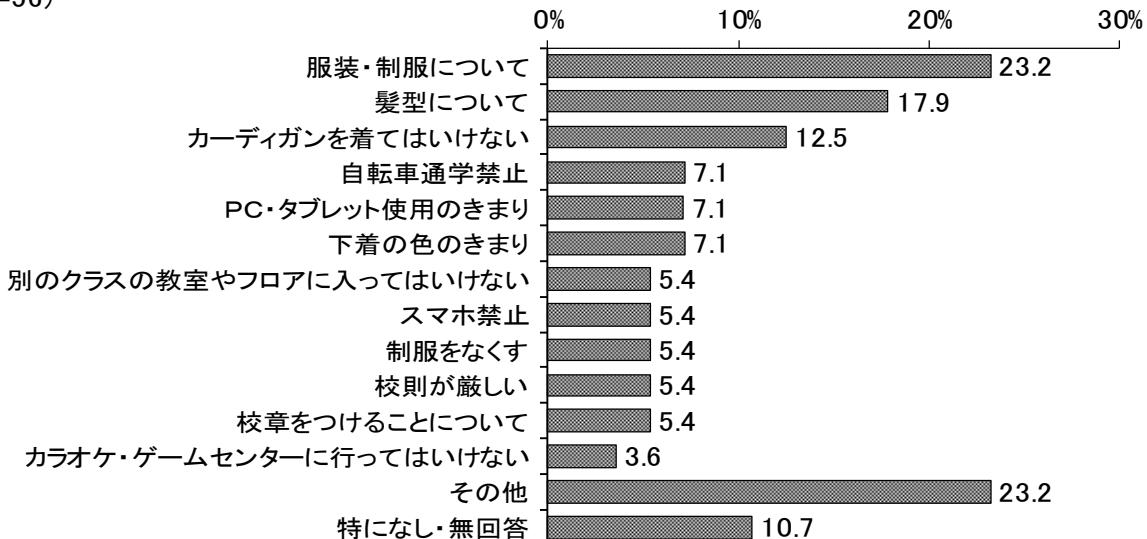
●小学校6年生

(n=182)



●中学校3年生

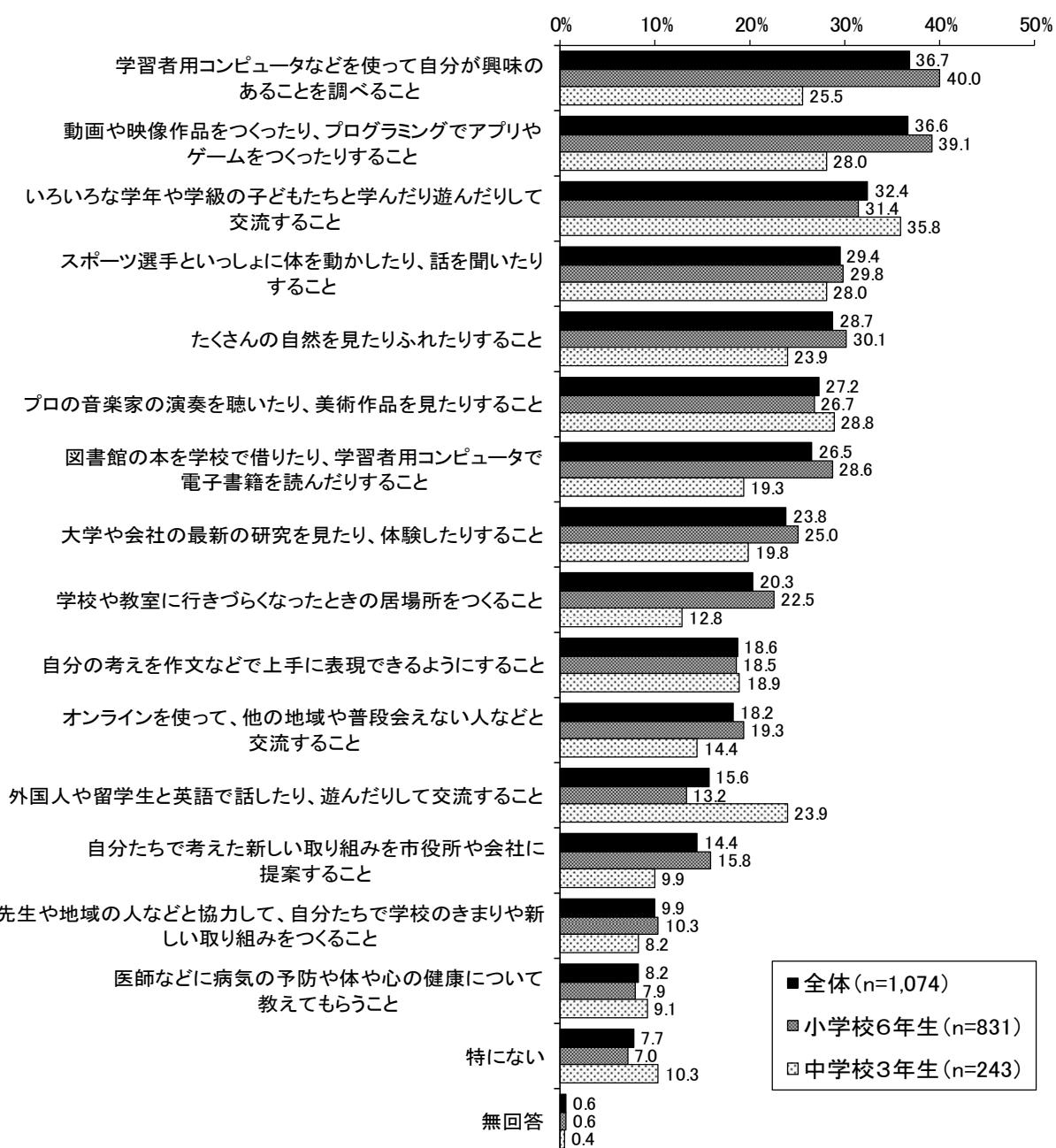
(n=56)



Q7 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？5つまで選んでください。

全体では、「学習者用コンピュータなどを使って自分が興味のあることを調べること」が36.7%と最も高く、次いで「動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること」(36.6%)、「いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること」(32.4%)と続いている。

小学校6年生の上位3項目は全体と同様であるが、中学校3年生は「いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること」が最も高く、2番目は「プロの音楽家の演奏を聴いたり、美術作品を見たりすること」、3番目は「スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること」と「動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること」が同率となっている。



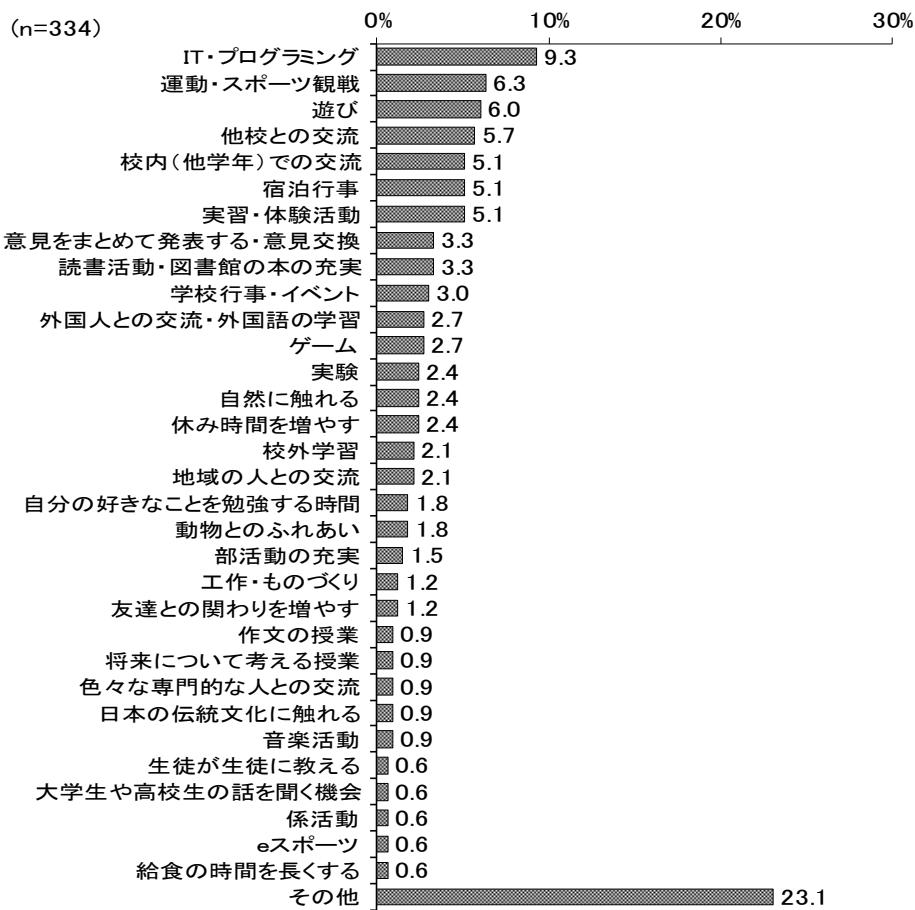
Q8 Q7以外に、学校で「もっとやってほしい」、「あなたがやってみたい」と思うことは何ですか？（自由記述）

Q7以外に、学校で「もっとやってほしい」、「やってみたい」と思うことについて尋ねたところ、小学校6年生では334人からの回答があり、「IT・プログラミング」が9.3%と最も高く、次いで「運動・スポーツ観戦」(6.3%)、「遊び」(6.0%)と続いている。

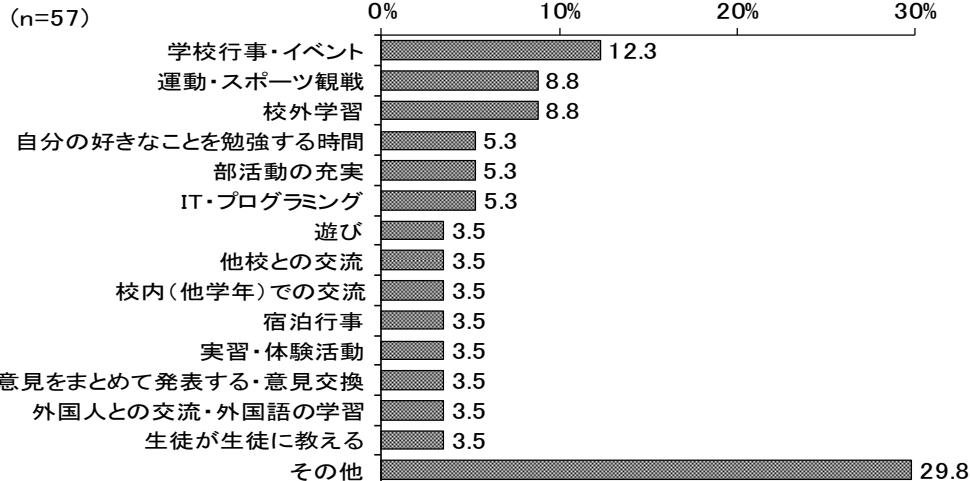
中学校3年生では57人からの回答があり、「学校行事・イベント」が12.3%と最も高く、次いで「運動・スポーツ観戦」、「校外学習」(ともに8.8%)と続いている。

*この設問は自由記述であるが、回答を分類して集計している。

●小学校6年生



●中学校3年生

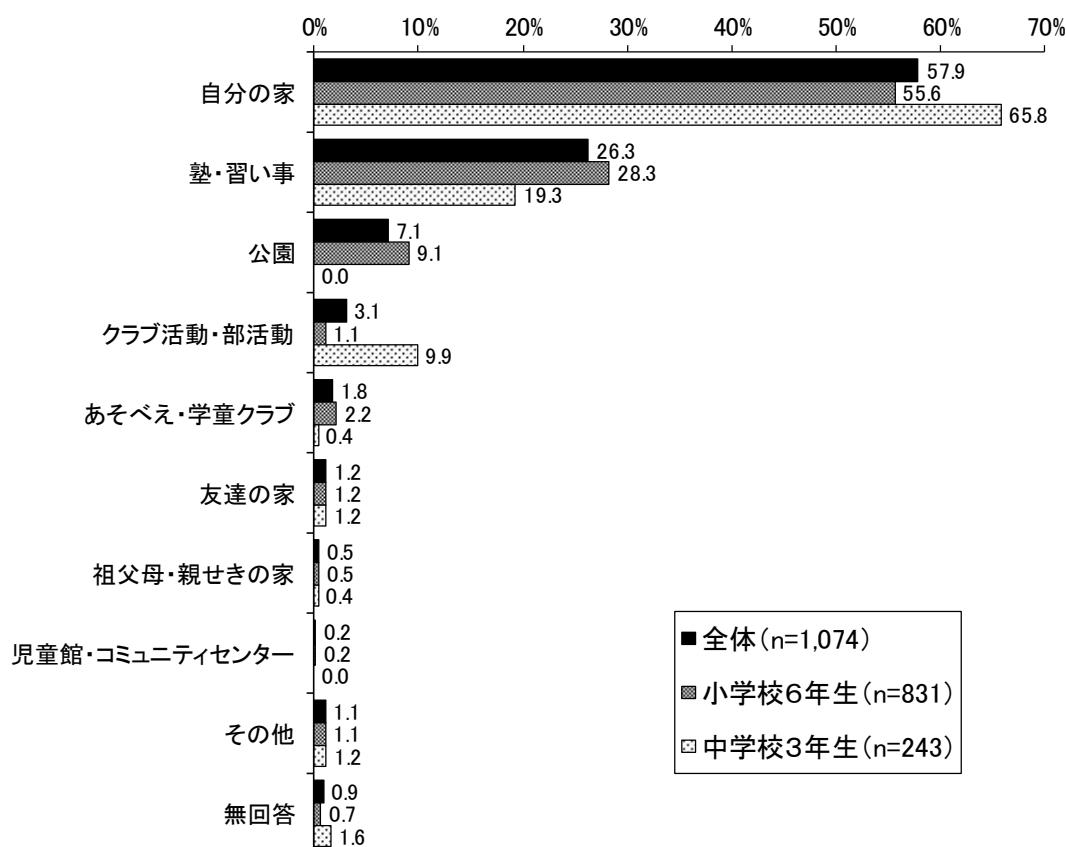


(2)放課後について

Q9 放課後に、一番よくいる場所はどこですか？1つ選んでください。

全体では、「自分の家」が 57.9%と最も高く、次いで「塾・習い事」(26.3%)、「公園」(7.1%)と続いている。

小学校6年生、中学校3年生ともに、「自分の家」と「塾・習い事」が上位2項目となっているが、3番目に高い項目は、小学校6年生では「公園」、中学校3年生では「クラブ活動・部活動」となっている。



* 「その他」の回答としては、「図書館」、「マンション内のフリースペース」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

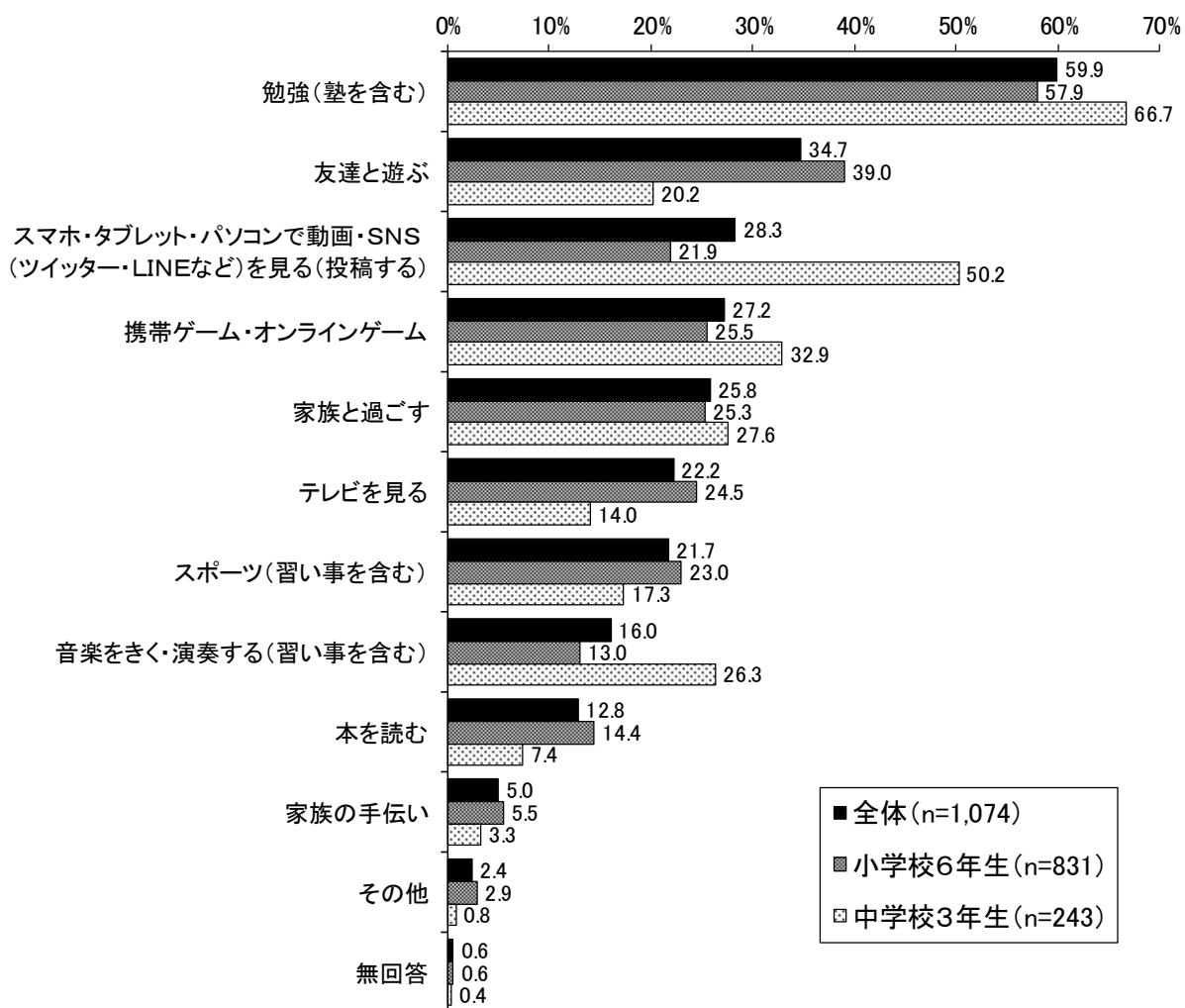
あなたは、学校が終わったあと、1週間のうち一番よくいる場所はどこですか。(○は1つ)

	自分の家	塾・習い事	公園	友だちの家	あそべえ・学童クラブ	センター	児童館・コミュニティ	祖父母・親戚の人の家	クラブ活動・部活動	その他	(%)
全 体 (n=2,378)	49.4	25.5	7.0	2.1	1.8	1.6	0.7	8.6	2.4	1.2	
小学校4年生 (n=914)	49.8	24.8	12.3	2.4	2.8	2.4	0.7	0.5	3.1	1.2	
小学校6年生 (n=861)	45.1	36.8	6.3	2.8	1.9	0.9	1.2	0.8	2.7	1.6	
中学校2年生 (n=603)	54.9	10.4	0.0	0.8	0.0	1.3	0.2	31.8	1.2	0.7	

Q10 放課後は、何をして過ごすことが多いですか？3つまで選んでください。

全体では、「勉強（塾を含む）」が 59.9%と最も高く、次いで「友達と遊ぶ」(34.7%)、「スマート・タブレット・パソコンで動画・SNS（ツイッター・LINEなど）を見る（投稿する）」(28.3%)と続いている。

小学校6年生、中学校3年生ともに、「勉強（塾を含む）」が最も高いが、2番目に高い項目は、小学校6年生では「友達と遊ぶ」、中学校3年生では「スマート・タブレット・パソコンで動画・SNS（ツイッター・LINEなど）を見る（投稿する）」となっている。



* 「その他」の回答としては、「オンラインでないゲーム」、「寝る」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

[小学校4・6年生] あなたは、放課後にはどんな事をしてすごしていますか。
(○は3つまで)

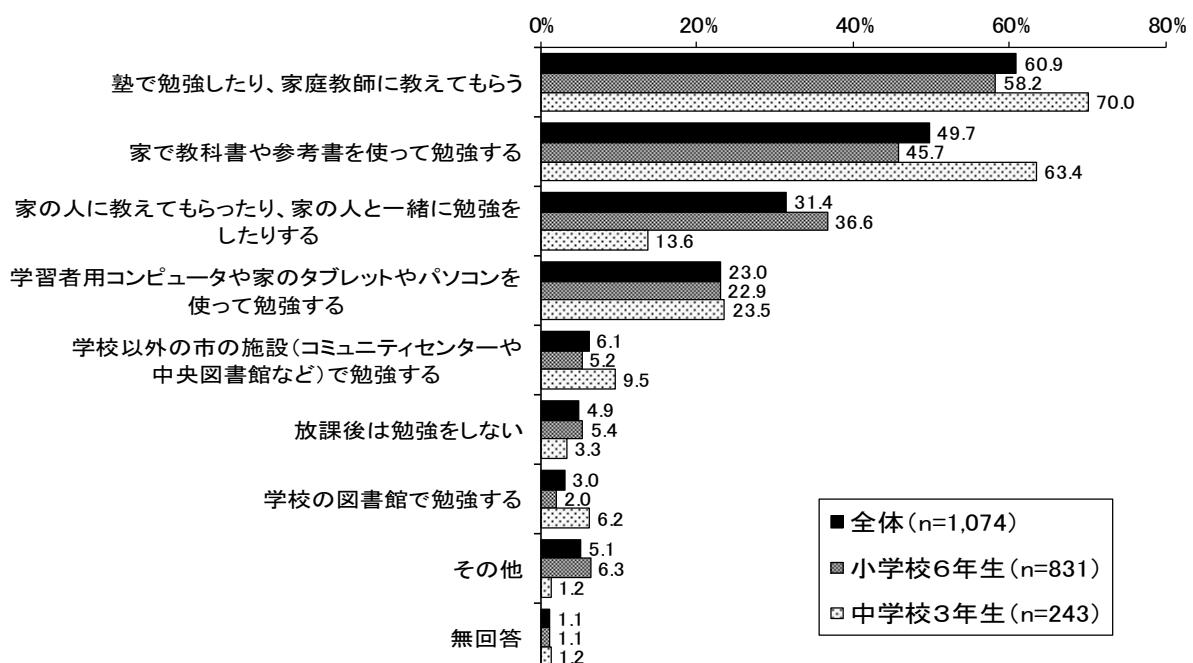
	勉強	友達と遊ぶ	家族と過ごす	テレビ・ビデオを見る	スポーツ	テレビゲーム・携帯ゲーム	読書	音楽を聞く・演奏する	パソコン（インターネット）を見る (スマホ・タブレットで動画・SNS (投稿する) (ツイッター・LINE等)を見る)	(%)
小学校全体 (n=1,775)	59.0	50.2	31.8	28.2	22.4	22.2	17.6	13.0	10.5	4.8
小学校4年生 (n=914)	58.2	52.8	34.8	26.6	24.6	20.9	17.5	10.5	7.2	4.0
小学校6年生 (n=861)	59.8	47.4	28.6	30.0	20.0	23.6	17.7	15.6	14.1	5.7

	地域の行事・活動に参加する	ボランティア活動	その他	何もしない	無回答
小学校全体 (n=1,775)	0.3	0.1	5.8	1.5	1.2
小学校4年生 (n=914)	0.2	0.0	7.1	2.0	1.1
小学校6年生 (n=861)	0.5	0.1	4.4	1.0	1.3

Q11 放課後の勉強はどのようにしていますか？3つまで選んでください。

全体では、「塾で勉強したり、家庭教師に教えてもらう」が 60.9%と最も高く、次いで「家で教科書や参考書を使って勉強する」(49.7%)、「家の人に教えてもらったり、家人と一緒に勉強をしたりする」(31.4%)と続いている。

小学校 6 年生、中学校 3 年生ともに、「塾で勉強したり、家庭教師に教えてもらう」と「家で教科書や参考書を使って勉強する」が上位 2 項目となっているが、3 番目に高い項目は、小学校 6 年生では「家の人に教えてもらったり、家人と一緒に勉強をしたりする」、中学校 3 年生では「学習者用コンピュータや家のタブレットやパソコンを使って勉強する」となっている。



* 「その他」の回答としては、「一人で勉強する」、「宿題をする」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

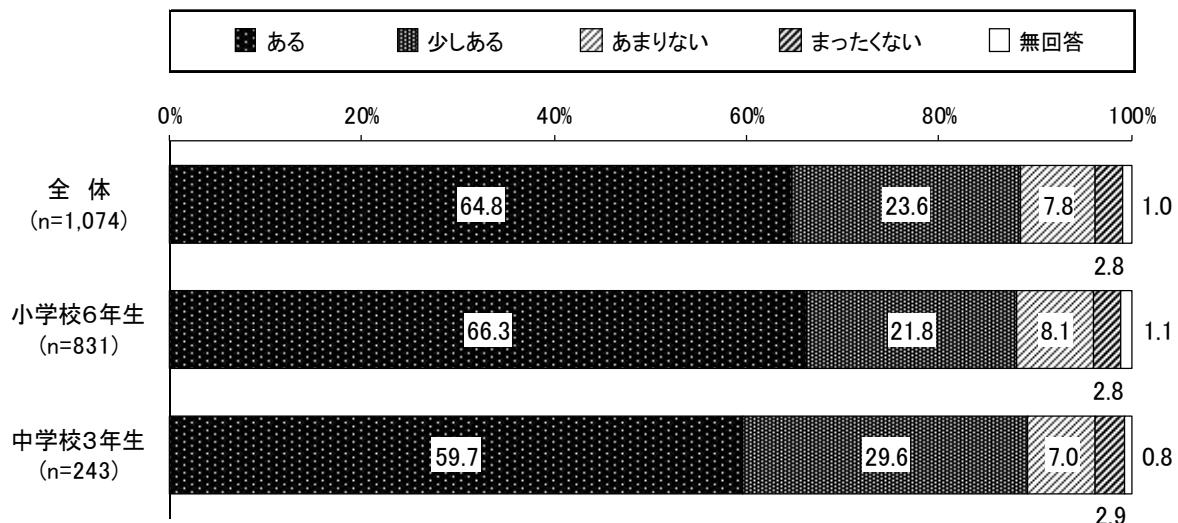
学校から帰ってからの勉強（平日）は、どのようにしますか。（○は3つまで）

	塾で勉強する	る自分で予習や復習をす	家の人に教えてもらう	などで勉強する	毎月送られてくる教材	レットなどを使う	パソコンソフト・タブ	友達と勉強する	う家庭教師に教えてもら	学校以外で勉強しない	その他	無回答
全 体 (n=2,378)	53.3	51.6	32.5	15.7	14.2	10.1	1.9	4.5	6.3	0.7		
小学校 4 年生 (n=914)	43.4	50.1	43.7	18.6	11.2	10.0	1.4	3.6	9.3	1.0		
小学校 6 年生 (n=861)	61.3	54.1	31.8	15.8	14.5	10.3	2.6	3.5	5.1	0.6		
中学校 2 年生 (n=603)	56.9	50.4	16.7	11.1	18.2	9.8	1.5	7.3	3.3	0.3		

Q12 放課後や休日に、自分のやりたいことや好きなことをする時間はありますか？

全体では、「ある」(64.8%)と「少しある」(23.6%)を合計した《ある》が88.4%となっています。

《ある》は、小学校6年生では88.1%、中学校3年生では89.3%と大きな差はみられない。

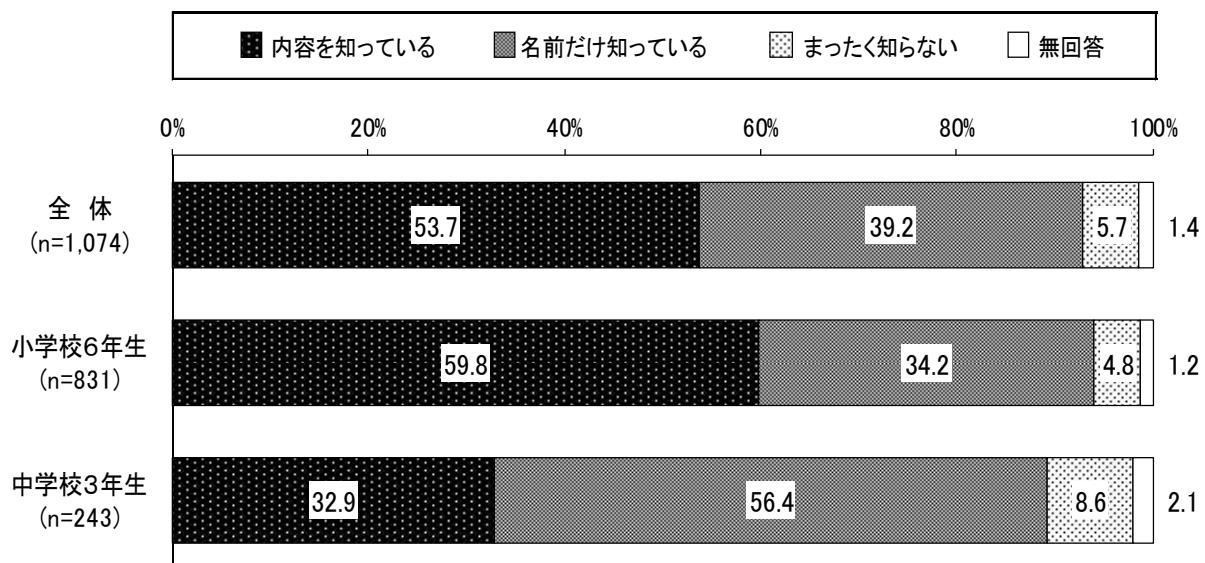


(3)「子どもの権利」について

Q13 あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

全体では、「内容を知っている」(53.7%)と「名前だけ知っている」(39.2%)を合計した《知っている》が92.9%となっている。

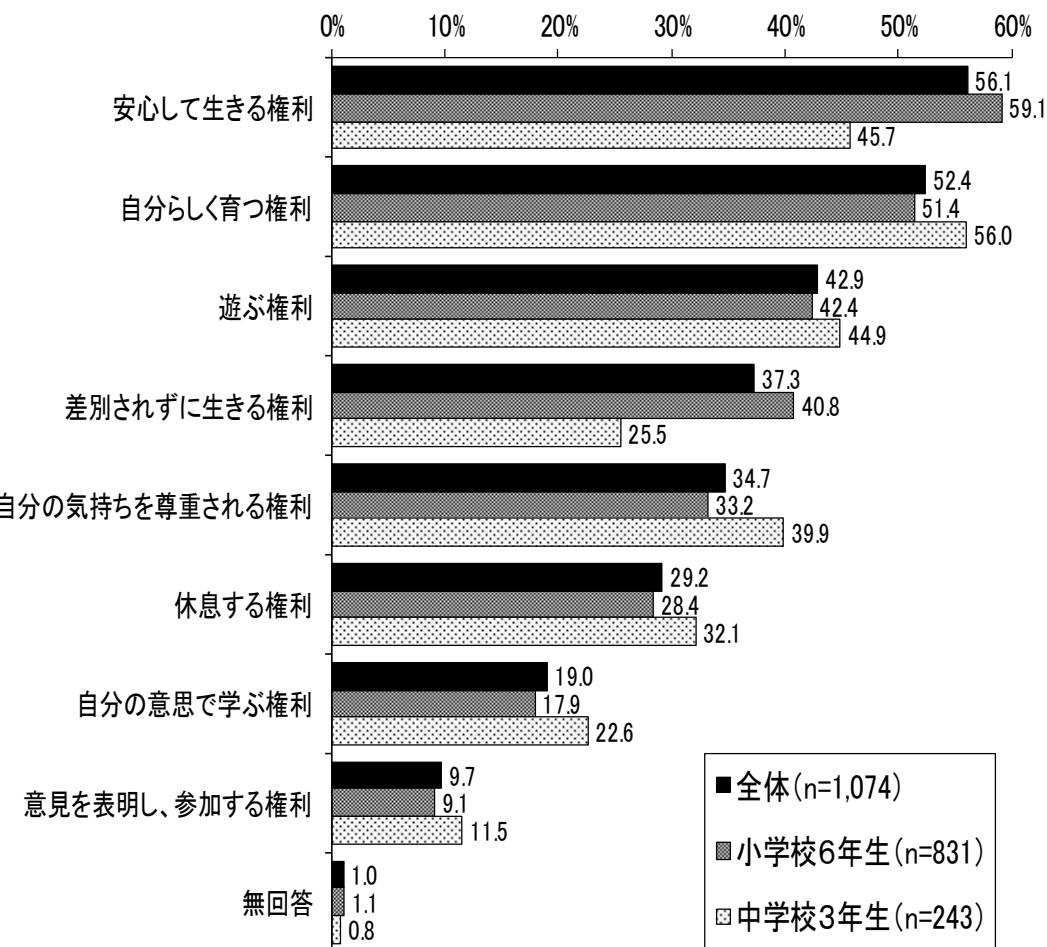
「内容を知っている」は、小学校6年生では59.8%、中学校3年生では32.9%と、小学校6年生の方が高くなっている。



Q14 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切なものはありますか？大切なと思うものを、3つまで選んでください。

全体では、「安心して生きる権利」が 56.1%と最も高く、次いで「自分らしく育つ権利」(52.4%)、「遊ぶ権利」(42.9%) と続いている。

小学校6年生では最も高い項目は「安心して生きる権利」であるが、中学校3年生では「自分らしく育つ権利」が最も高くなっている。

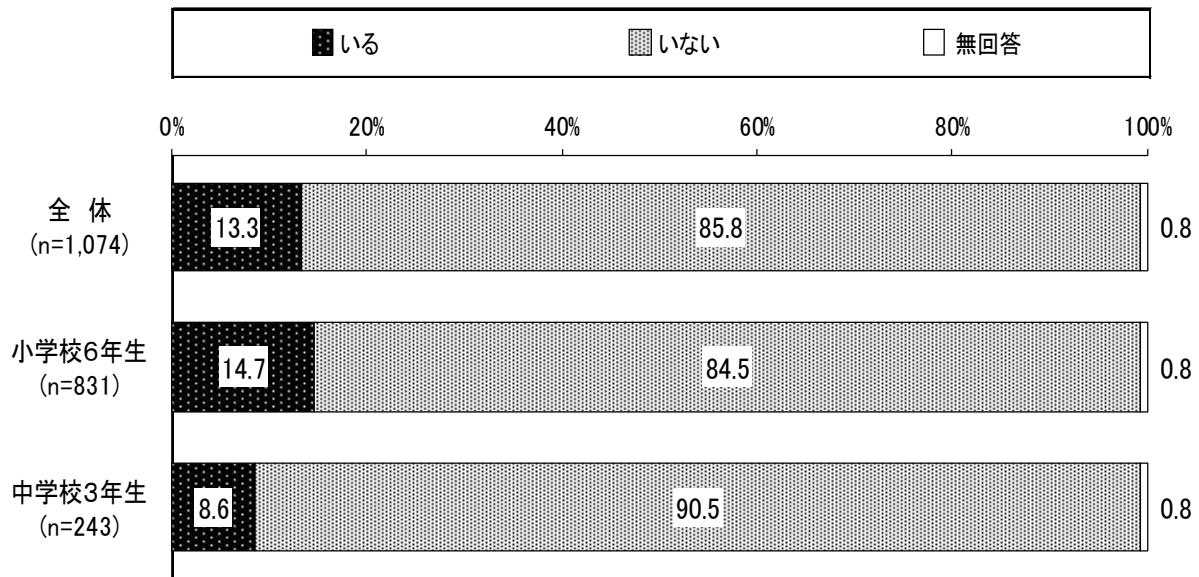


Q15 家族の中にあなたがいつも助けたり、お世話をしたりしている人はいますか？

(注意) この質問では、「助けたり、お世話をしたり」とは、例えば、病気や障害がある家族の看病やかい護をしたり、幼いきょうだいに食事を作つてあげたりすることを言います。

全体では、「いる」が13.3%、「いない」が85.8%となっている。

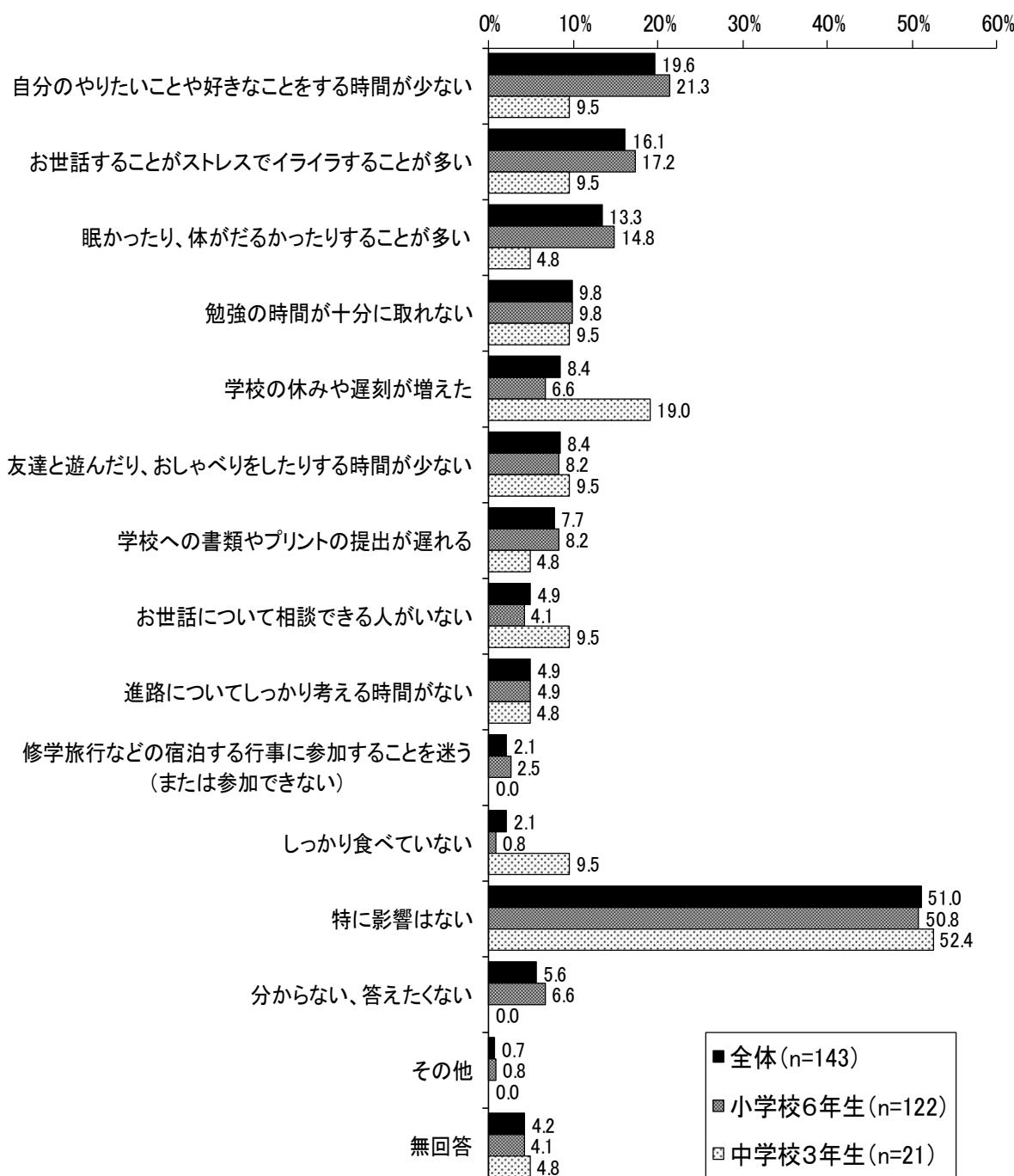
「ある」は、小学校6年生では14.7%、中学校3年生では8.6%となっている。



Q16 家族を助けたり、お世話をしたりすることで、あなたの生活にどんな影響が出ていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「特に影響はない」が 51.0%と最も高く、次いで「自分のやりたいことや好きなことをする時間がない」(19.6%)、「お世話することがストレスでイライラすることが多い」(16.1%)と続いている。

小学校 6 年生、中学校 3 年生ともに、「特に影響はない」が最も高いが、2 番目に高い項目は、小学校 6 年生では「自分のやりたいことや好きなことをする時間が少ない」、中学校 3 年生は「学校の休みや遅刻が増えた」となっている。



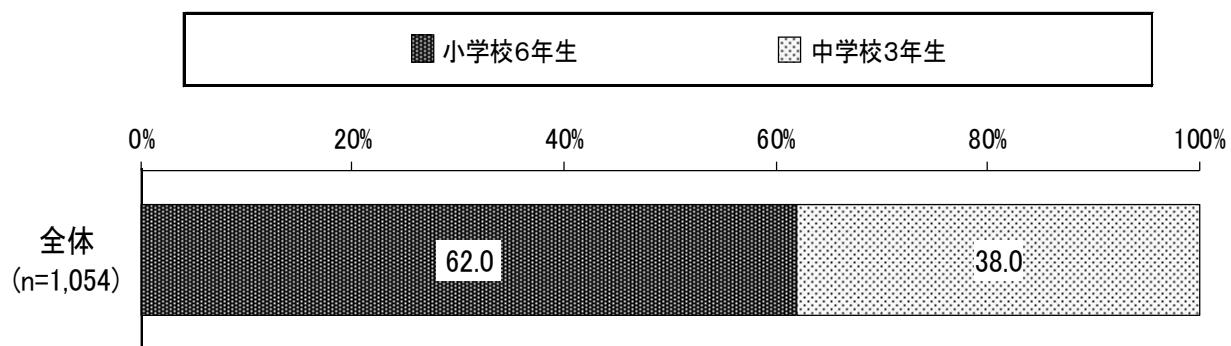
2 保護者

(1)子どもの日常の様子について

Q1 回答の対象となるお子さんの学年は、次のうちどちらですか？

市立小学校6年生と市立中学校3年生のお子さんが2人以上いる場合は、一番年上のお子さんについて回答してください。

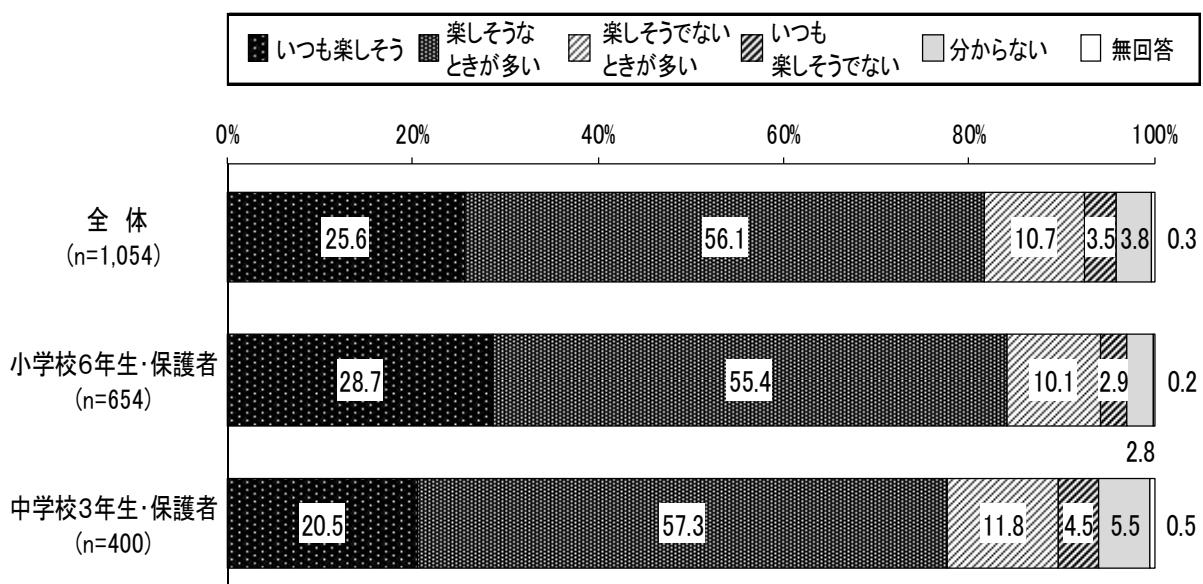
「小学校6年生」が62.0%、「中学校3年生」が38.0%となっている。



Q2 お子さんは学校に楽しそうに通っていますか？

全体では、「いつも楽しそう」(25.6%)と「楽しそうなときが多い」(56.1%)を合計した《楽しそう》が81.7%となっている。

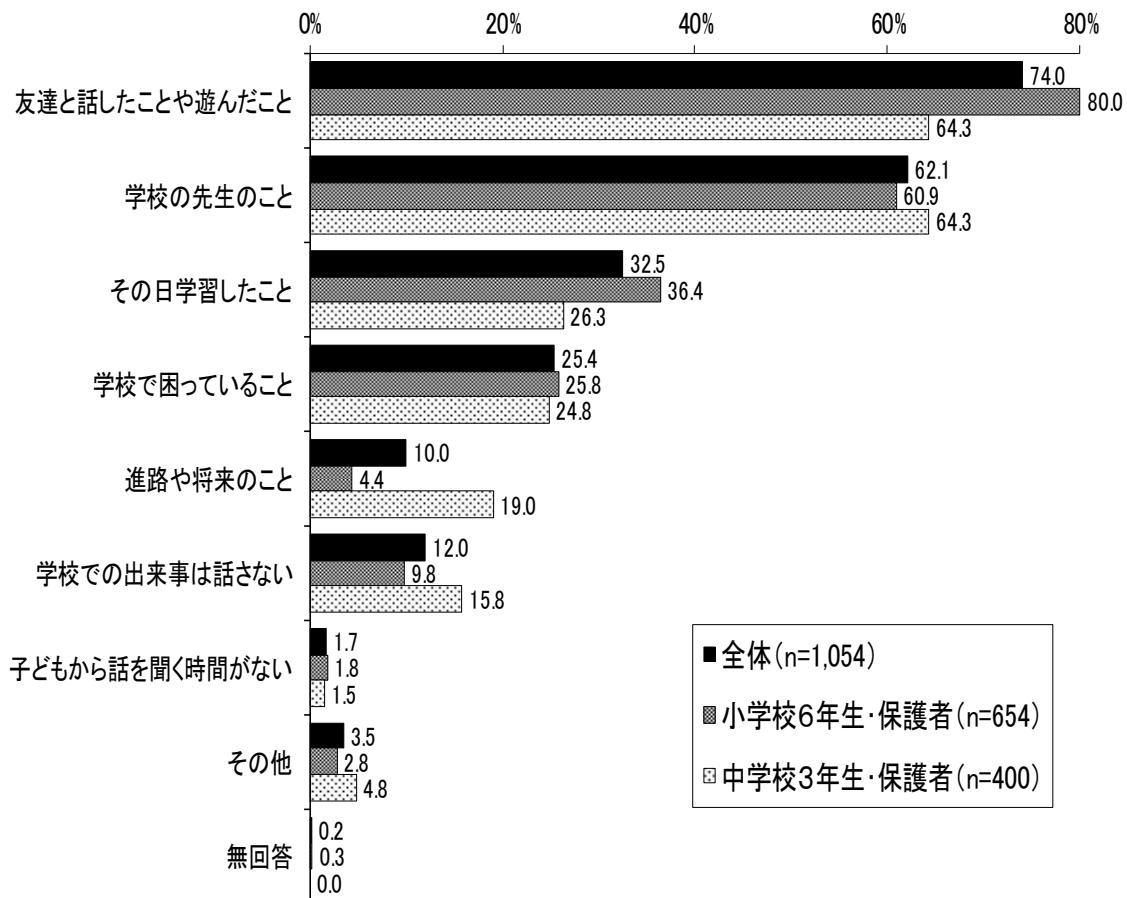
《楽しそう》は、小学校6年生の保護者（以下、小6保護者）では84.1%、中学校3年生の保護者（以下、中3保護者）では77.8%となっている。



Q3 お子さんは、次のような学校での出来事を家で話しますか？家で話すことを3つまで選んでください。

全体では、「友達と話したことや遊んだこと」が74.0%と最も高く、次いで「学校の先生のこと」(62.1%)、「その日学習したこと」(32.5%)と続いている。

「友達と話したことや遊んだこと」と「その日学習したこと」は小6保護者の方が中3保護者よりも10ポイント以上高く、「進路や将来のこと」は中3保護者の方が小6保護者よりも10ポイント以上高くなっている。



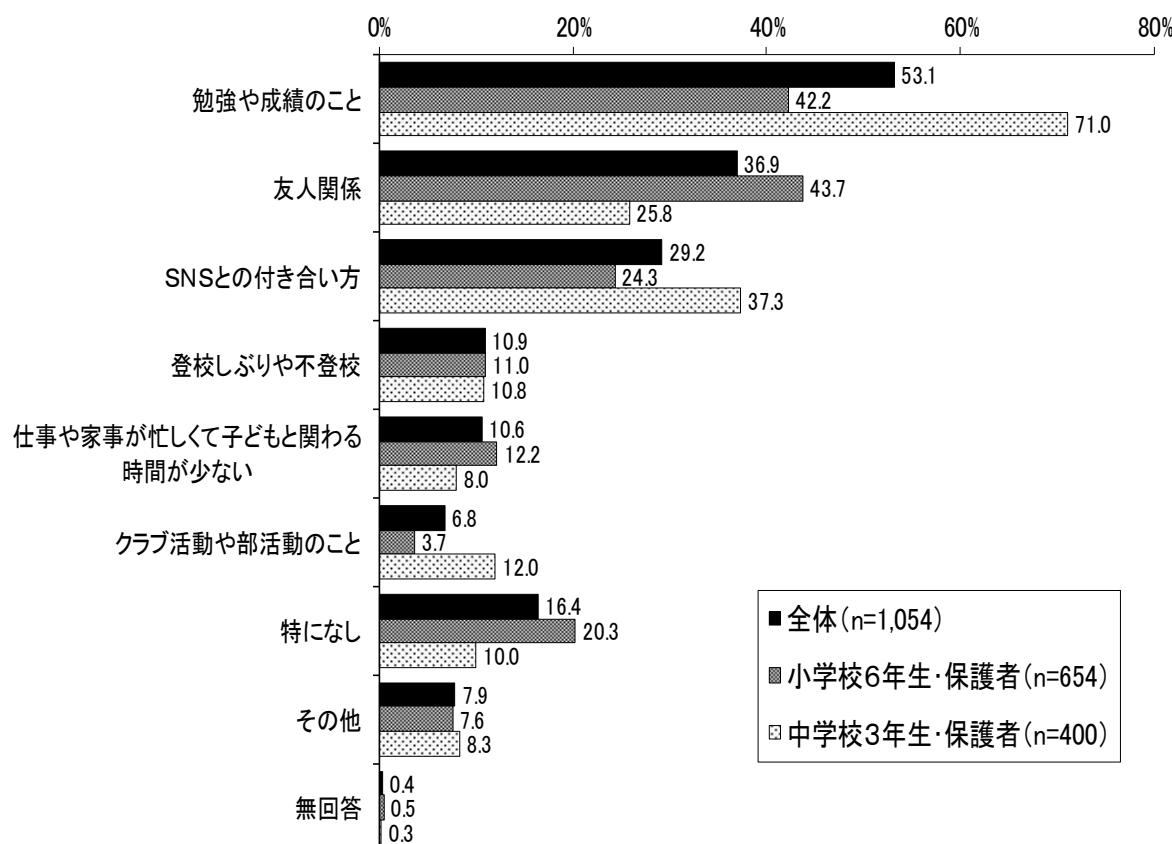
* 「その他」の回答としては、「クラブ活動・部活動のこと」、「給食のこと」などがみられた。

(2)心配事や相談先について

Q4 お子さんの日常生活について心配していることはありますか？あてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「勉強や成績のこと」が 53.1%と最も高く、次いで「友人関係」(36.9%)、「SNSとの付き合い方」(29.2%)と続いている。

小6保護者は「友人関係」が 43.7%と最も高く、次いで「勉強や成績のこと」(42.2%)、「SNSとの付き合い方」(24.3%)と続くが、中3保護者は「勉強や成績のこと」が 71.0%と最も高く、次いで「SNSとの付き合い方」(37.3%)、「友人関係」(25.8%)と続いている。



* 「その他」の回答としては、「スマホやタブレットの使い過ぎ」、「先生との関係」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

あなたの子さんの日常生活について、特に心配していることがありますか。
(○は3つまで)

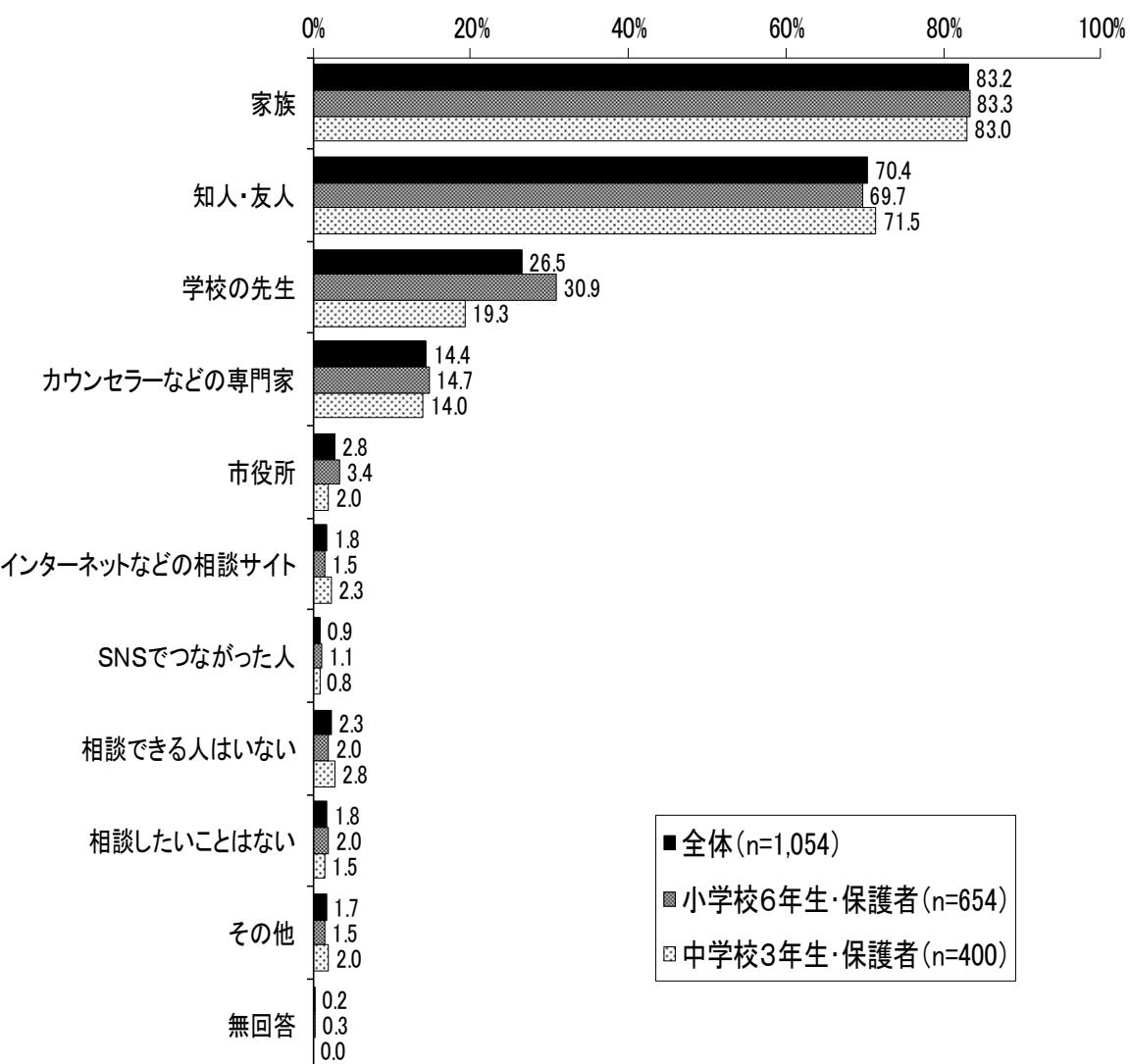
											(%)
	友達関係に関すること	勉強をしないこと	テレビゲームのやりすぎ	携帯電話やスマートフォンのやりすぎ	根気がないこと	朝なかなか起きないこと	直接体験が少ないこと	言葉遣いが悪いこと	体力がないこと	いじめ	
全体 (n=2,078)	23.1	18.0	16.6	14.2	13.9	13.2	10.6	9.4	9.3	7.6	
小4保護者 (n=795)	28.6	14.5	17.2	5.3	15.6	12.6	13.0	11.6	9.1	8.9	
小6保護者 (n=727)	24.9	15.1	19.0	10.5	13.1	12.8	11.0	9.4	10.5	7.7	
中2保護者 (n=556)	12.9	27.0	12.8	31.8	12.8	14.7	7.0	6.7	7.9	5.8	

	部活動に関すること	学校や先生に不信感をもっていること	パソコンのやりすぎ	登校しづらいや不登校	お金の使いすぎ	異性との交遊	夜遊びをすること	その他	特になし	無回答
全体 (n=2,078)	3.5	3.5	3.0	2.7	1.5	0.8	0.0	8.1	20.8	0.8
小4保護者 (n=795)	1.4	2.9	2.4	2.9	1.0	0.1	0.1	7.8	21.6	0.9
小6保護者 (n=727)	0.6	4.1	3.0	3.2	1.8	1.1	0.0	9.1	21.6	0.8
中2保護者 (n=556)	10.3	3.4	4.0	2.0	2.0	1.4	0.0	7.2	18.3	0.5

Q5 あなたが子育てで悩んでいたりする時、誰に相談できますか？あてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「家族」が 83.2% と最も高く、次いで「知人・友人」(70.4%)、「学校の先生」(26.5%) と続いている。

「学校の先生」は小6保護者、中3保護者ともに3番目に高い項目となっているが、小6保護者は 30.9%、中3保護者は 19.3% と、小6保護者の方が 11.6 ポイント高くなっている。



* 「その他」の回答としては、「塾の先生」、「医療機関」などがみられた。

【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

あなたには現在、心おきなく相談できる相手がいますか。(○は1つ)

	相談できる相手がいる	相談相手がほしい	必要ない	無回答	(%)
全体 (n=2,078)	86.1	9.5	4.1	0.2	
小4保護者 (n=795)	89.1	8.3	2.5	0.1	
小6保護者 (n=727)	84.9	10.2	4.7	0.1	
中2保護者 (n=556)	83.8	10.3	5.4	0.5	

「相談できる相手がいる」または「相談できる相手がほしい」とお答えの方に伺います。その相談相手は誰ですか。また、相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいですか。あてはまるもの全て選択してください。(○はいくつでも)

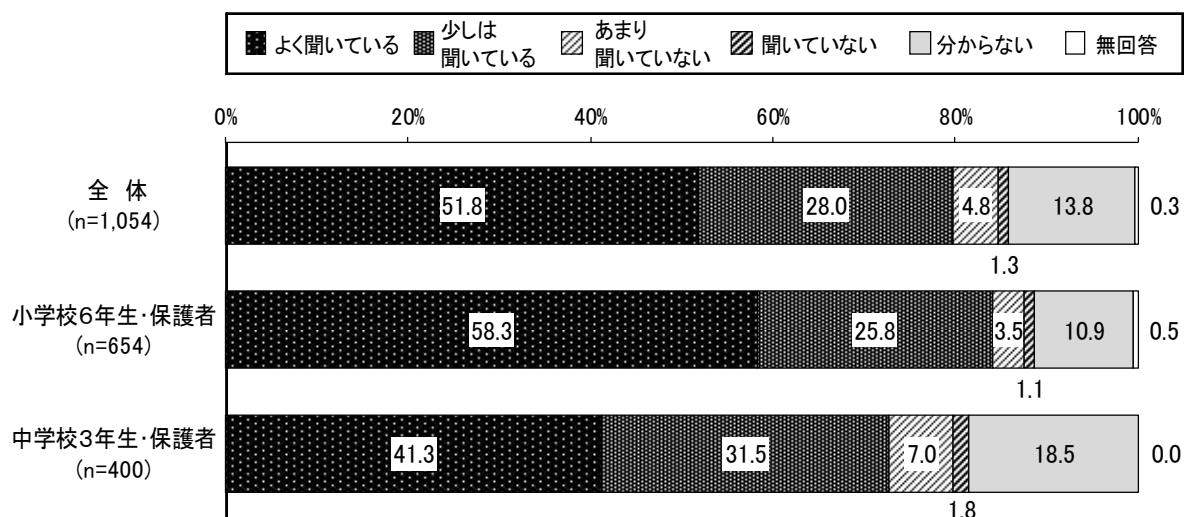
	配偶者・パートナー	友人・知人	親・親族	子ども	学校の先生	カウンセラーなどの専門家	近所の人	幼稚園・保育園の先生	市役所などの公的機関の人	民間団体・ボランティアの人	民生委員・児童委員	その他	無回答	(%)
全体 (n=2,078)	71.5	70.9	60.4	18.5	10.7	9.8	6.8	3.2	1.8	0.9	0.8	2.4	4.9	
小4保護者 (n=795)	76.7	74.0	63.1	16.6	12.7	10.4	8.3	4.4	1.8	1.0	0.8	2.5	3.5	
小6保護者 (n=727)	70.4	68.5	59.7	17.7	10.0	10.6	5.4	2.1	1.8	0.8	0.6	1.8	5.5	
中2保護者 (n=556)	65.5	69.4	57.4	21.8	8.8	8.1	6.5	3.1	2.0	0.7	1.1	3.1	6.1	

(3)子どもの学校での様子などについて

Q6 先生たちは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイディアや考えを聞いていると思いますか？

全体では、「よく聞いている」(51.8%)と「少しは聞いている」(28.0%)を合計した《聞いている》が79.8%となっている。

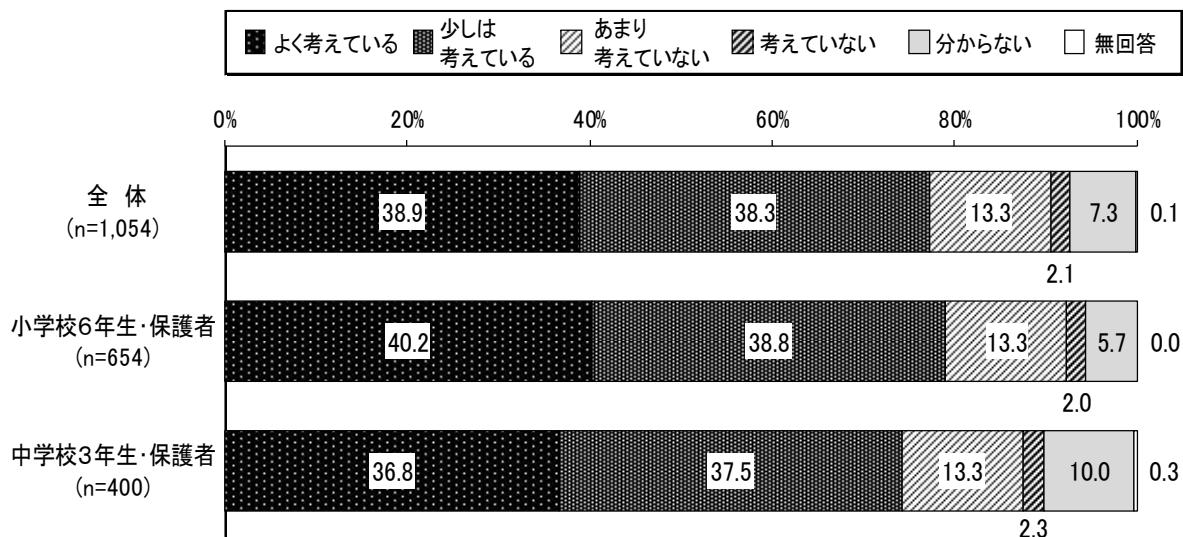
《聞いている》は、小6保護者では84.1%、中3保護者では72.8%となっている。



Q7 お子さんは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えて取り組んでいますか？

全体では、「よく考えている」(38.9%)と「少しは考えている」(38.3%)を合計した《考えている》が77.2%となっている。

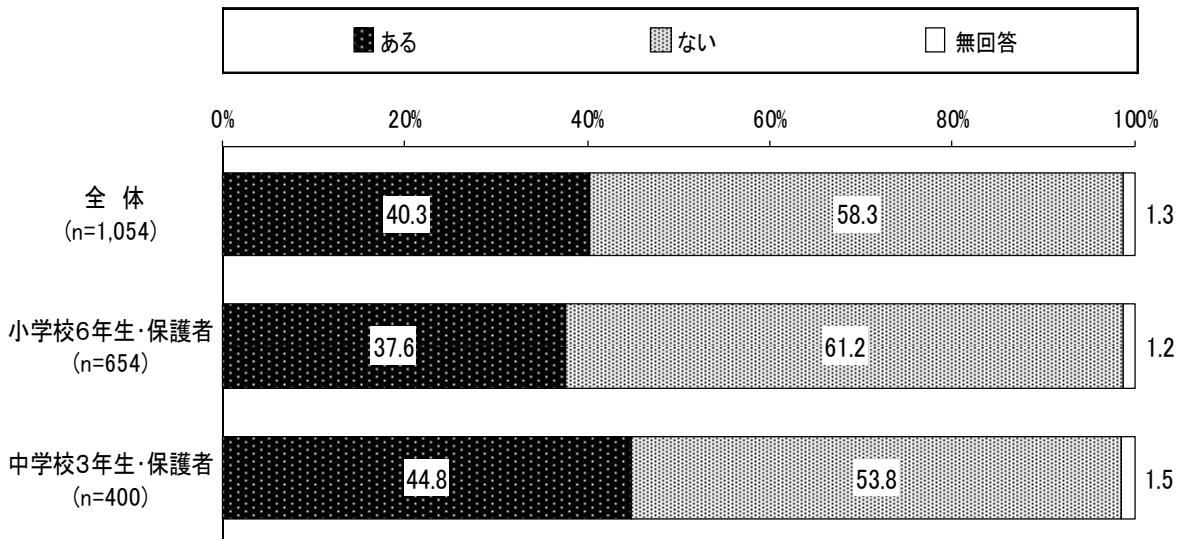
《考えている》は、小6保護者では79.1%、中3保護者では74.3%となっている。



Q8 あなたは、今の学校のきまりやルールの中で、「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているものはありませんか？

全体では、「ある」が40.3%、「ない」が58.3%となっている。

「ある」は、小6保護者(37.6%)よりも、中3保護者(44.8%)の方が7.2ポイント高くなっている。



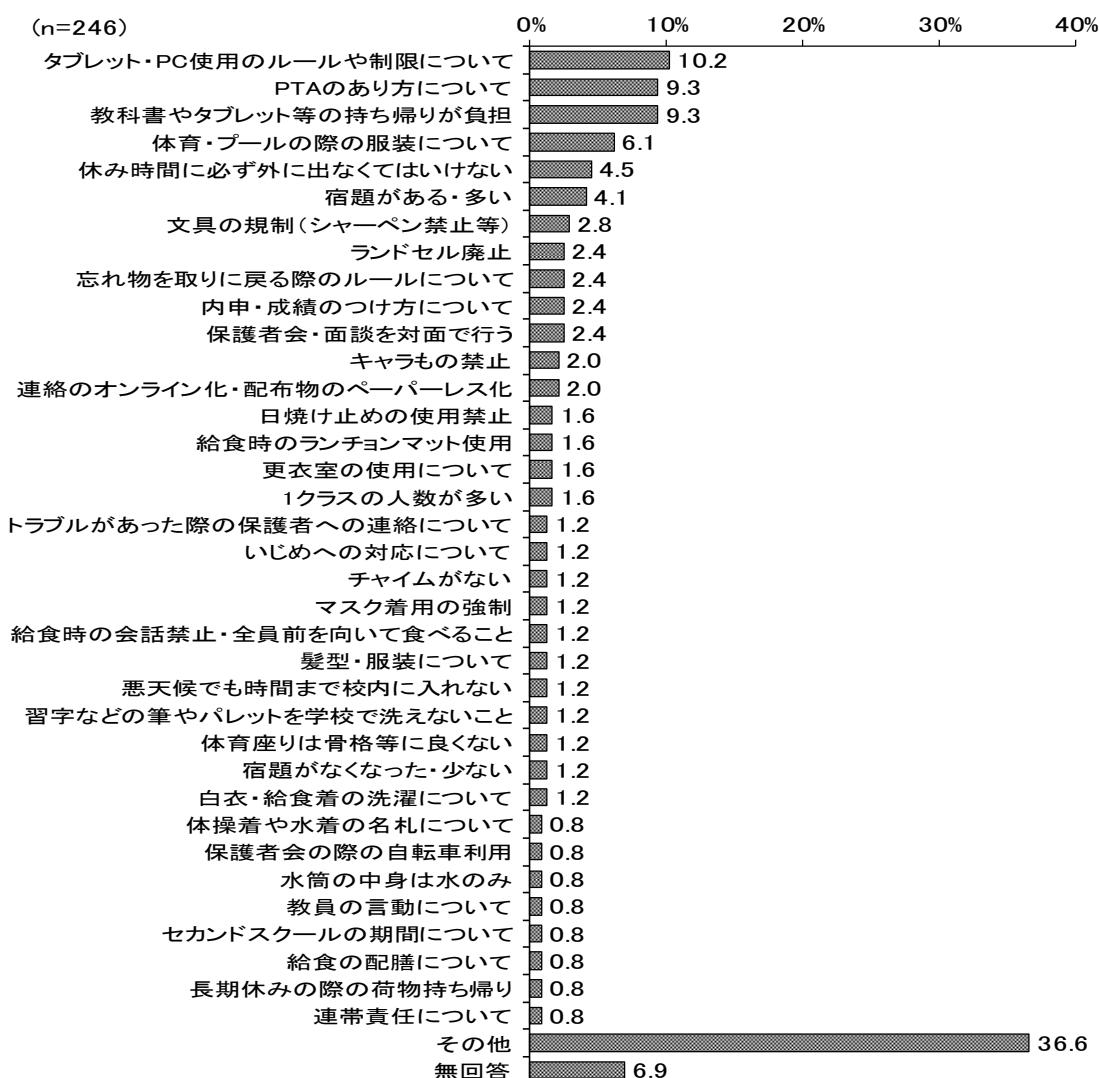
Q8-2 それはどんなきまりやルールですか？（自由記述）

Q8で「ある」と回答した人に「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているのはどんなきまりやルールか尋ねたところ、小6保護者では、「タブレット・PC使用のルールについて」が10.2%と最も高く、次いで「PTAのあり方について」と「教科書やタブレット等の持ち帰りが負担」(ともに9.3%)、「体育・プールの際の服装について」(6.1%)と続いている。

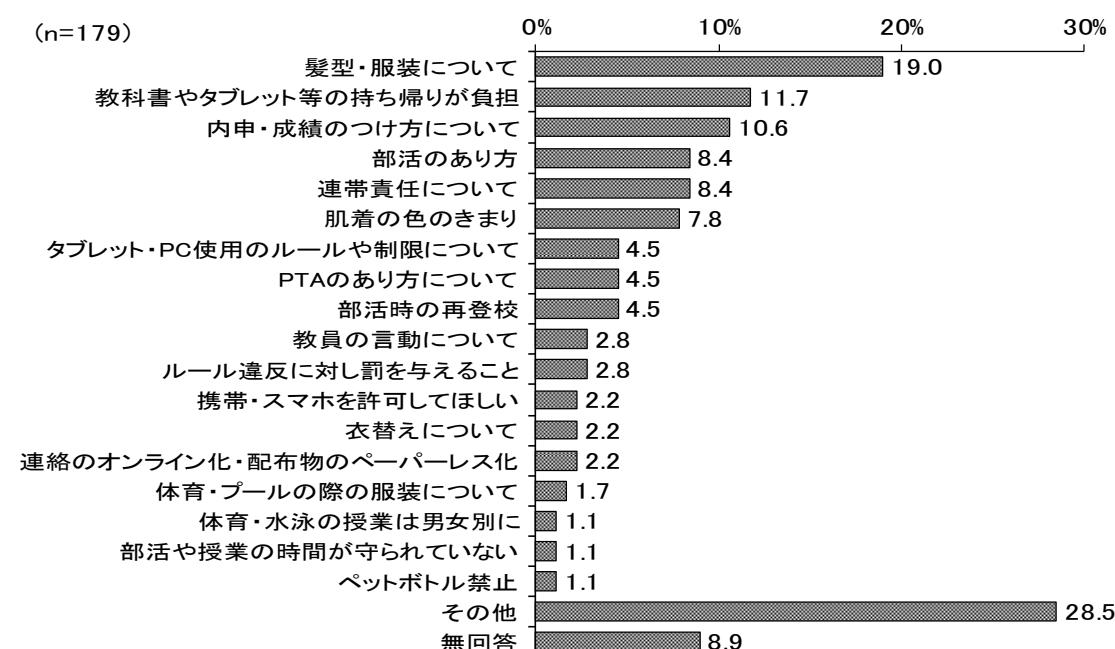
中3保護者では、「髪型・制服について」が19.0%と最も高く、次いで「教科書やタブレット等の持ち帰りが負担」(11.7%)、「内申・成績のつけ方について」(10.6%)と続いている。

*この設問は自由記述であるが、回答を分類して集計している。

●小6保護者



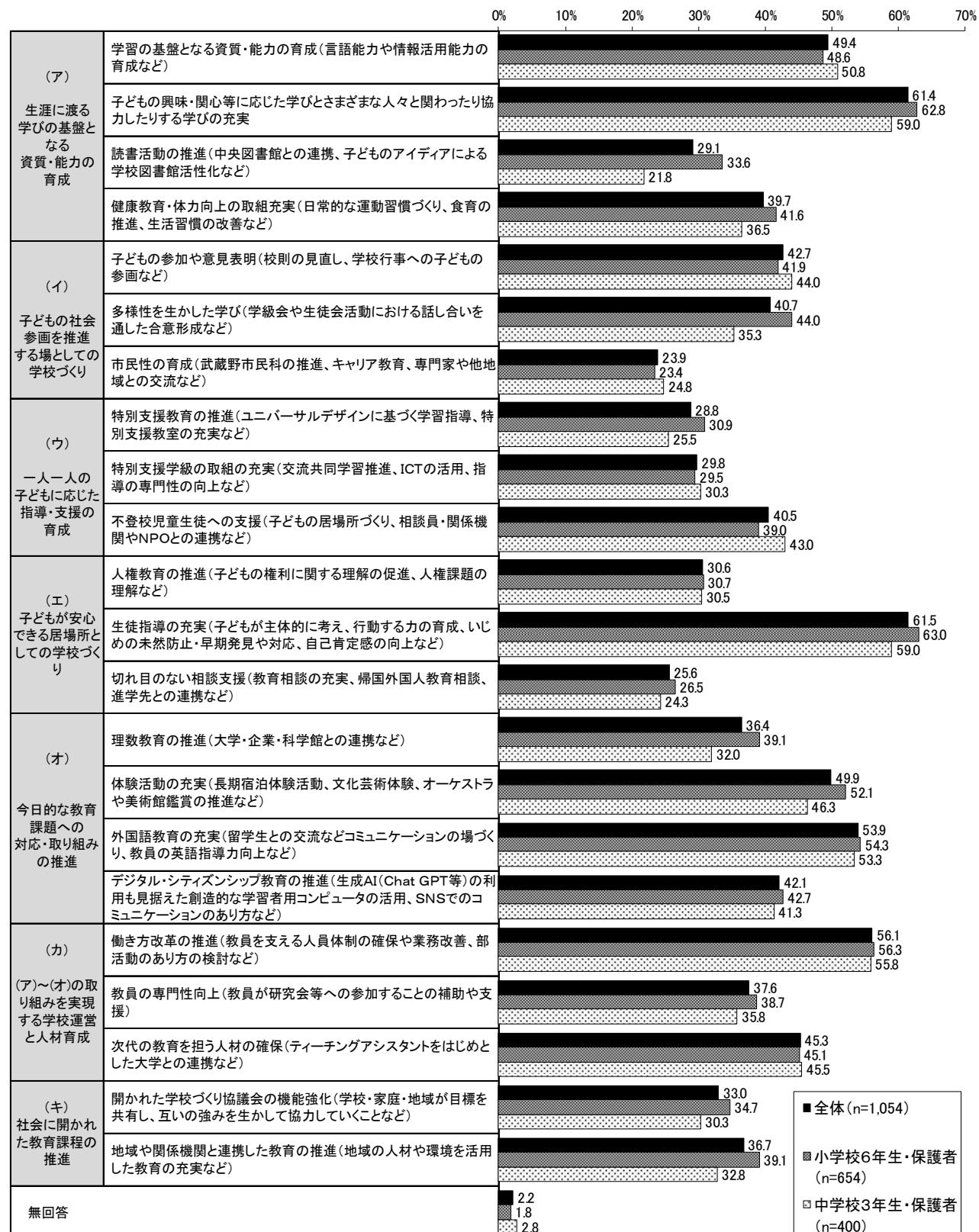
●中3保護者



Q9 学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

小6保護者は（エ）「生徒指導の充実」が最も高く、（ア）「子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実」が2番目となっている。

中3保護者は（エ）「生徒指導の充実」と（ア）「子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実」が同率で最も高くなっている。



【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

学校教育を改善・充実するため、次のような施策や学校等での取り組みが想定されますが、どの施策を進めてほしいと考えていますか。(○はいくつでも)

	習熟度別・少人数指導	教職員の多忙化への対応 (働き方改革)	部活動での外部指導者の活用	給食の自校調理方式	学校施設の計画的な整備	情報公開などによる開かれた学校づくり	市民性を高める教育カリキュラム	インクルーシブ教育	小学校での教科担任制	不登校児童・生徒への支援	(%)
全体 (n=2,078)	62.6	40.7	31.6	26.4	22.1	20.2	20.1	19.1	18.9	16.0	
小4保護者 (n=795)	61.5	41.0	24.4	26.5	23.5	22.6	24.4	20.9	22.9	16.2	
小6保護者 (n=727)	60.9	43.3	25.4	25.6	21.6	20.8	18.0	20.6	21.5	15.5	
中2保護者 (n=556)	66.2	37.1	49.6	27.2	20.9	16.2	16.9	14.4	10.3	16.5	
	学校の福祉的機能の向上	学校と地域の協働体制の強化	教員が教える授業持ち時間数の軽減	小中一貫教育	地域スポーツクラブ	合宿	学校と他の公共施設の特にない	その他	無回答		
全体 (n=2,078)	13.7	10.3	8.2	8.1	8.0	5.1	2.6	4.3	2.0		
小4保護者 (n=795)	16.2	12.7	8.3	9.8	9.7	5.0	2.4	4.9	2.1		
小6保護者 (n=727)	13.2	8.5	10.3	7.4	8.1	5.2	2.9	3.9	1.8		
中2保護者 (n=556)	11.0	9.2	5.4	6.5	5.4	4.9	2.7	4.1	2.0		

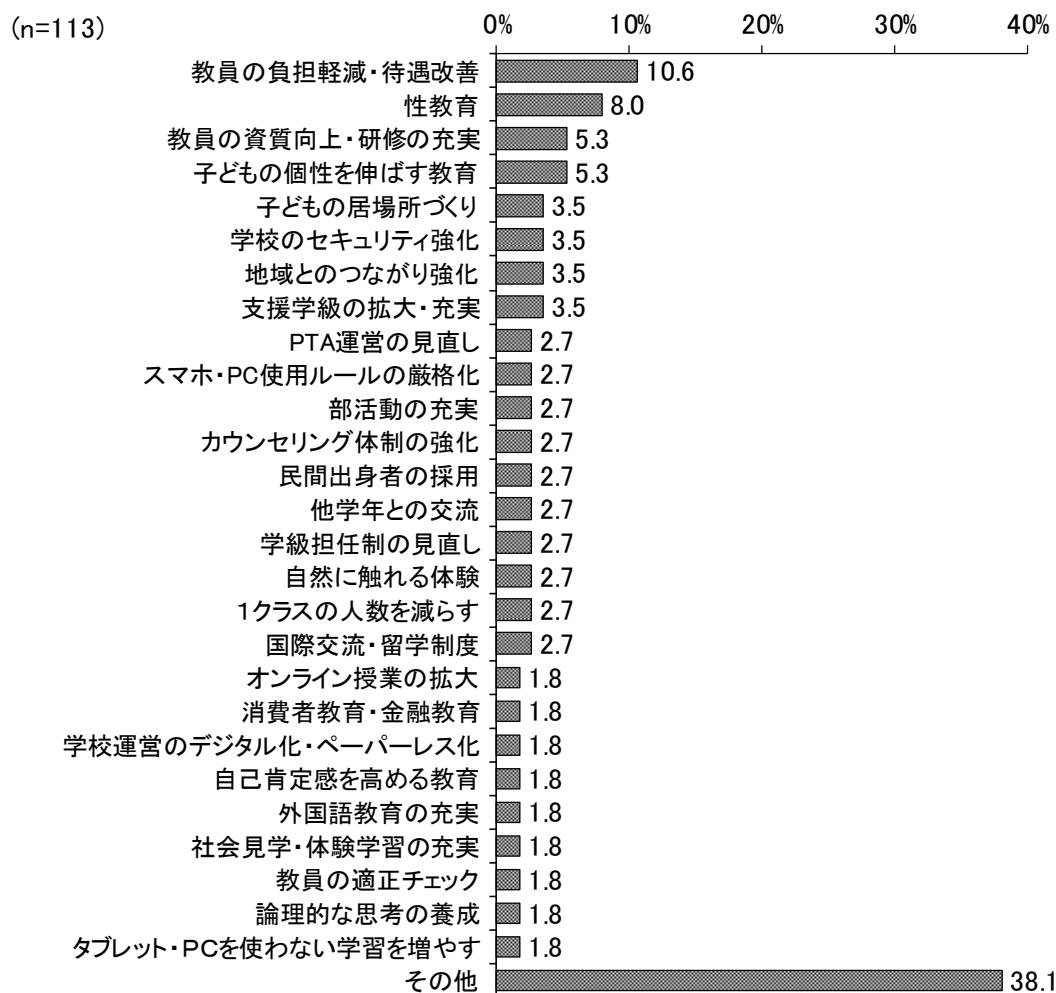
Q10 Q9で挙げたもの以外に進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことはどんなことですか？（自由記述）

Q9で挙げたもの以外に進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことについて尋ねたところ、小6保護者では113人からの回答があり、「教員の負担軽減・待遇改善」が10.6%と最も高く、次いで「性教育」(8.0%)、「教員の資質向上・研修の充実」、「子どもの個性を伸ばす教育」(ともに5.3%)と続いている。

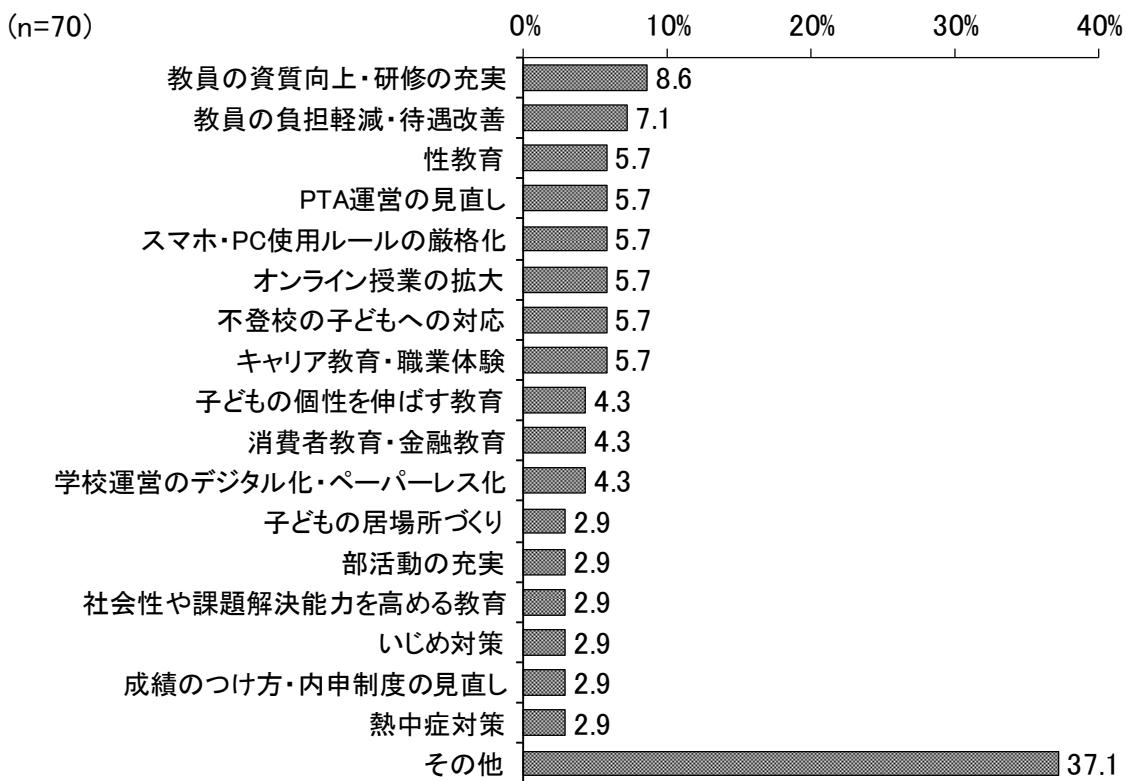
中3保護者では70人からの回答があり、「教員の資質向上・研修の充実」が8.6%と最も高く、次いで「教員の負担軽減・待遇改善」(7.1%)と続いている。

*この設問は自由記述であるが、回答を分類して集計している。

●小6保護者

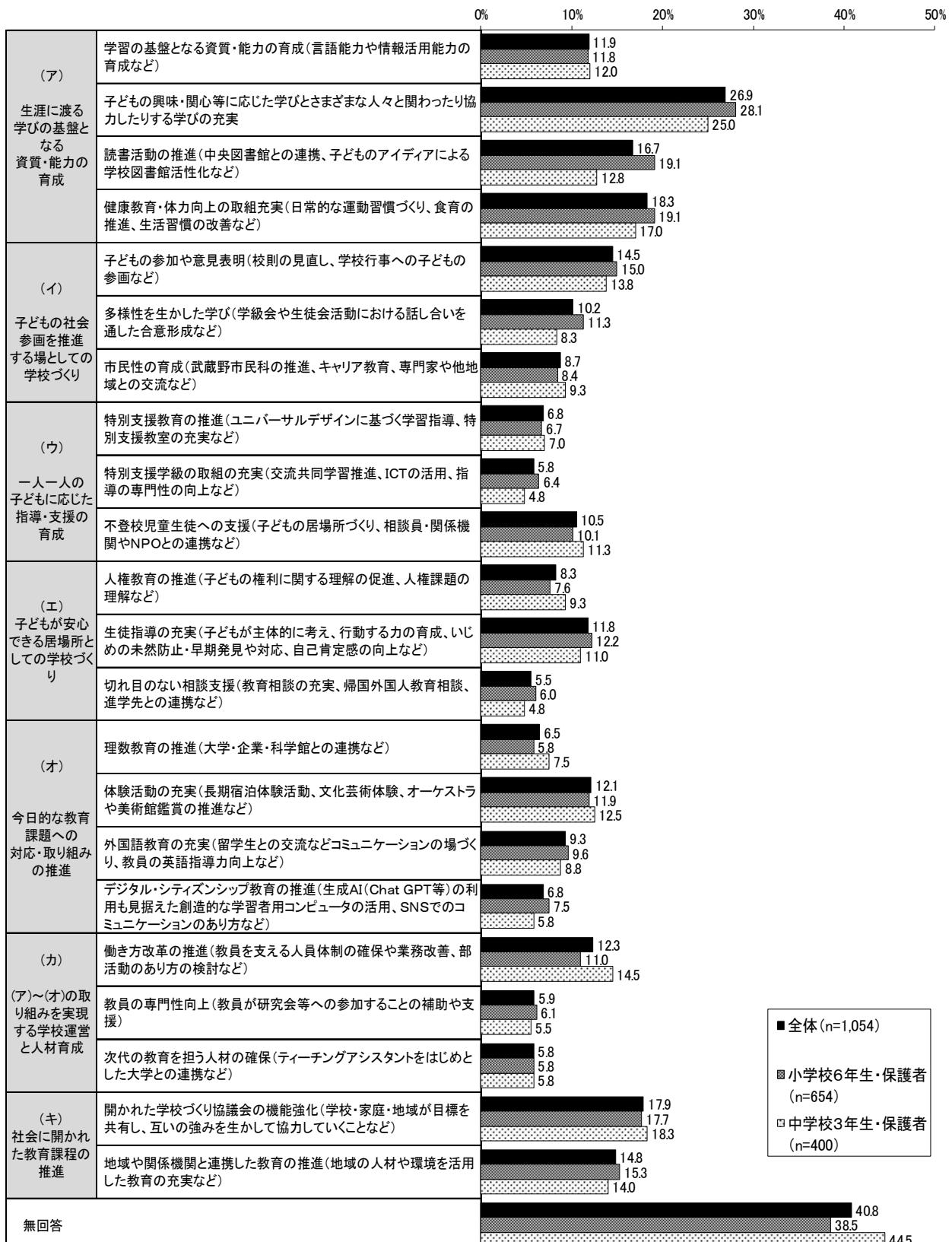


●中3保護者



Q11 Q9で挙げたもののうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、あなたが学校に協力できるものはありませんか？複数ある場合は、複数の回答を選べます。

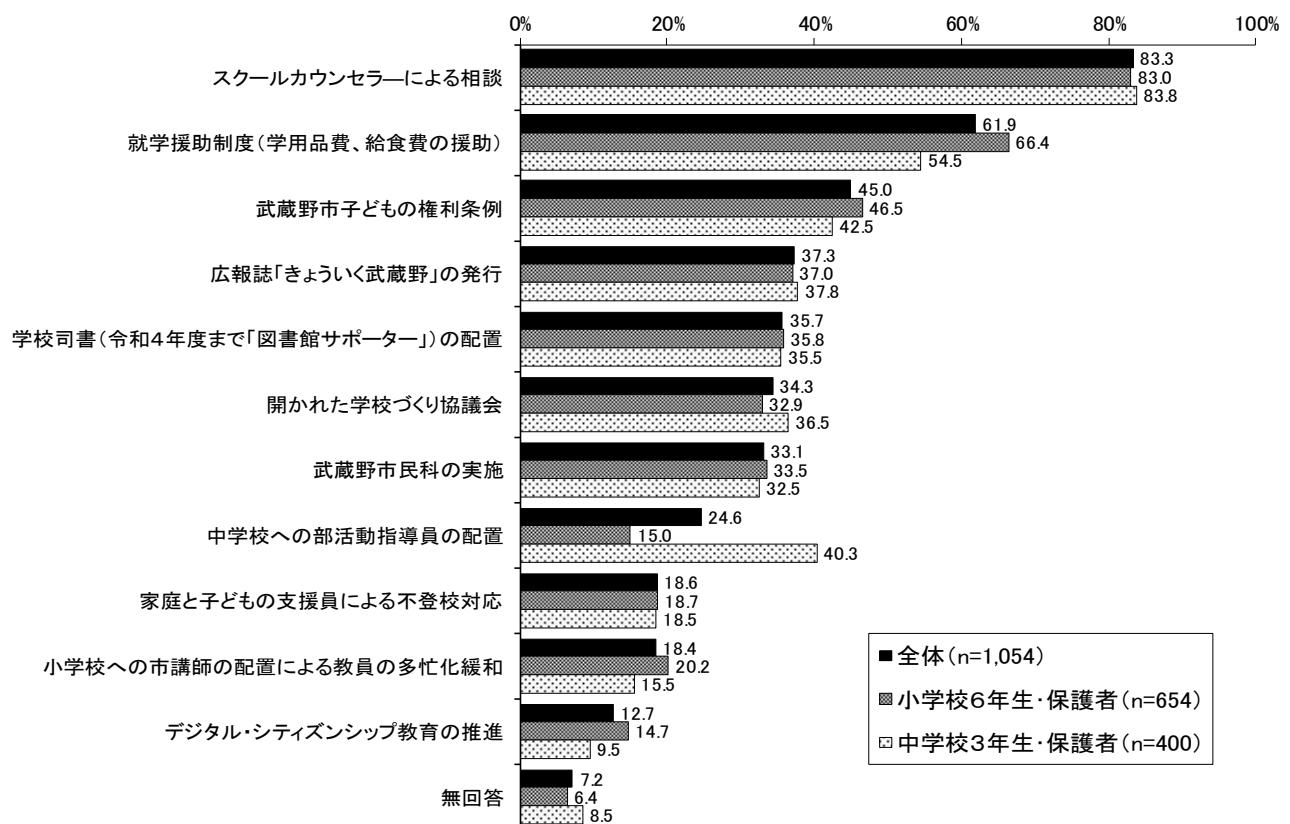
無回答を除くと、(ア)「子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実」が小6保護者、中3保護者ともに最も高く、次いで小6保護者では(ア)「読書活動の推進」と(ア)「健康教育・体力向上の取組充実」が同率で続き、中3保護者では(キ)「開かれた学校づくり協議会の機能強化」が2番目に高くなっている。



(4)武蔵野市の教育施策などについて

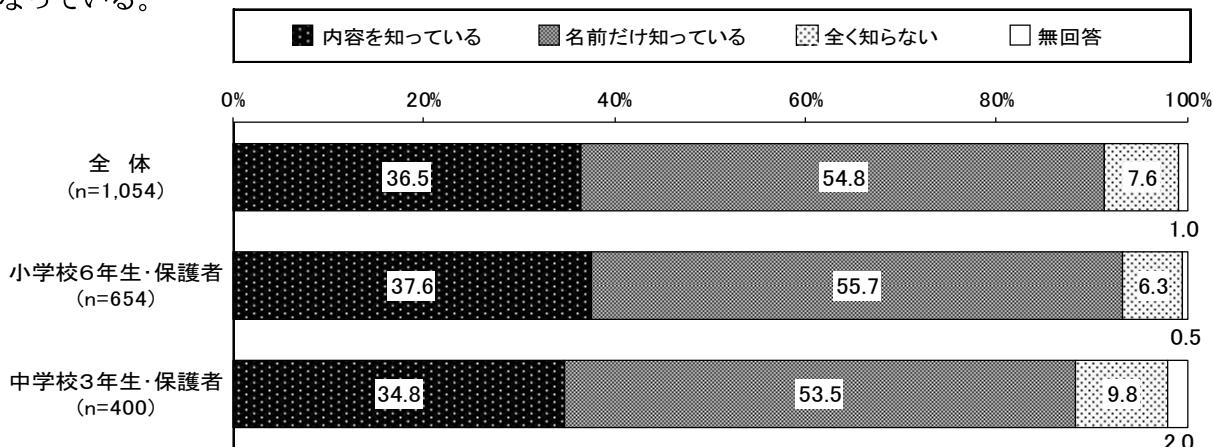
Q12 武蔵野市の教育に関する施策で、知っているものがありますか？知っているものをすべて選んでください。

全体では、「スクールカウンセラーによる相談」が83.3%と最も高く、次いで「就学援助制度」(61.9%)、「武蔵野市子どもの権利条例」(45.0%)と続いている。小6保護者、中3保護者ともに上位3項目は同様であるが、4番目に高い項目は、小6保護者では「広報誌「きょういく武蔵野」の発行」、中3保護者では「中学校への部活動指導員の配置」となっている。



Q13 あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

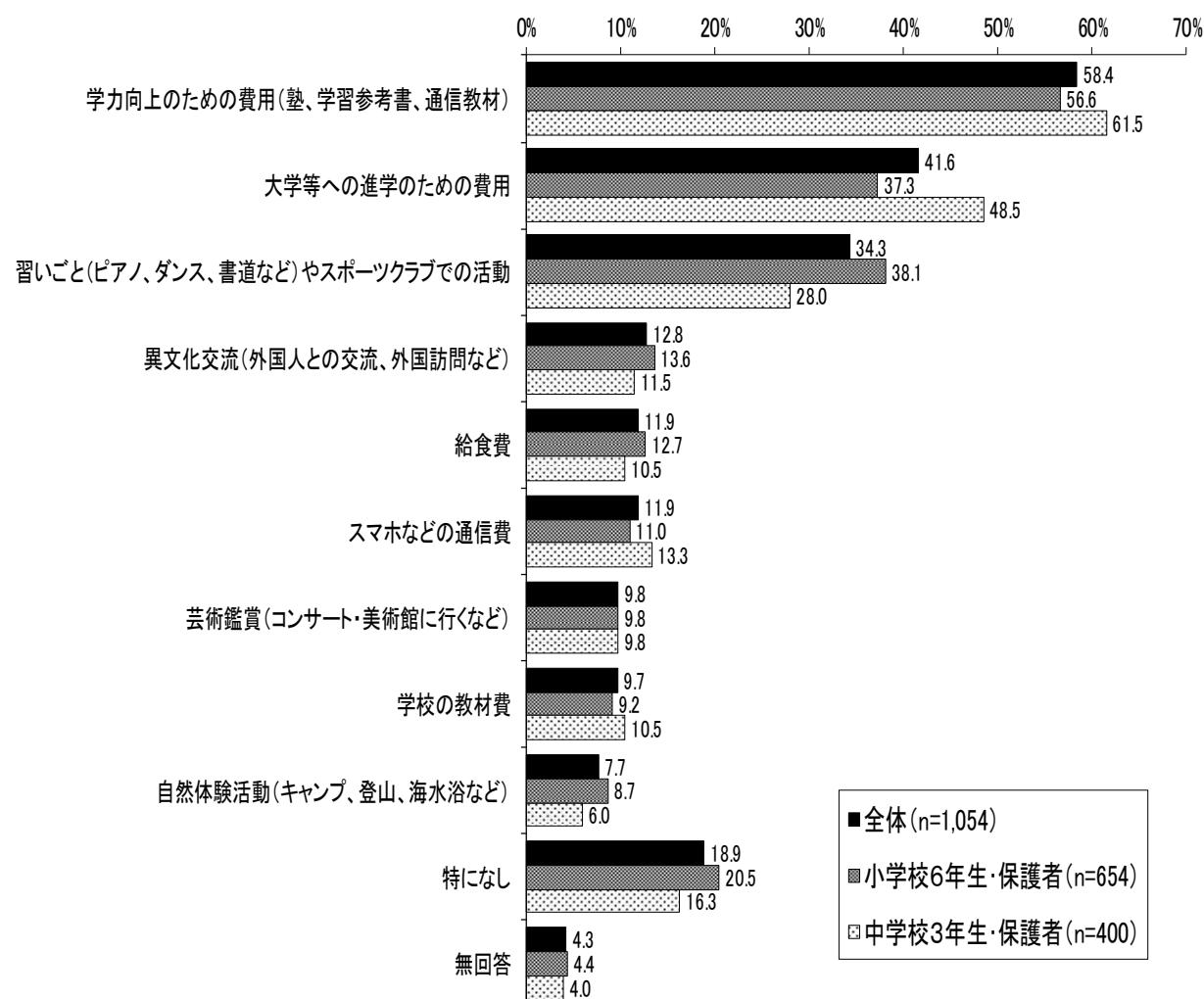
全体では、「内容を知っている」(36.5%)と「名前だけ知っている」(54.8%)を合計した《知っている》が91.4%となっている。《知っている》は、小6保護者では93.3%、中3保護者では88.3%となっている。



Q14 子どもに関わる費用で負担を感じているもの、または費用負担のためにあきらめているものはありますか？あてはまる項目をすべて選んでください。

全体では、「学力向上のための費用（塾、学習参考書、通信教材）」が 58.4%と最も高く、次いで「大学等への進学のための費用」(41.6%)、「習いごとやスポーツクラブでの活動」(34.3%)と続いている。

小6保護者、中3保護者ともに「学力向上のための費用（塾、学習参考書、通信教材）」が最も高くなっているが、2番目に高い項目は、小6保護者では「習いごとやスポーツクラブでの活動」、中3保護者では「大学等への進学のための費用」となっている。



【参考】「平成 30 年度武蔵野市子ども生活実態調査」調査結果

次の物のうち、経済的な理由のために、あなたの世帯にないものはありませんか。
(○はいくつでも)

	あてはまるものはない	場所	子どもが学習できる部屋・円以上)	家族人数分の布団	本子どもの年齢に合った絵本や	冷暖房機器	含む)	電話（固定電話・携帯電話を	掃除機・電子レンジなど）	家電製品（洗濯機・炊飯器・	子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ	家族専用のお風呂	無回答
全体 (n=2,078)	79.3	9.3	6.0	1.7	1.3	1.2	1.2	0.9	0.8	0.1	6.3		
小4保護者 (n=795)	79.9	10.2	5.3	1.5	0.8	1.0	1.4	0.4	0.8	0.1	5.5		
小6保護者 (n=727)	80.3	8.4	5.1	1.5	1.4	0.8	1.0	0.6	0.4	0.0	6.7		
中2保護者 (n=556)	77.2	9.2	8.5	2.3	2.2	2.2	1.1	2.0	1.3	0.2	6.7		

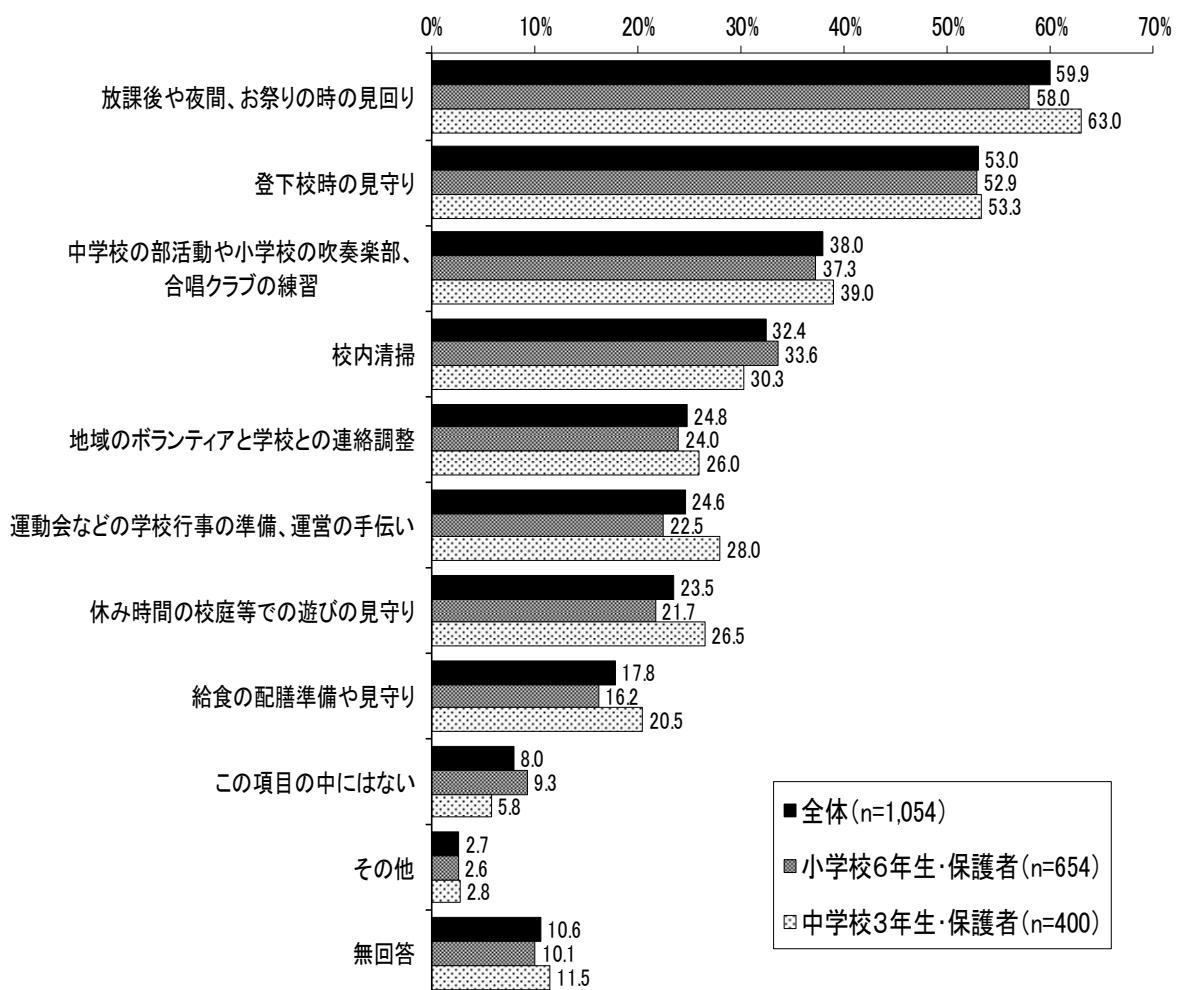
次の費用のうち、過去 1 年間に経済的な理由のため支払いが遅れたこと（または買えなかつたこと）はありますか。(○はいくつでも)

	あてはまるものはない	税金・保険など公的支払い	教育絏費（遠足や修学旅行参加 費、教材費、交通費、給食費）	光熱費	日常的に必要とする衣料	家賃	電話代	住宅ローン	通勤や通学の交通費	無回答
全体 (n=2,078)	84.9	5.4	2.7	2.4	2.1	1.4	1.1	0.8	0.3	6.3
小4保護者 (n=795)	87.3	3.8	1.6	1.9	1.4	1.0	0.6	0.8	0.4	6.2
小6保護者 (n=727)	85.8	5.0	2.6	1.4	2.6	1.2	1.0	0.6	0.1	6.2
中2保護者 (n=556)	80.6	8.3	4.5	4.7	2.5	2.0	1.8	1.3	0.4	6.7

Q15 次の項目のうち、地域や保護者のボランティアが行うなど、必ずしも学校が担う必要がないと思うものがありますか？あてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「放課後や夜間、お祭りの時の見回り」が 59.9%と最も高く、次いで「登下校時の見守り」(53.0%)、「中学校の部活動や小学校の吹奏楽部、合唱クラブの練習」(38.0%)と続いている。

「放課後や夜間、お祭りの時の見回り」と「運動会などの学校行事の準備、運営の手伝い」は、小6 保護者よりも中3 保護者の方が 5 ポイント以上高くなっている。



* 「その他」の回答としては、「無償ボランティアでなく有償で行うべき」、「P T A」などがみられた。

+++++

【Q15 の選択肢について】

Q15 の8つの選択肢は、平成31年度の中央教育審議会答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」において、「基本的には学校以外が担うべき業務」、「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」、「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」として整理された14の業務（下図）を参考に作成している。

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応	⑤調査・統計等への回答等 (事務職員等)	⑨給食時の対応 (学級担任と栄養教諭との連携等)
②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応	⑥児童生徒の休み時間における対応 (輪番、地域ボランティア等)	⑩授業準備 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)
③学校徴収金の徴収・管理	⑦校内清掃 (輪番、地域ボランティア等)	⑪学習評価や成績処理 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)
④地域ボランティアとの連絡調整 〔※その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。〕	⑧部活動 (部活動指導員等) 〔※部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。〕	⑫学校行事の準備・運営 (事務職員等との連携、一部外部委託等) ⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等) ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応 (専門スタッフとの連携・協力等)

[出典]新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）（第213号）（平成31年1月25日）

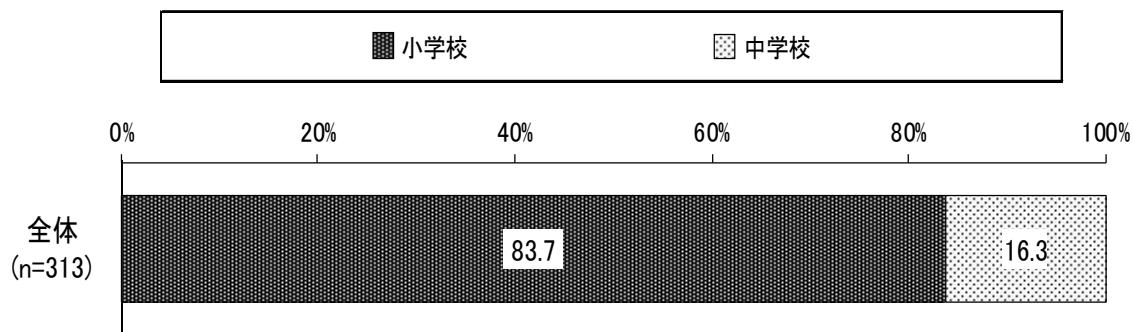
+++++

3 教員

(1) 基本属性

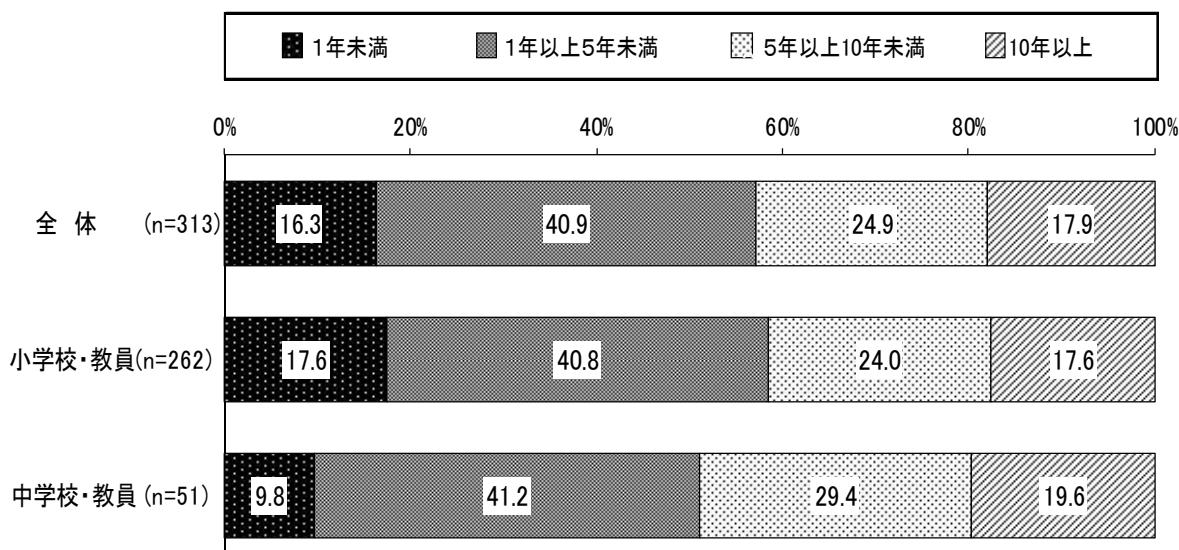
Q1 あなたが勤務している学校は次のどちらですか？

「小学校」が83.7%、「中学校」が16.3%となっている。



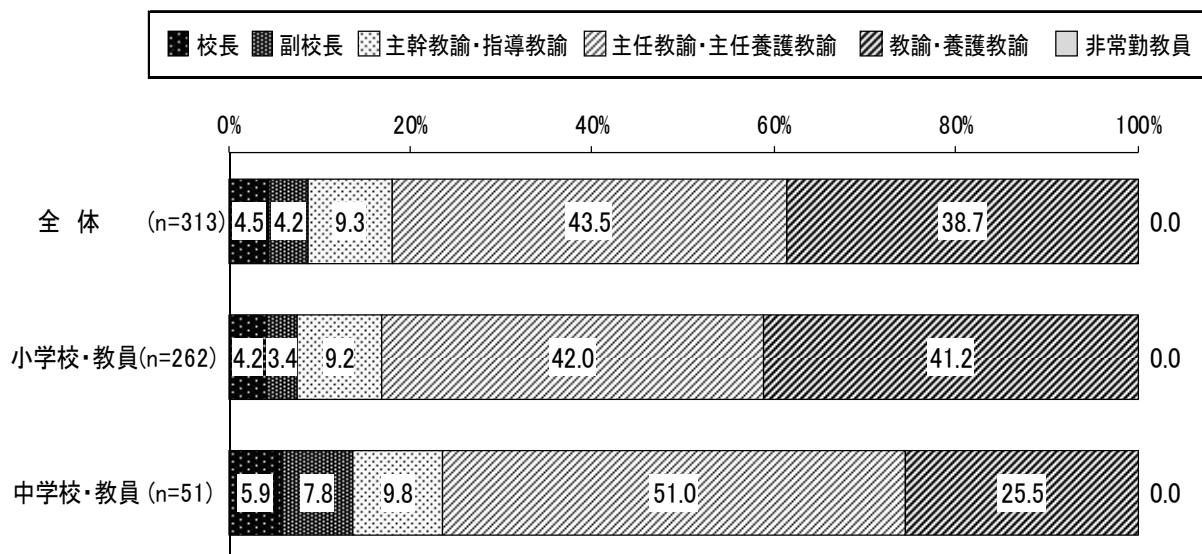
Q2 武蔵野市の学校に勤務した年数（通算）はどの区分に当てはまりますか？

全体では、「1年以上5年未満」が40.9%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」(24.9%)、「10年以上」(17.9%)、「1年未満」(16.3%)となっている。



Q3 あなたの職名は次のうちどれですか？

全体では、「主任教諭・主任養護教諭」が 43.5% と最も高く、次いで「教諭・養護教諭」(38.7%)、「主幹教諭・指導教諭」(9.3%) と続いている。

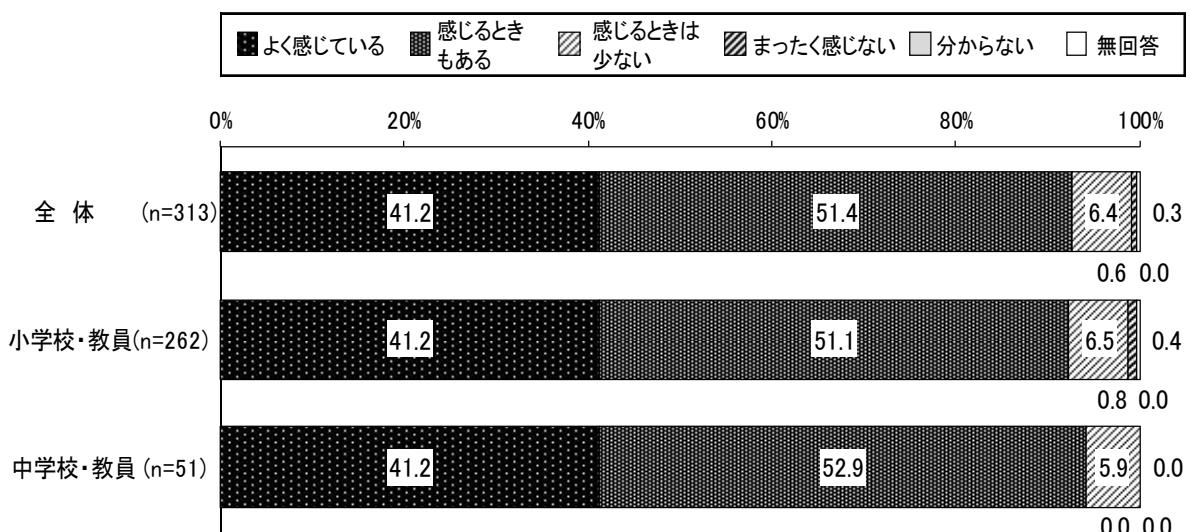


(2)やりがいや充実感について

Q4 今の仕事にやりがいや充実感を感じていますか？

全体では、「よく感じている」(41.2%)と「感じるときもある」(51.4%)を合計した《感じている》が92.7%と9割を超えていている。

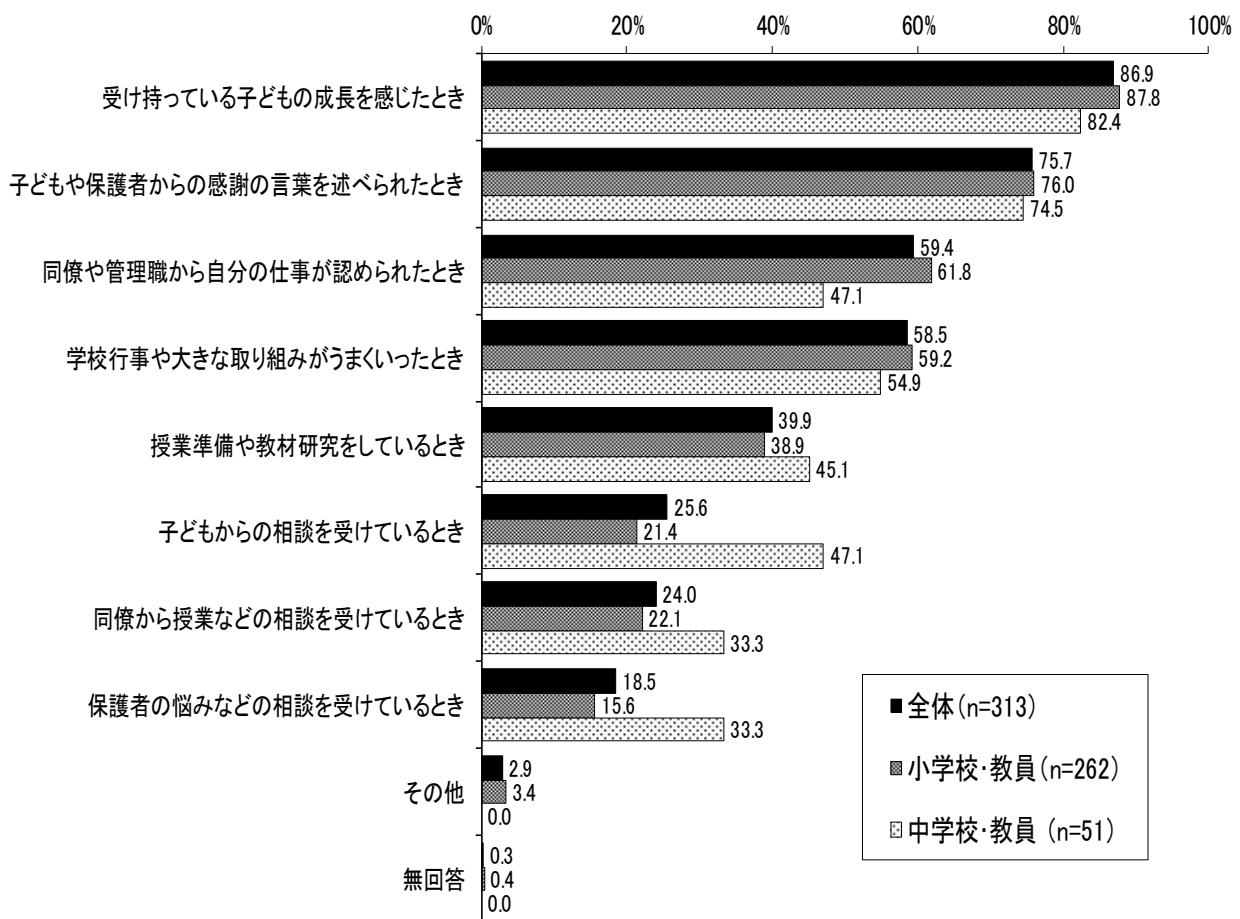
勤務校別でみると、《感じている》は小学校教員で92.4%、中学校教員で94.1%と大きな差はみられない。



Q5 どんなときに仕事のやりがいや充実感を感じますか？あてはまるものをすべて選択してください。

全体では、「受け持っている子どもの成長を感じたとき」が 86.9%と最も高く、次いで「子どもや保護者からの感謝の言葉を述べられたとき」(75.7%)、「同僚や管理職から自分の仕事が認められたとき」(59.4%)と続いている。

「子どもからの相談を受けているとき」は中学校教員では 47.1%と、小学校教員と比べて 25.7 ポイント高く、「同僚から授業などの相談を受けているとき」と「保護者の悩みなどの相談を受けているとき」でも中学校教員の方が 10 ポイント以上高くなっている。



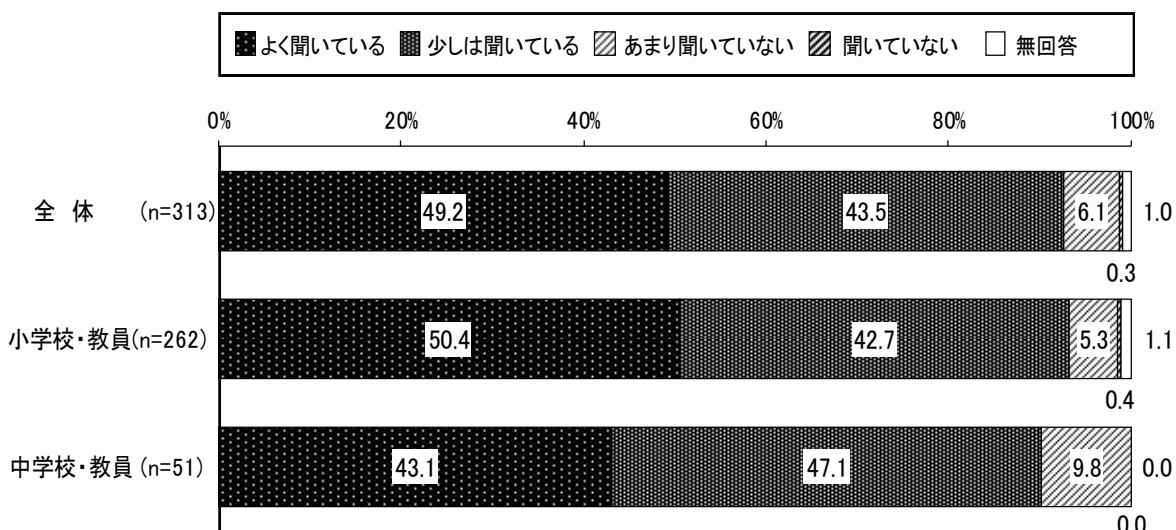
* 「その他」の回答としては、「自分が勉強したことを子どもや同僚に還元できたとき」、「経験年数の短い先生に指導方法の助言などをして、その先生の成長がみられた時」などがみられた。

(3)学校教育の現状や推進していくべきことなどについて

Q6 セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイディアや考えを聞いていますか？

全体では、「よく聞いている」(49.2%)と「少しは聞いている」(43.5%)を合計した《聞いている》が92.7%となっている。

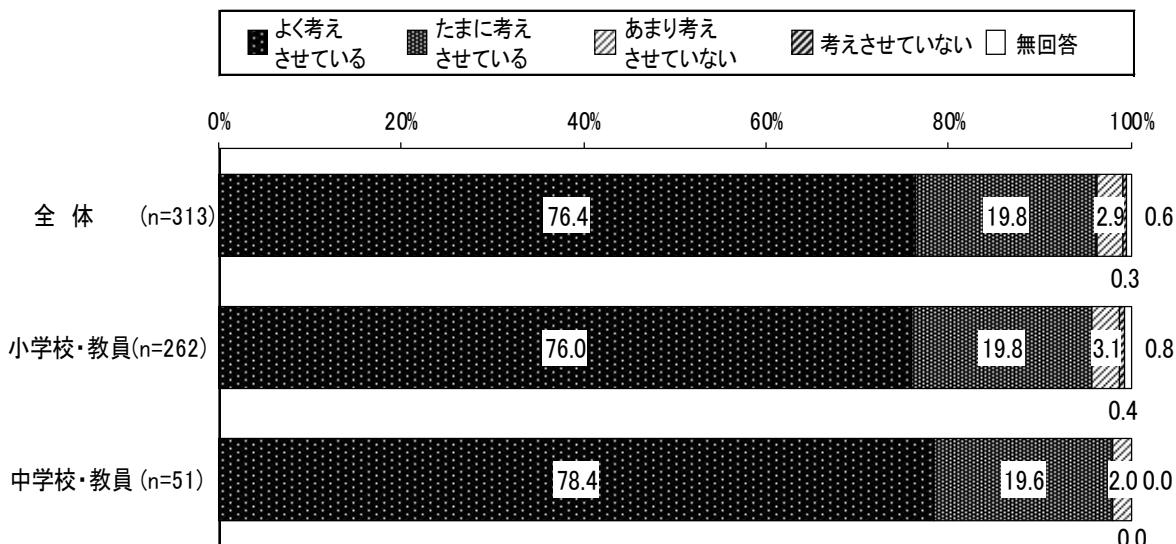
「よく聞いている」は、小学校教員では50.4%、中学校教員では43.1%と、小学校教員の方が7.3ポイント高くなっている。



Q7 セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちに「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えさせていますか？

全体では、「よく考えさせている」(76.4%)と「たまに考えさせている」(19.8%)を合計した《考えさせている》が96.2%となっている。

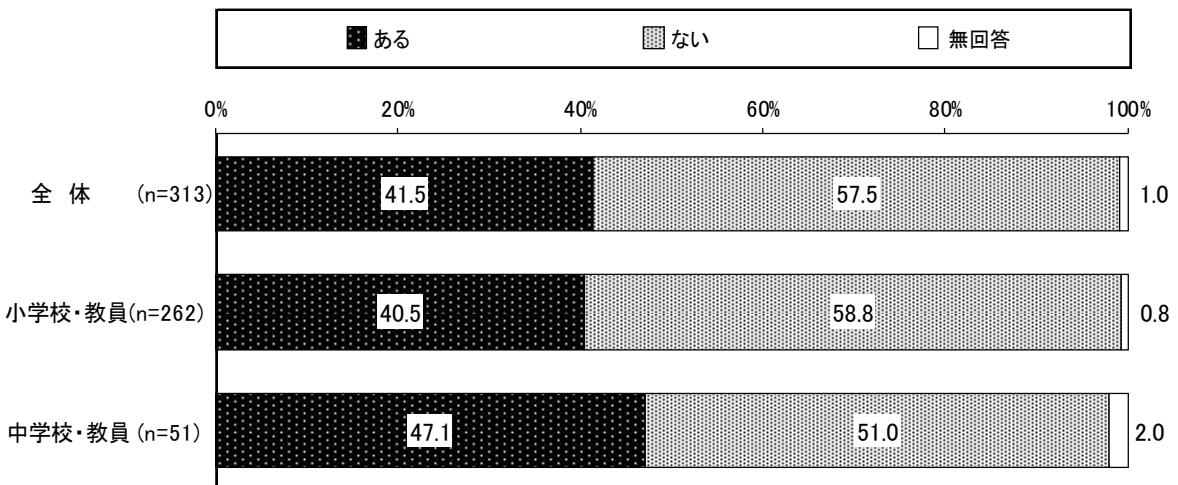
勤務校別でみると、《考えさせている》は、小学校教員、中学校教員ともに95%を上回り、大きな差はみられない。



Q8 今いる学校のきまりやルールの中で「これはおかしい」と思ったり、「変えた方がよい」と思ったりするものはありますか？

全体では、「ある」が41.5%、「ない」が57.5%となっている。

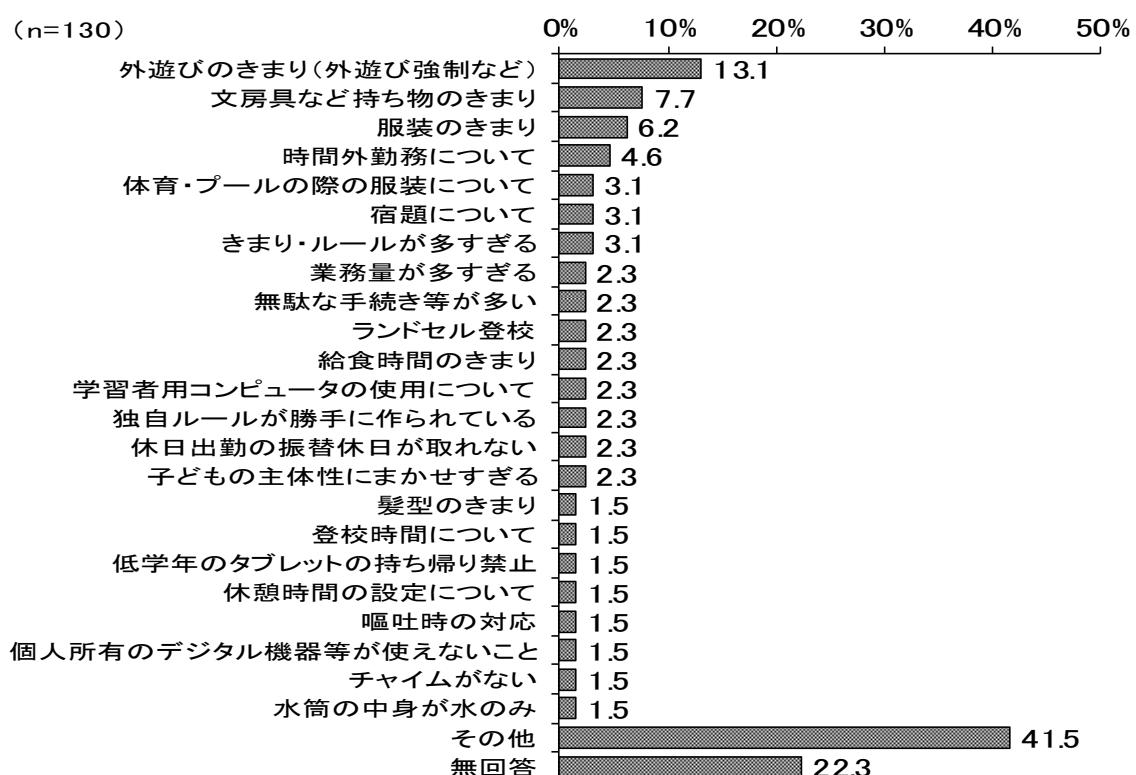
「ある」は、小学校教員（40.5%）よりも、中学校教員（47.1%）の方が6.6ポイント高くなっている。



Q8-2 それはどんなルールですか？（自由記述）

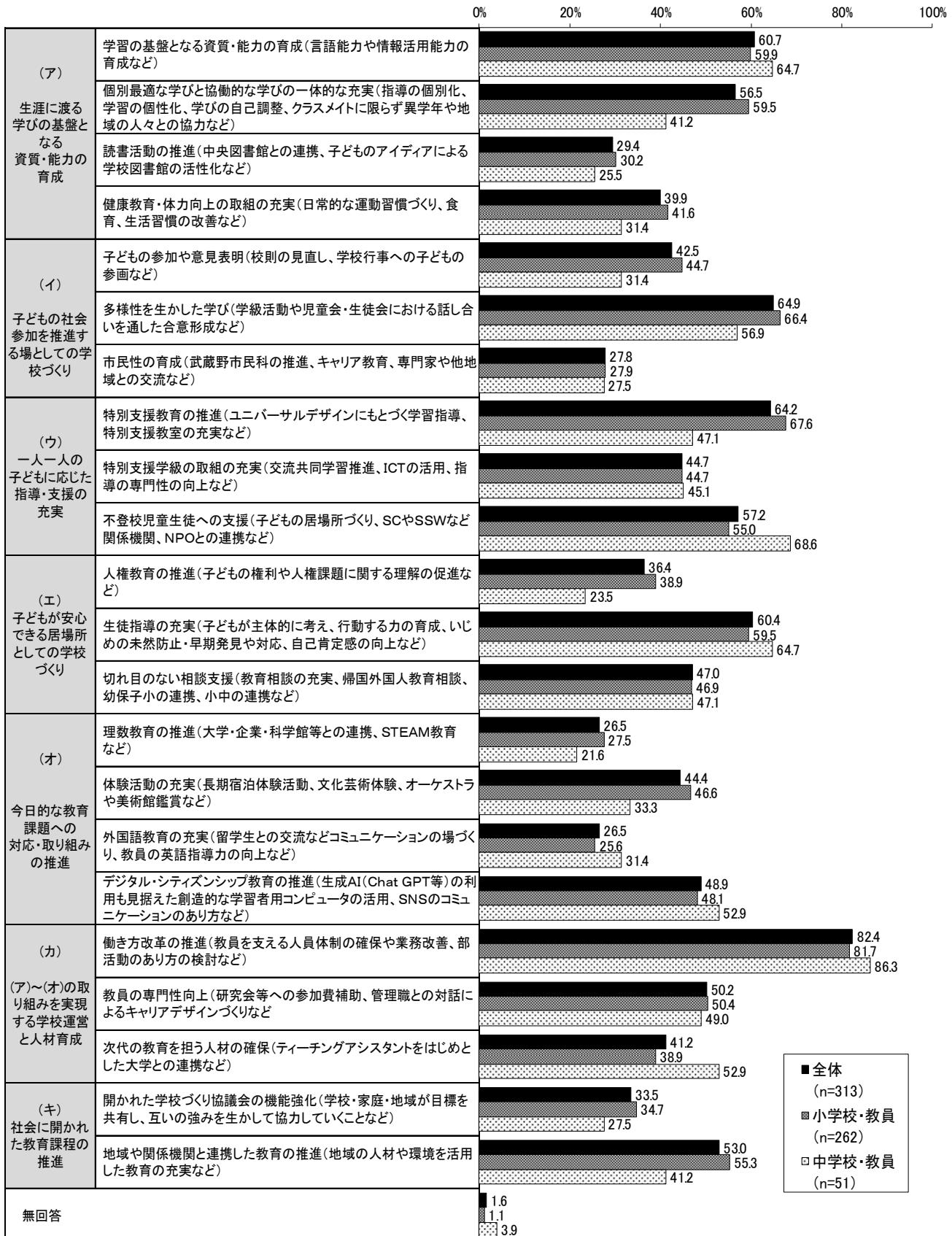
Q8で「ある」と回答した人に「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているのはどんなきまりやルールか尋ねたところ、「外遊びのきまり（外遊び強制など）」が13.1%と最も高く、次いで「文房具など持ち物のきまり」（7.7%）、「服装のきまり」（6.2%）、「時間外勤務について」（4.6%）と続いている。

*この設問は自由記述であるが、回答を分類して集計している。



Q9 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

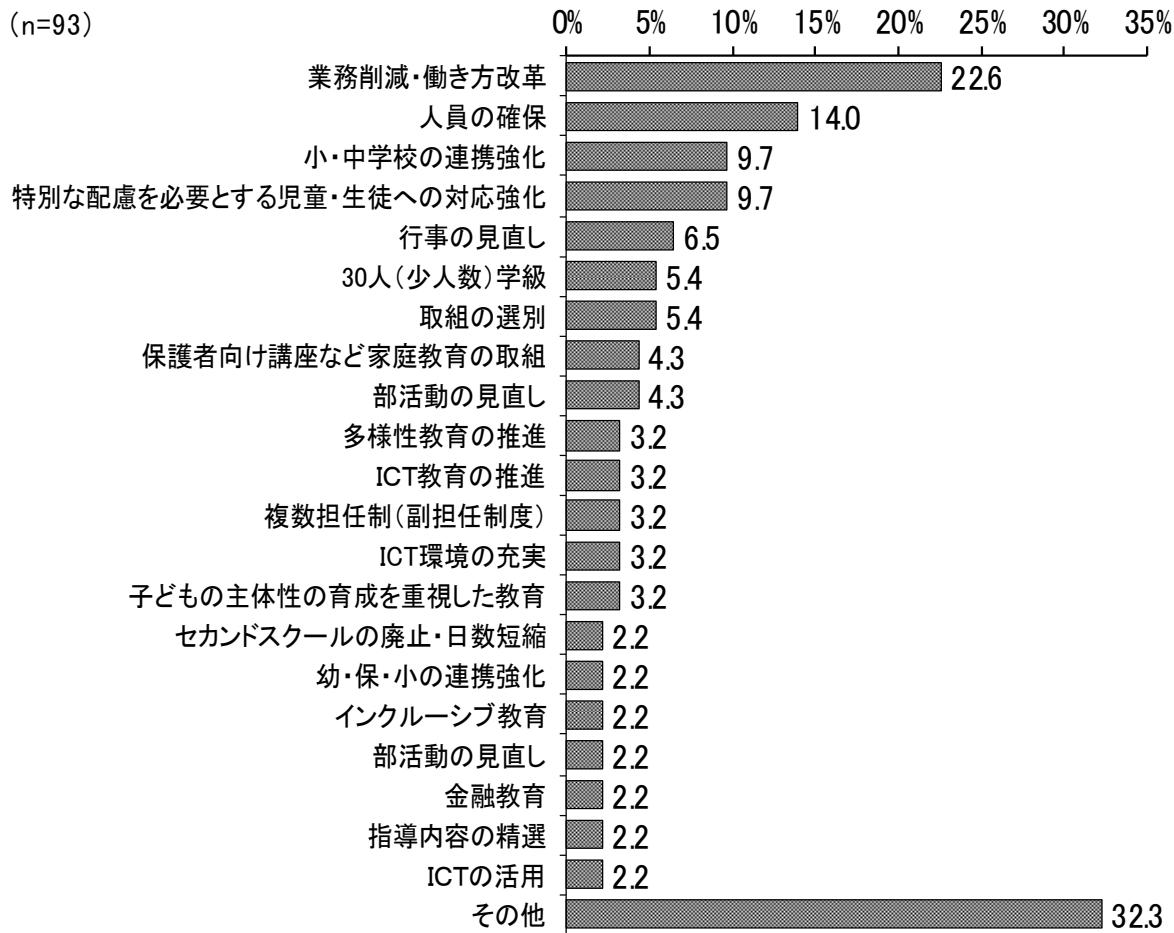
小学校教員、中学校教員ともに「働き方改革の推進」が最も高く、次いで2番目は、小学校教員では「特別支援教育の推進」、中学校教員では「不登校児童生徒への支援」となっている。



Q10 Q9以外に、市立小・中学校全体で進めていくとよいと、あなたが考える取り組みはどんなことですか？（自由記述）

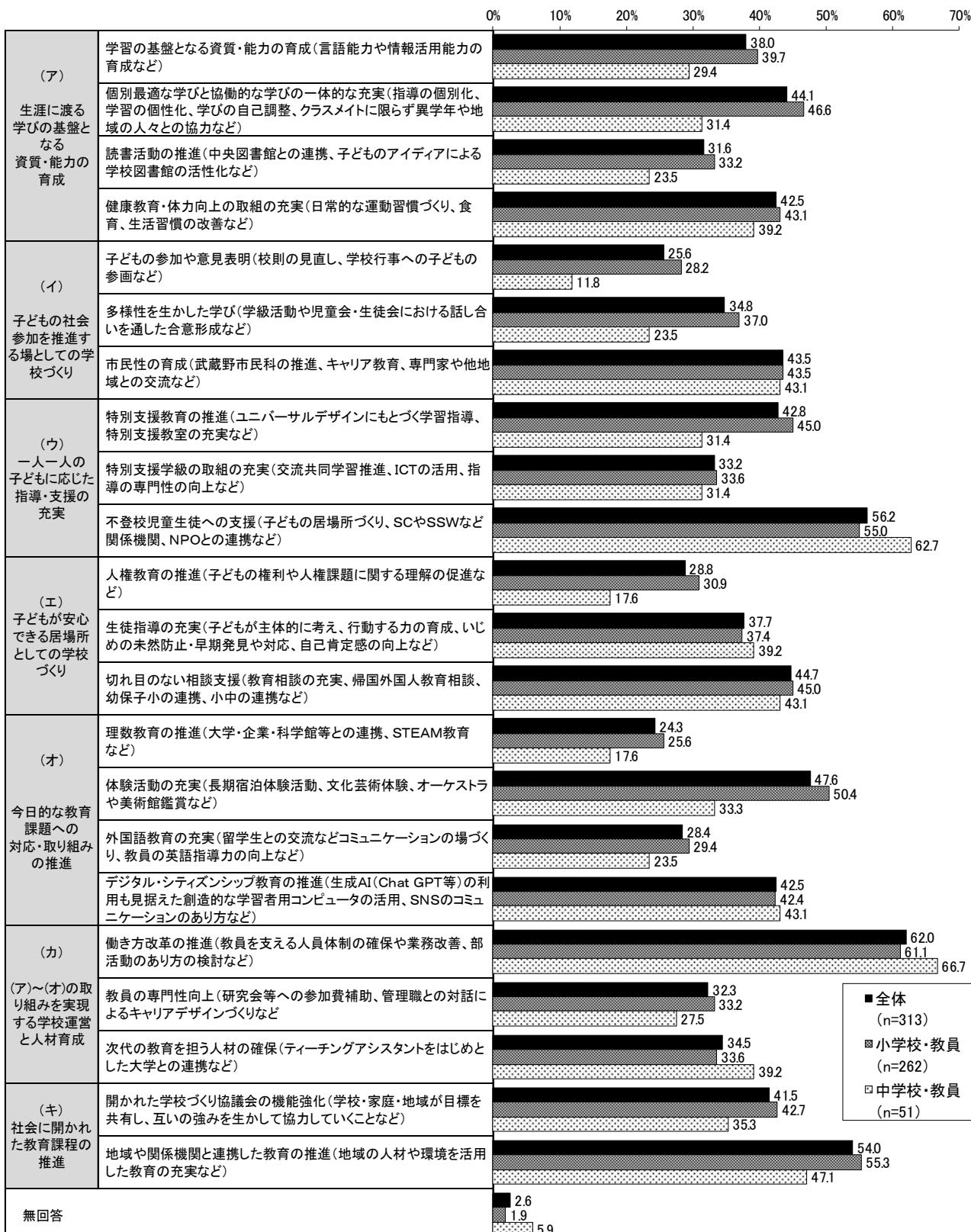
Q9で挙げたもの以外に進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことについて尋ねたところ、93人からの回答があり、「業務削減・働き方改革」が22.6%と最も高く、次いで「人員の確保」(14.0%)、「小・中学校の連携強化」、「特別な配慮を必要とする児童・生徒への対応強化」(ともに9.7%)と続いている。

*この設問は自由記述であるが、回答を分類して集計している。



Q11 Q9で掲げた取り組みのうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

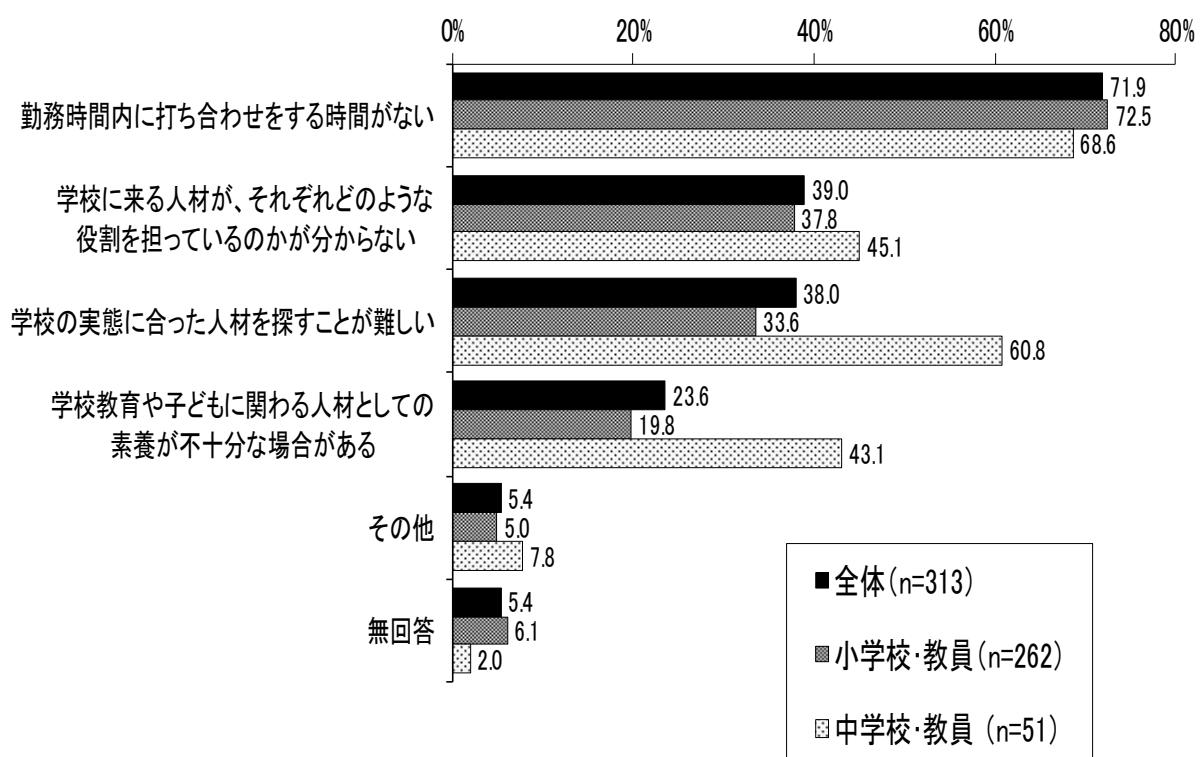
小学校教員、中学校教員ともに「働き方改革の推進」が最も高く、次いで2番目は、小学校教員では「地域や関係機関と連携した教育の推進」、中学校教員では「不登校児童生徒への支援」となっている。



Q12 武蔵野市では市講師や部活動指導員、ＩＣＴサポーターなど様々な人材を学校に配置や派遣をしています。こうした人材との連携を進めていく上で、どのような課題があると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

全体では、「勤務時間内に打ち合わせをする時間がない」が 71.9%と最も高く、次いで「学校に来る人材が、それぞれどのような役割を担っているのかが分からぬ」(39.0%)、「学校の実態に合った人材を探すことが難しい」(38.0%)と続いている。

勤務校別でみると、「学校の実態に合った人材を探すことが難しい」と「学校教育や子どもに関わる人材としての素養が不十分な場合がある」は小学校教員よりも中学校教員の方が 20 ポイント以上高くなっている。



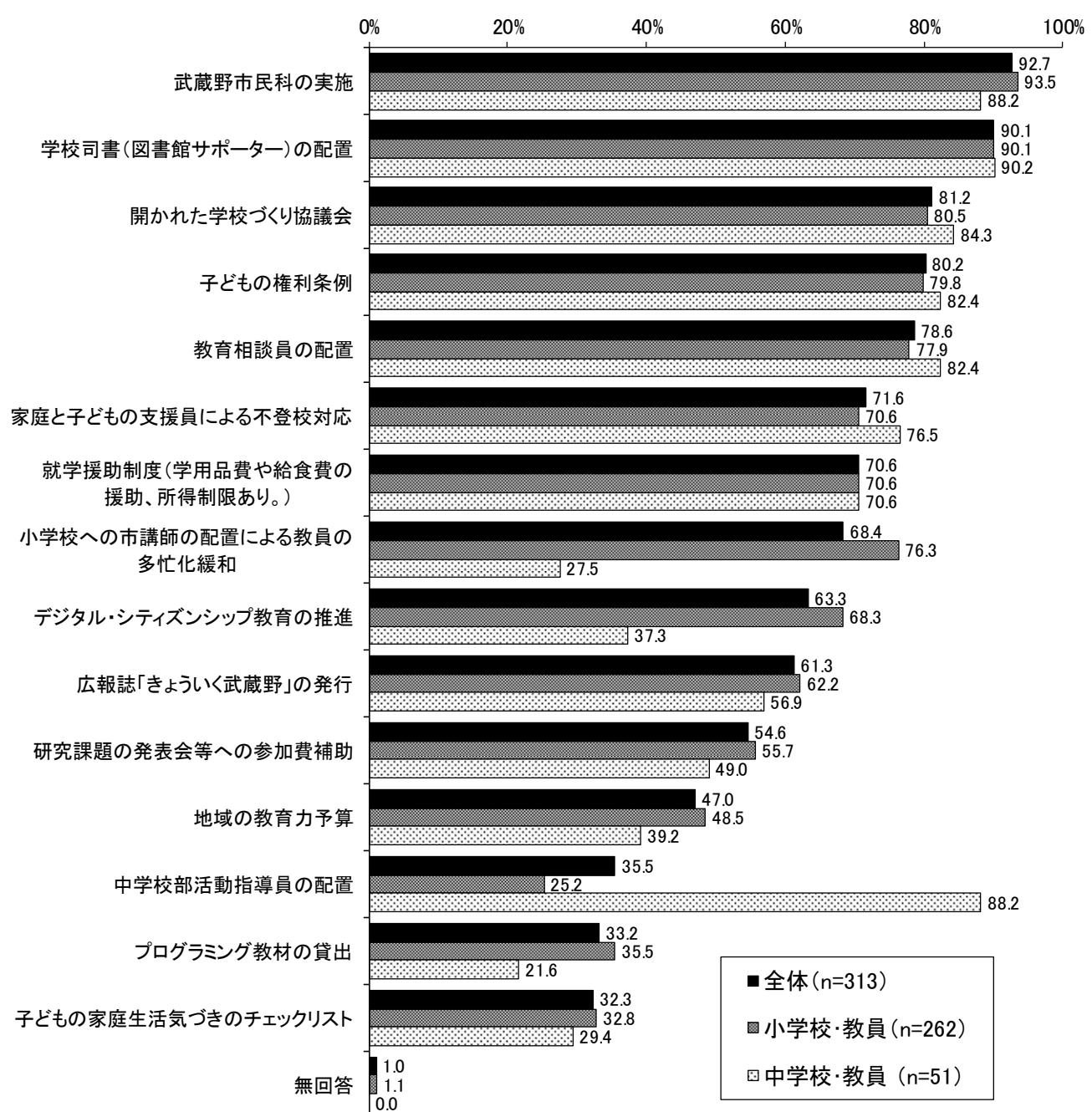
* 「その他」の回答としては、「ＩＣＴ関連の問題は突然起こるので、ＩＣＴサポーターの方には常時対応していただきたい」、「教員の負担軽減のために柔軟に運用してほしい（補教や帰りの会等をみる）」、「一人一人の業務負担を無くすために、もっと人員配置を増やすべき」などがみられた。

(4)武蔵野市の教育施策などについて

Q13 武蔵野市の施策で知っているものすべて選んでください。

全体では、「武蔵野市民科の実施」が92.7%と最も高く、次いで「学校司書（図書館サポーター）の配置」(90.1%)、「開かれた学校づくり協議会」(81.2%)、「子どもの権利条例」(80.2%)と続き、ここまでが8割以上の認知度となっている。一方で、「プログラミング教材の貸出」と「子どもの家庭生活気づきのチェックリスト」は約3割台の認知度であった。

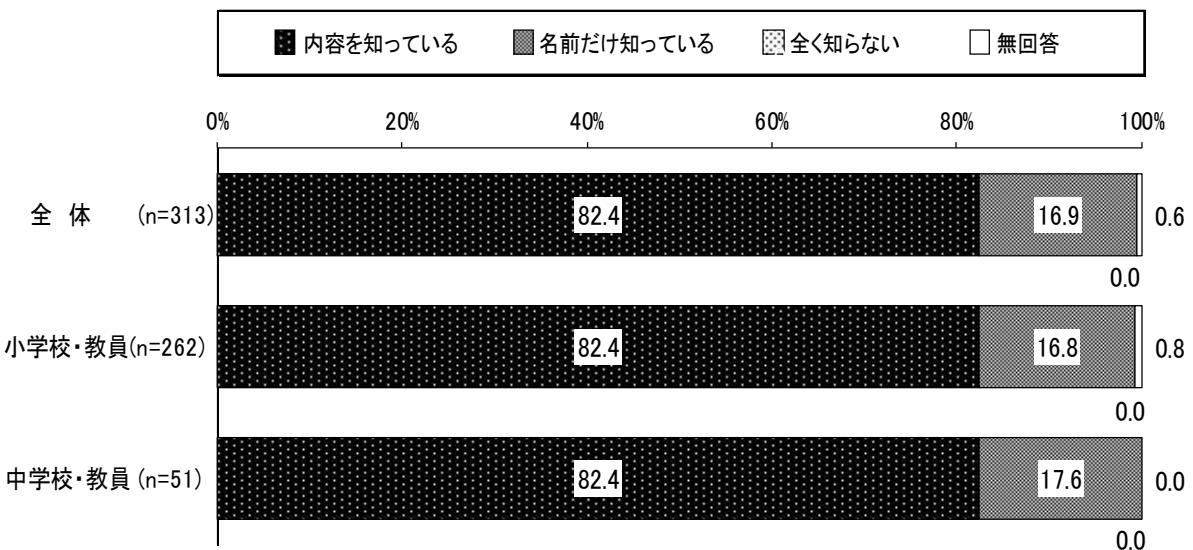
勤務校別にみると、小学校・中学校それぞれを対象とした項目（「小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和」、「中学校部活動指導員の配置」）を除くと、「デジタル・シティズンシップ教育の推進」で31.0ポイント、「プログラミング教材の貸出」で13.9ポイント、中学校教員よりも小学校教員の方が高くなっている。



Q14 あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

全体では、「内容を知っている」が82.4%、「名前だけ知っている」が16.9%であり、「全く知らない」との回答はなかった。

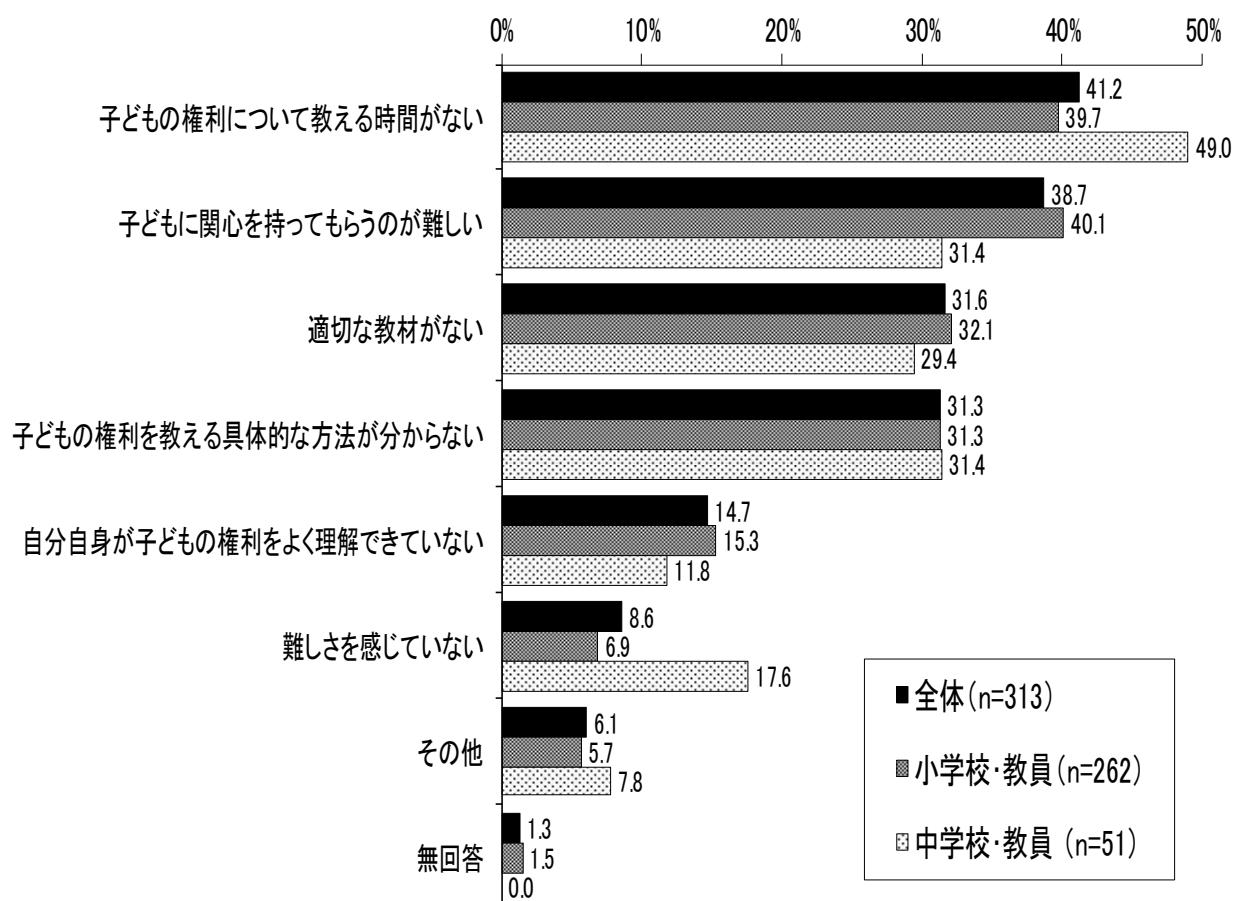
勤務校別でみても、大きな差はみられない。



Q15 子どもに「子どもの権利」を教えるにあたって、どのような難しさを感じていますか？

全体では、「子どもの権利について教える時間がない」が41.2%と最も高く、次いで「子どもに関心を持ってもらうのが難しい」(38.7%)、「適切な教材がない」(31.6%)と続いている。

勤務校別にみると、「難しさを感じていない」は小学校教員よりも中学校教員の方が10.7ポイント高く、「子どもの権利について教える時間がない」でも中学校教員の方が9.3ポイント高くなっている。



*「その他」の回答としては、「子どもの権利を逆手に取り、権利を主張するのではないか心配な部分がある」、「年間指導計画に位置付けられていない」、「教員に『人権』や『主権者意識』が乏しい」などがみられた。

第3章 調査結果の分析

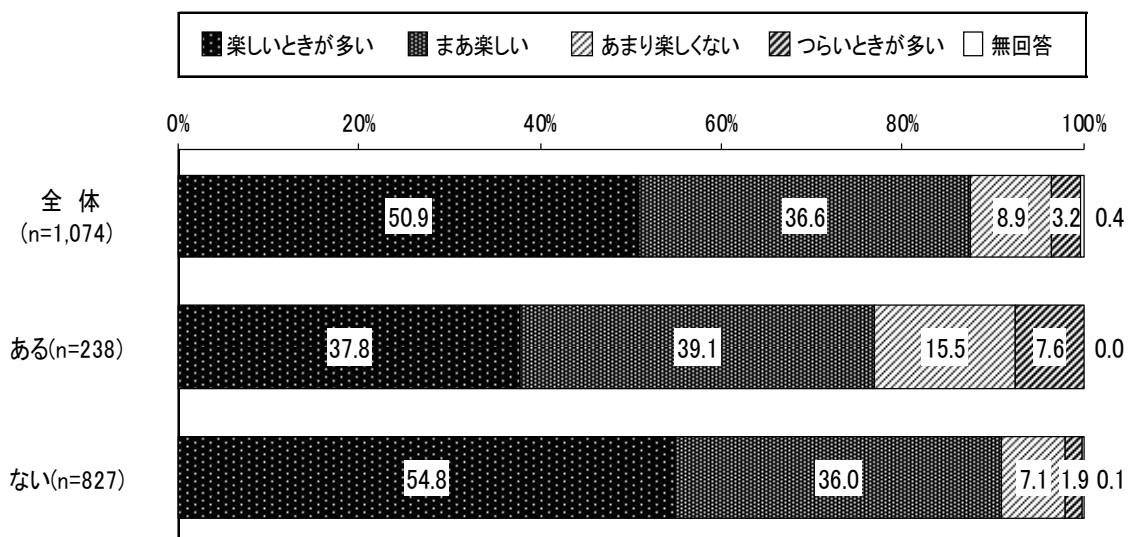
1 クロス集計比較

本調査結果を用いて、いくつかクロス集計を行ったうち、サンプル数が一定数あった設問について分析を行った。

(1)児童・生徒

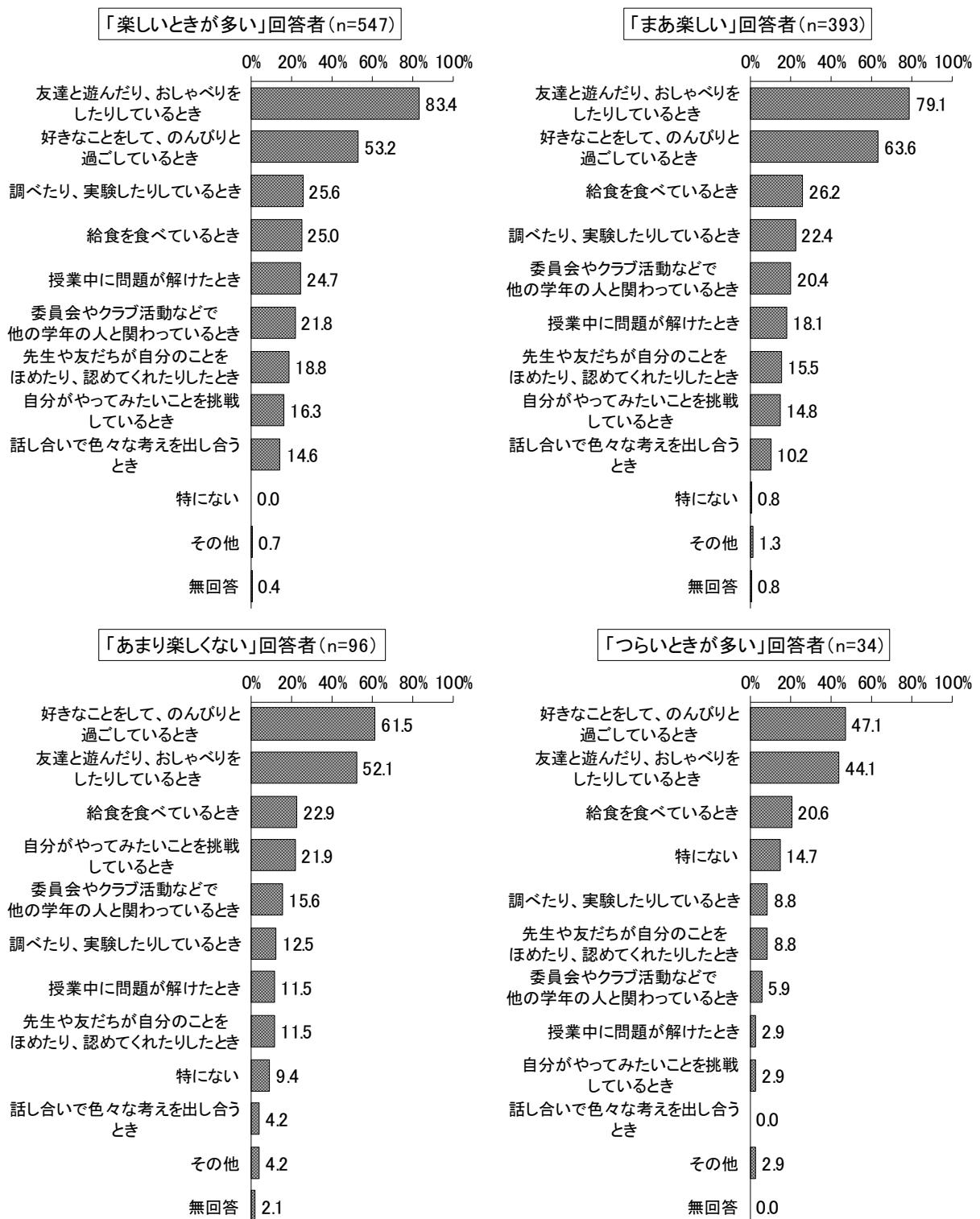
- (Q1) あなたにとって学校はどんな場所ですか？
(Q6) あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものがありますか？

Q1 「学校はどんな場所か」をQ6 「変えたいきまりやルールの有無」の回答別にみると、変えたいきまりやルールが「ある」と回答した人は、「楽しいときが多い」(37.8%)と「まあ楽しい」(39.1%)を合計した《楽しい》が76.9%となっている。一方で、変えたいきまりやルールが「ない」と回答した人では、「楽しいときが多い」(54.8%)と「まあ楽しい」(36.0%)を合計した《楽しい》は90.8%と約9割を占めた。



- (Q2) 学校にいるときに「楽しい」と感じるのどんなんときですか？
(Q1) あなたにとって学校はどんな場所ですか？

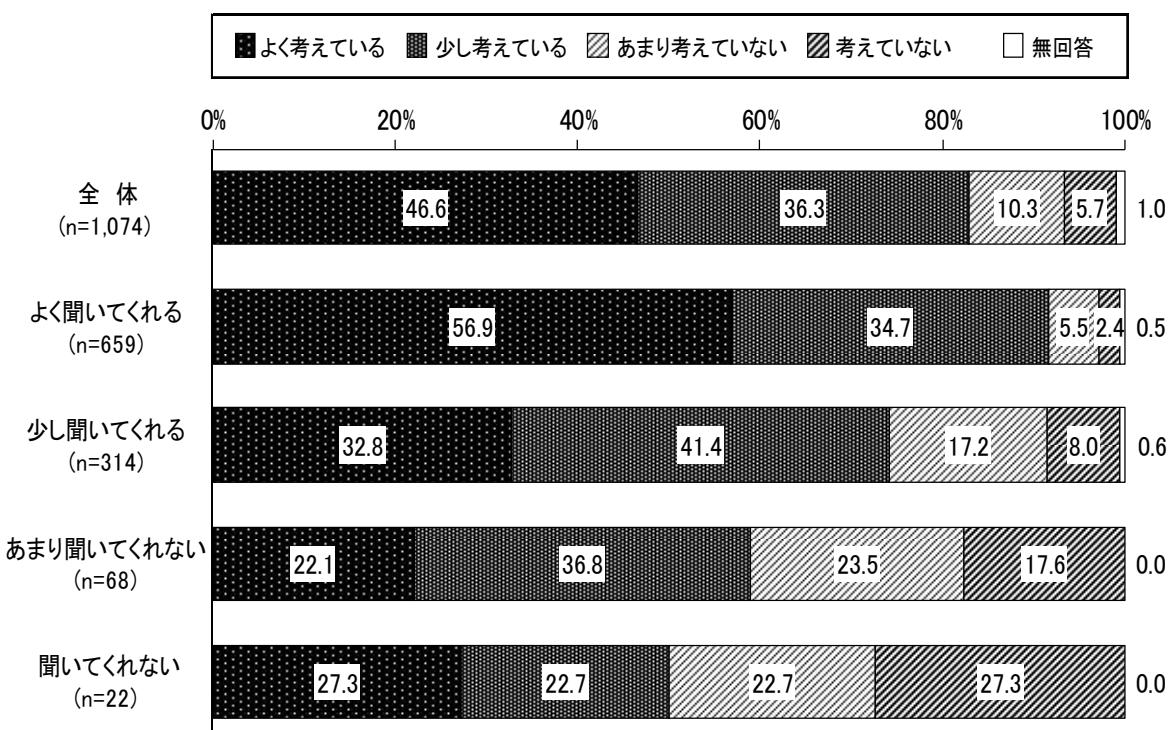
Q2 「学校で楽しいと感じるとき」をQ1「学校はどんな場所か」の回答別にみると、「楽しい時が多い」・「まあ楽しい」回答者は「友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき」が最も高く、「あまり楽しくない」・「つらいときが多い」回答者は「好きなことをして、のんびりと過ごしているとき」が最も高くなっている。



(Q5) あなたは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういうことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？

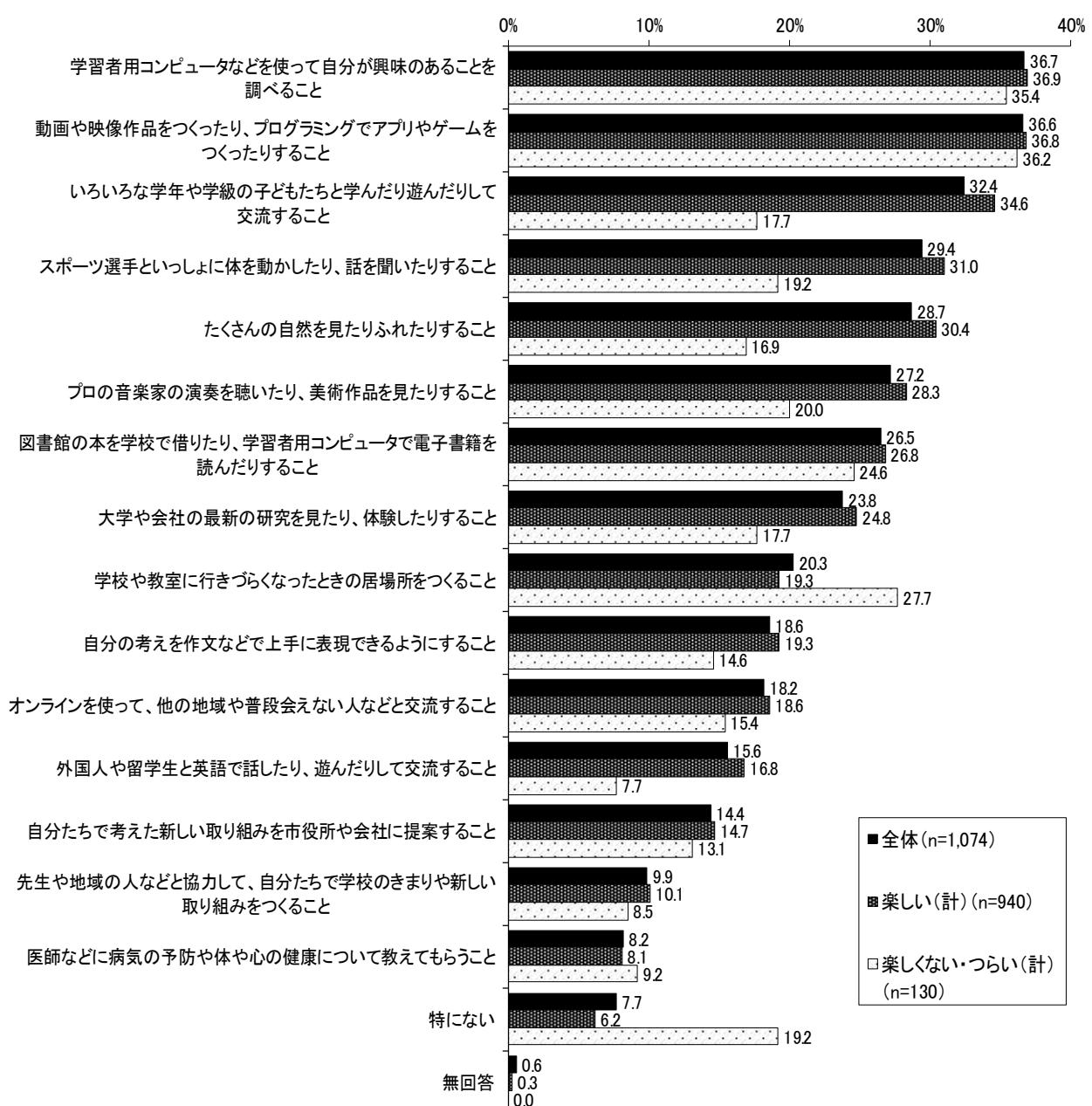
(Q4) セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイディアや考えを聞いてくれますか？

Q5 「学校の取り組みや行事のときに目的や目標を考えているか」をQ4 「学校の取り組みや行事のときに意見を聞いてもらえるか」の回答別にみると、「よく聞いてくれる」回答者は「よく考えている」(56.9%)と「少し考えている」(34.7%)を合計した《考えている》が91.7%となっている。「聞いてくれない」回答者は「よく考えている」(27.3%)と「少し考えている」(22.7%)を合計した《考えている》が50.0%と、「よく聞いてくれる」と回答した人ほど《考えている》の割合が高くなっている。



- (Q7) 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？
 (Q1) あなたにとって学校はどんな場所ですか？

Q7 「学校でやってみたいこと」をQ1 「学校はどんな場所か」の回答別にみると、「楽しくない・つらい（計）」回答者は、「楽しい（計）」回答者と比べて、「いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること」で16.9ポイント、「たくさん自然を見たりふれたりすること」で13.5ポイント、「スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること」で11.8ポイント低くなっている。一方で、「特ない」では13.0ポイント、「学校や教室に行きづらくなったときの居場所をつくること」では8.4ポイント、「楽しくない・つらい（計）」回答者のほうが高くなっている。

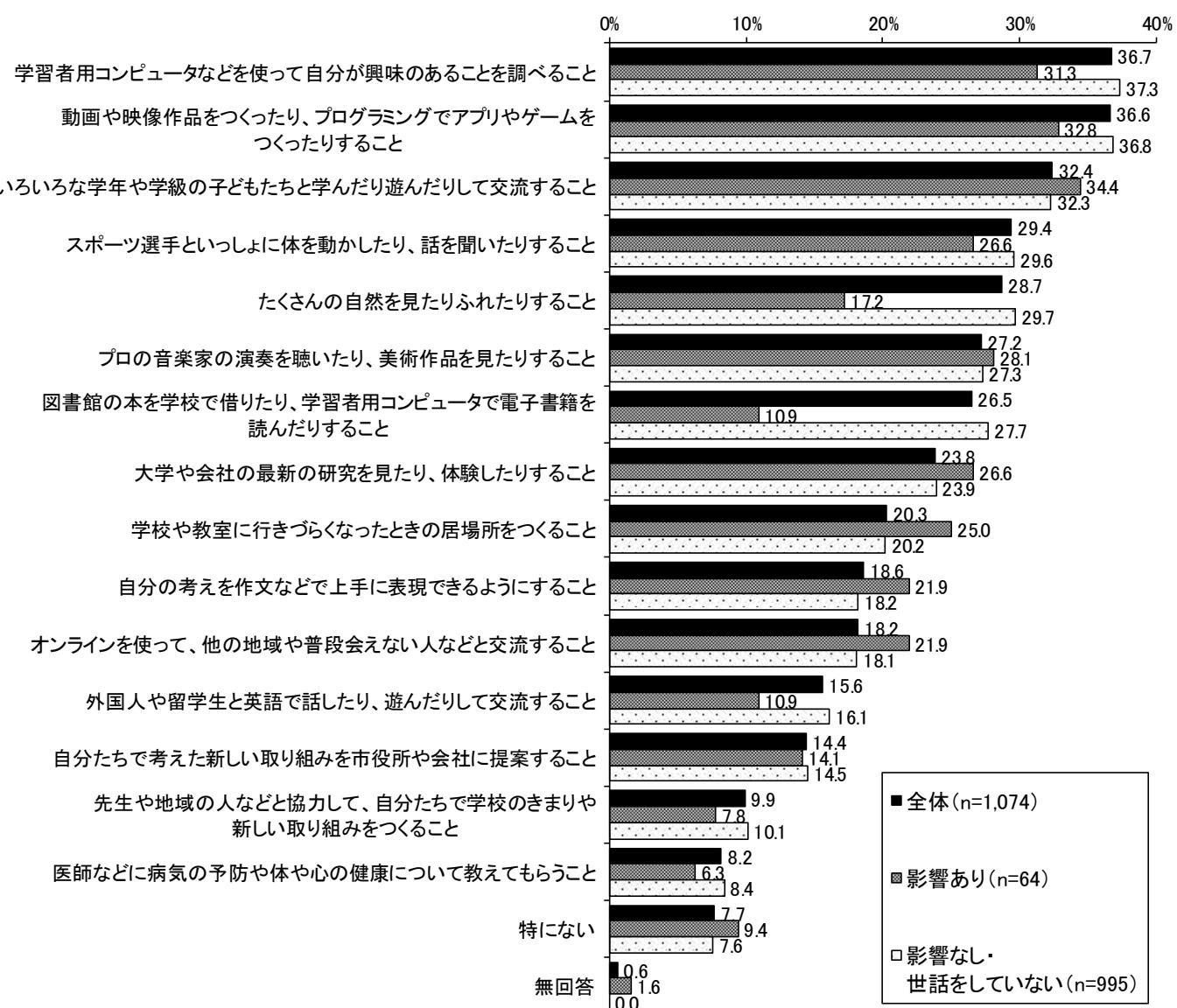


※「楽しい（計）」：Q1で「楽しいときが多い」・「まあ楽しい」と回答している人。

「楽しくない・つらい（計）」：Q1で「あまり楽しくない」・「つらいときが多い」と回答している人。

- (Q7) 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？
 (Q15) 家族の中にあなたがいつも助けたり、お世話をしたりしている人はいますか？
 (Q16) 家族を助けたり、お世話をしたりすることで、あなたの生活にどんな影響が出ていると思いますか？

Q7 「学校でやってみたいこと」をQ15「家族の世話をしているか」及びQ16「家族の世話をすることによる影響」の回答別にみると、「影響あり」回答者は、「影響なし・世話をしていない」回答者と比べて、「図書館の本を学校で借りたり、学習者用コンピュータで電子書籍を読んだりすること」で16.8ポイント、「たくさんの自然を見たりふれたりすること」で12.5ポイント低くなっている。一方で、「学校や教室に行きづらくなったときの居場所をつくること」は、「影響あり」回答者のほうが4.8ポイント高くなっている。



※「影響あり」：Q15で世話をしている人が「いる」、かつQ16で「特に影響はない」以外の回答をしている人。

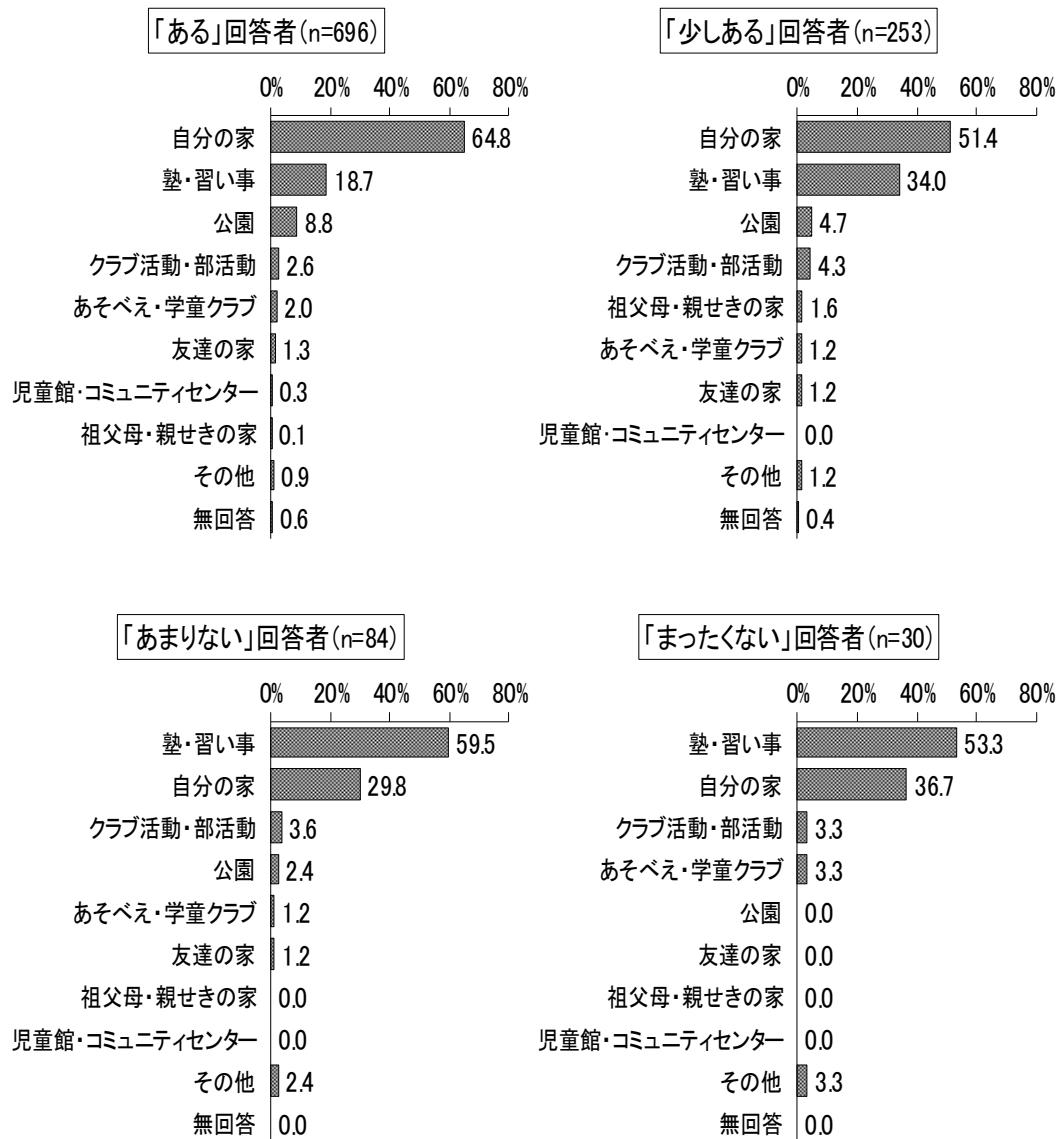
「影響なし」：Q15で世話をしている人が「いる」、かつQ16で「特に影響はない」と回答している人。

「世話をしていない」：Q15で世話をしている人が「いない」と回答している人。

(Q9) 放課後に一番よくいる場所はどこですか？

(Q12) 放課後や休日に、自分のやりたいことや好きなことをする時間はありますか？

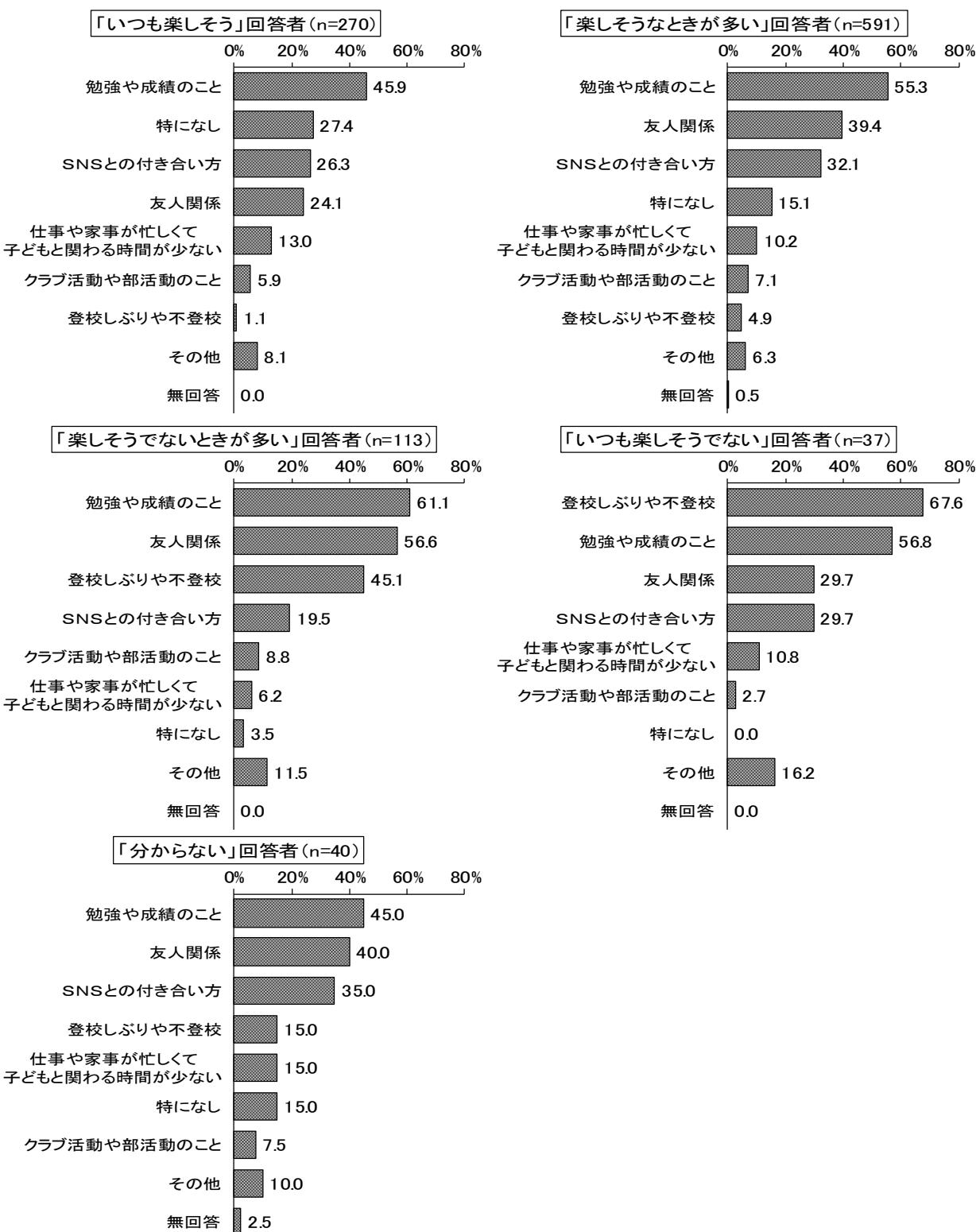
Q9「放課後に一番よくいる場所」をQ12「放課後や休日に自分のやりたいことをする時間の有無」の回答別にみると、自分のやりたいことをする時間が「ある」・「少しある」回答者は「自分の家」が最も高く、「あまりない」・「ない」回答者は「塾・習い事」が最も高くなっている。



(2)保護者

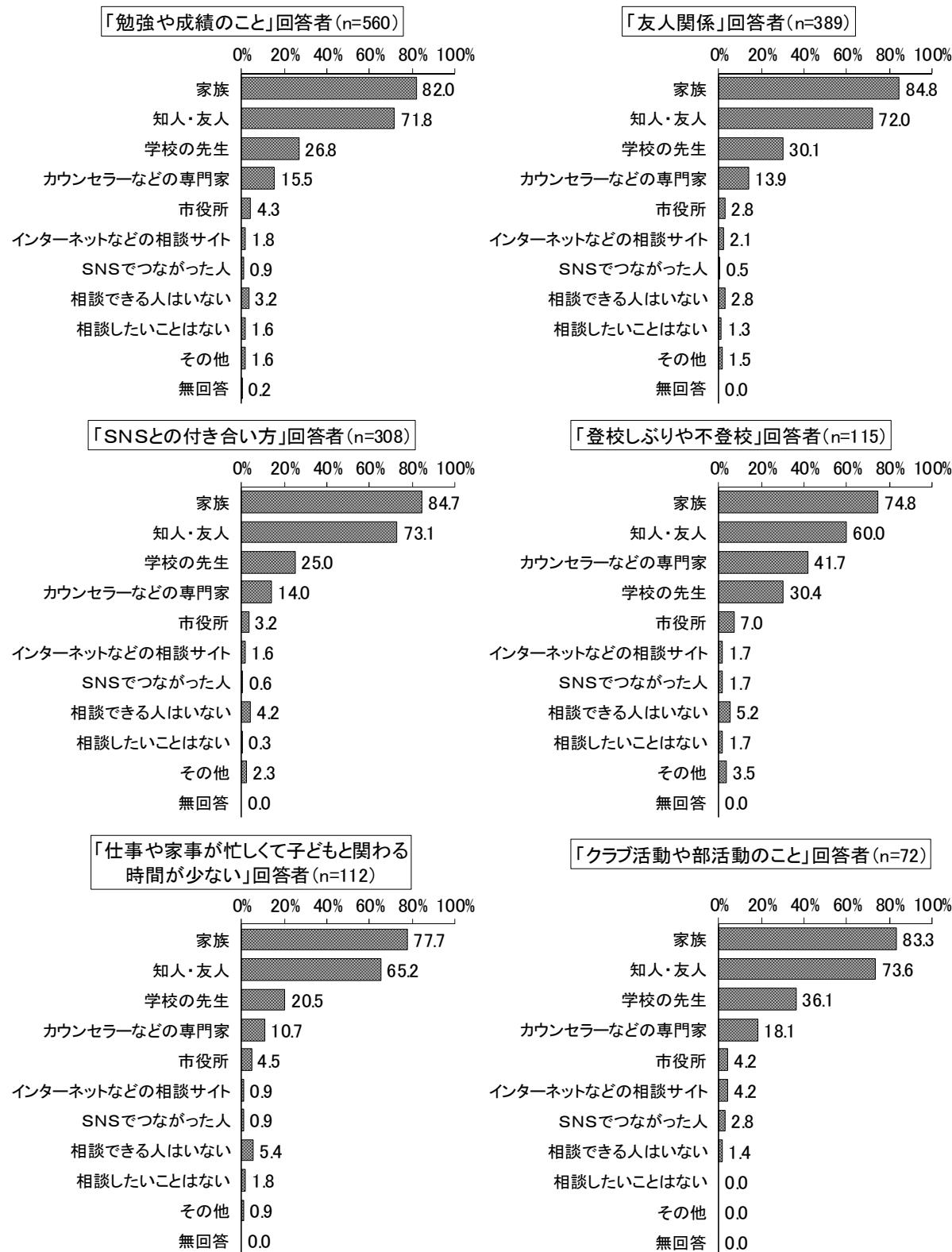
- (Q4) お子さんの日常生活について心配していることはありますか？
 (Q2) お子さんは学校に楽しそうに通っていますか？

Q4「お子さんの日常生活についての心配事」をQ2「学校に楽しそうに通っているか」の回答別にみると、「いつも楽しそう」・「楽しそうなときが多い」・「楽しそうでないときが多い」・「分からぬ」回答者は「勉強や成績のこと」が最も高くなっている。一方で、「いつも楽しそうでない」回答者は「登校しぶりや不登校」が最も高くなっている。



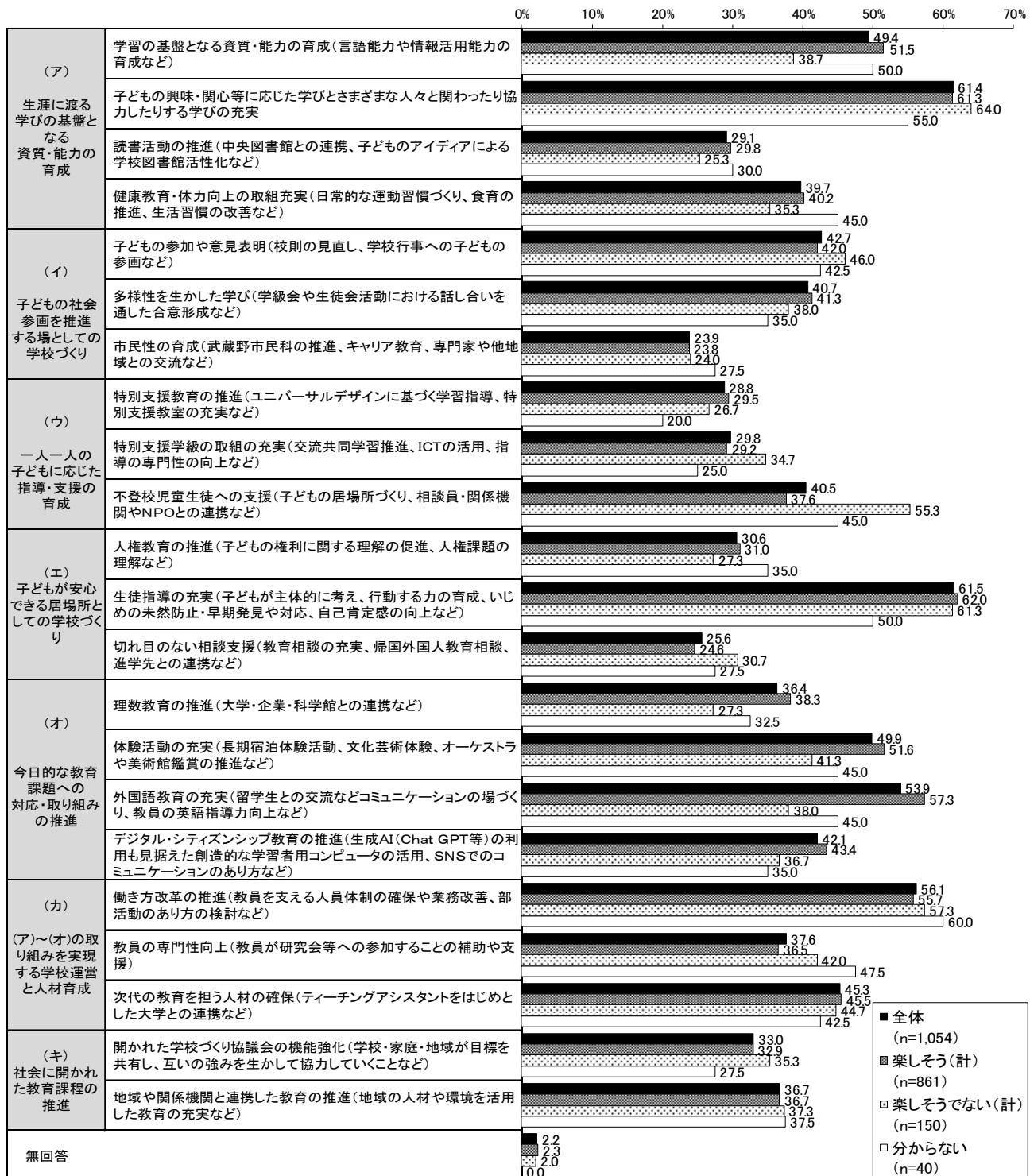
(Q5) あなたが子育てで悩んでいたりする時、誰に相談できますか？
(Q4) お子さんの日常生活について心配していることはありますか？

Q5「心配事の相談先」をQ4「お子さんの日常生活について心配していること」の回答別にみると、いずれの心配事についても「家族」が最も高く、2番目は「知人・友人」となっている。3番目に高い相談先は、「登校しぶりや不登校」回答者は「カウンセラーなどの専門家」であるが、その他の心配事については「学校の先生」となっている。



(Q9) 学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか?
(Q2) お子さんは学校に楽しそうに通っていますか?

Q9 「学校で進めた方がよいこと」をQ2 「学校に楽しそうに通っているか」の回答別にみると、「楽しそう（計）」回答者は、「楽しそうでない（計）」回答者と比べて、(オ)「外国語教育の充実」で19.3ポイント、(ア)「学習の基盤となる資質・能力の育成」で12.8ポイント、(オ)「理数教育の推進」で11.0ポイント低くなっている。一方で、(ウ)「不登校児童生徒への支援」では17.7ポイント、「楽しそうでない（計）」回答者のほうが高くなっている。

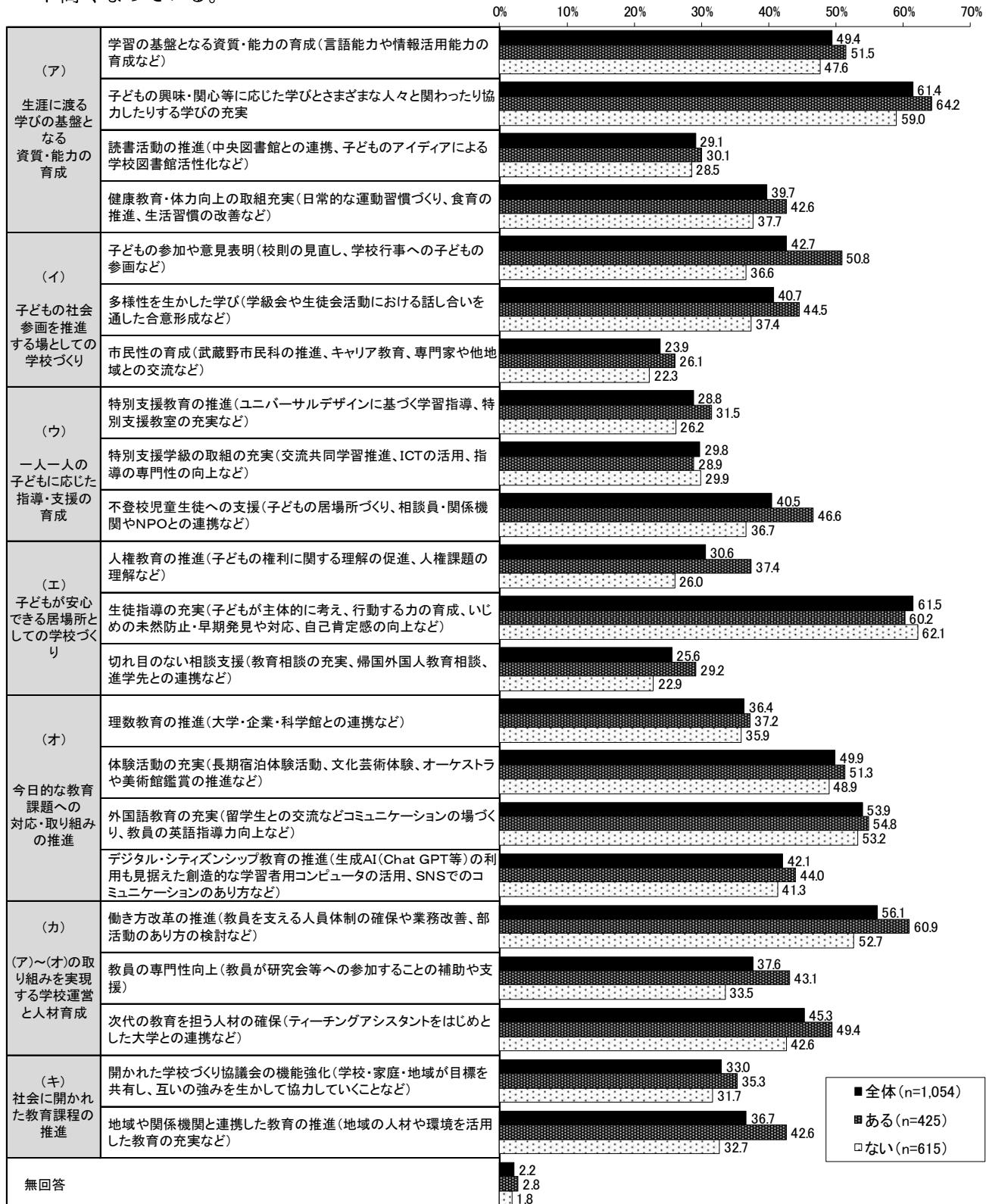


※「楽しそう（計）」：Q2で「いつも楽しそう」・「楽しそうなときが多い」と回答している人。

「楽しそうでない（計）」：Q2で「楽しそうでないときが多い」・「いつも楽しそうでない」と回答している人。

- (Q9) 学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか？
 (Q8) あなたは、今の学校のきまりやルールの中で、「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているものはありますか？

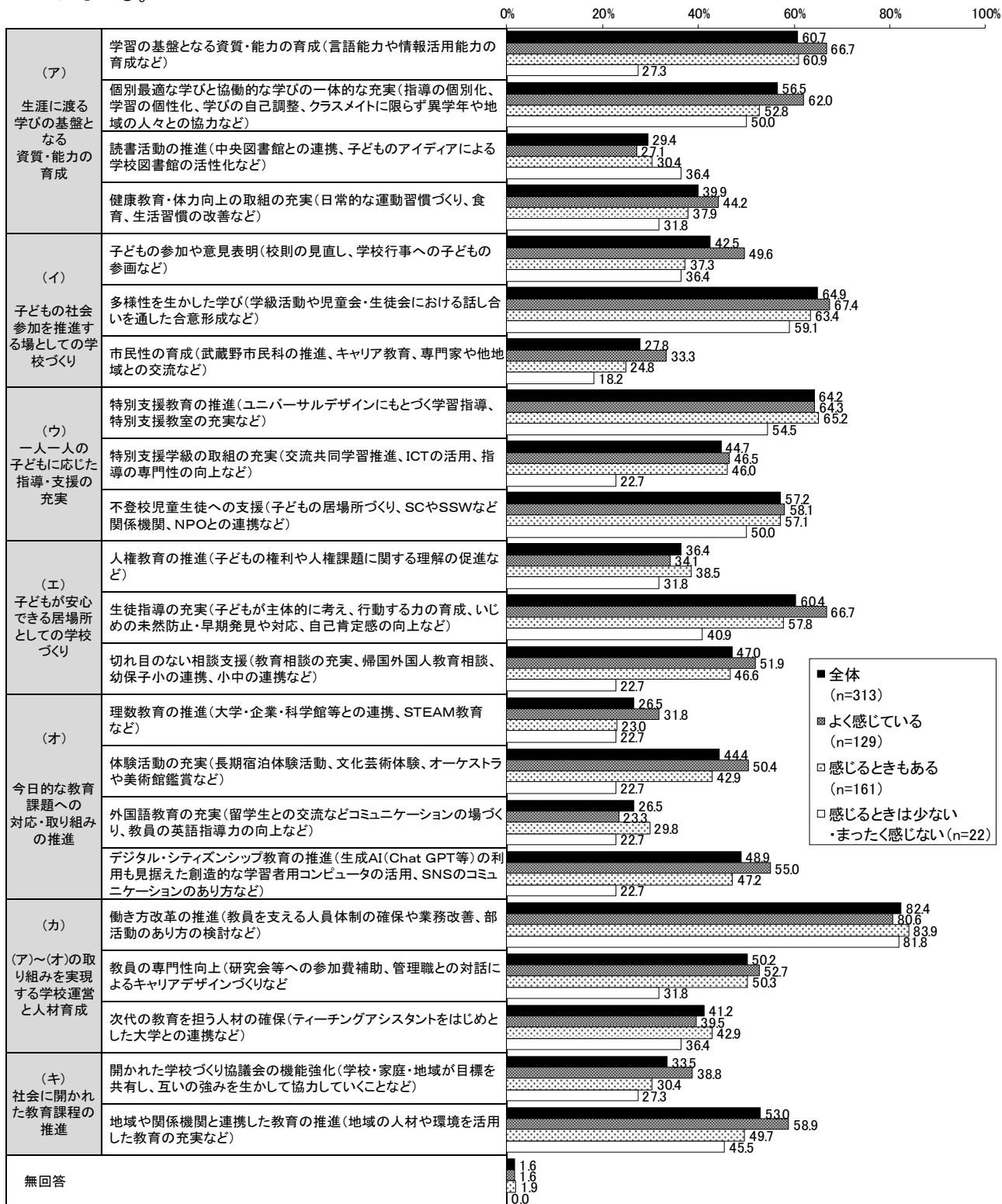
Q9 「学校で進めた方がよいこと」をQ8 「変えてほしいルールの有無」の回答別にみると、ほとんどの項目で「ある」と回答した人の方が「ない」と回答した人よりも割合が高く、特に（イ）「子どもの参加や意見表明」では 14.2 ポイント、（エ）「人権教育の推進」では 11.4 ポイント高くなっている。



(3)教員

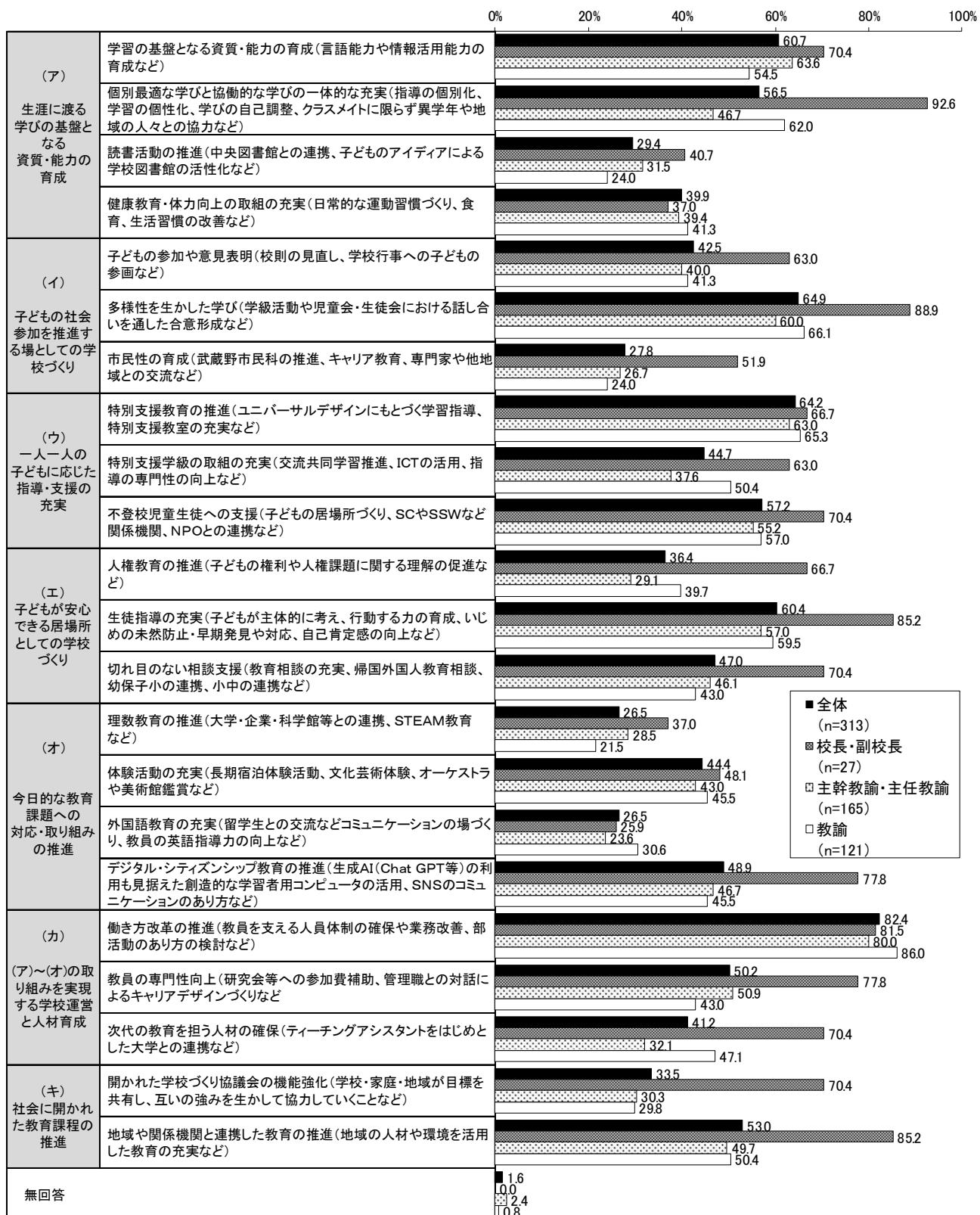
- (Q9) 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？
 (Q4) 今の仕事にやりがいや充実感を感じていますか？

Q9 「学校で進めた方がよいこと」をQ4 「仕事に対するやりがいや充実感」の回答別にみると、多くの項目でやりがいや充実観を感じているほど割合が高く、特に（ア）「学習の基盤となる資質・能力の育成」と（オ）「デジタル・シティズンシップ教育の推進」の2項目では、「感じるときは少ない・まったく感じない」人よりも「よく感じている」人の方が30ポイント以上高くなっている。



- (Q9) 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？
 (Q3) あなたの職名は次のうちどれですか？

Q9 「学校で進めた方がよいこと」をQ3「職名」の回答別にみると、多くの項目で「主幹教諭・主任教諭」「教諭」と比べて「校長・副校長」の割合が高くなっている。また、「校長・副校長」は（ア）「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が最も高いが、「主幹教諭・主任教諭」と「教諭」では（カ）「働き方改革の推進」が最も高くなっている。



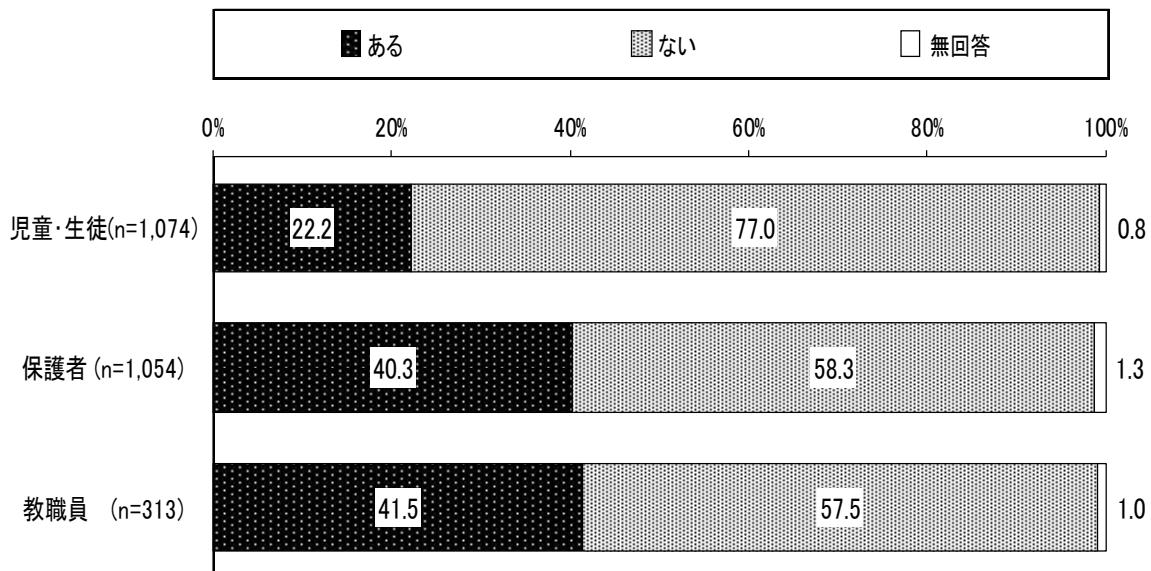
2 三者比較・二者比較

児童・生徒、保護者、教員で同一の内容を聴取している設問について、比較分析を行った。

(1) 変えたいきまりやルールの有無

- [Q 6 (児童・生徒)] あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものはありませんか？
- [Q 8 (保護者)] あなたは、今の学校のきまりやルールの中で、「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているものはありませんか？
- [Q 8 (教員)] 今いる学校のきまりやルールの中で「これはおかしい」と思ったり、「変えた方がよい」と思ったりするものがありますか？

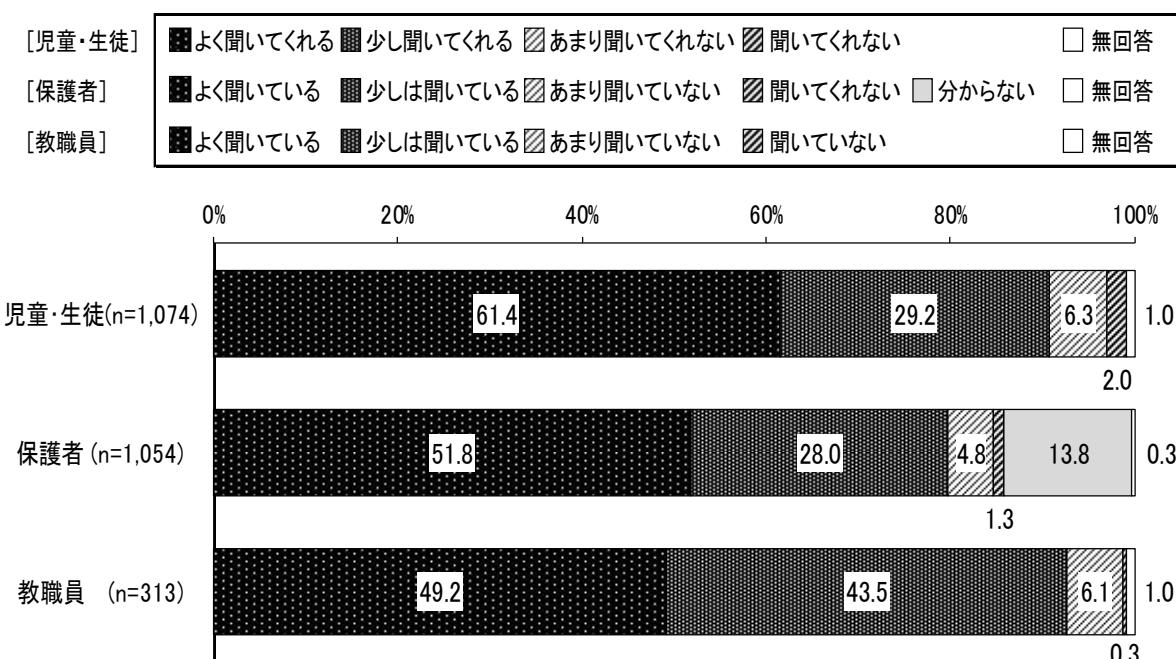
「ある」は保護者と教員では4割程度であるが、児童・生徒では22.2%と低くなっている。



(2)学校の取り組みや行事のときに意見を聞いてもらえるか

- [Q 4 (児童・生徒)] セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイディアや考えを聞いてくれますか？
- [Q 6 (保護者)] 先生たちは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイディアや考えを聞いていると思いますか？
- [Q 6 (教員)] セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイディアや考えを聞いていますか？

「よく聞いてくれる／よく聞いている」と「少し聞いてくれる／少しは聞いている」を合わせた《聞いてくれる／聞いている》は、児童・生徒と教員では9割を超えており、「よく聞いてくれる／よく聞いている」だけでみると、教員は49.2%と最も低くなっている。

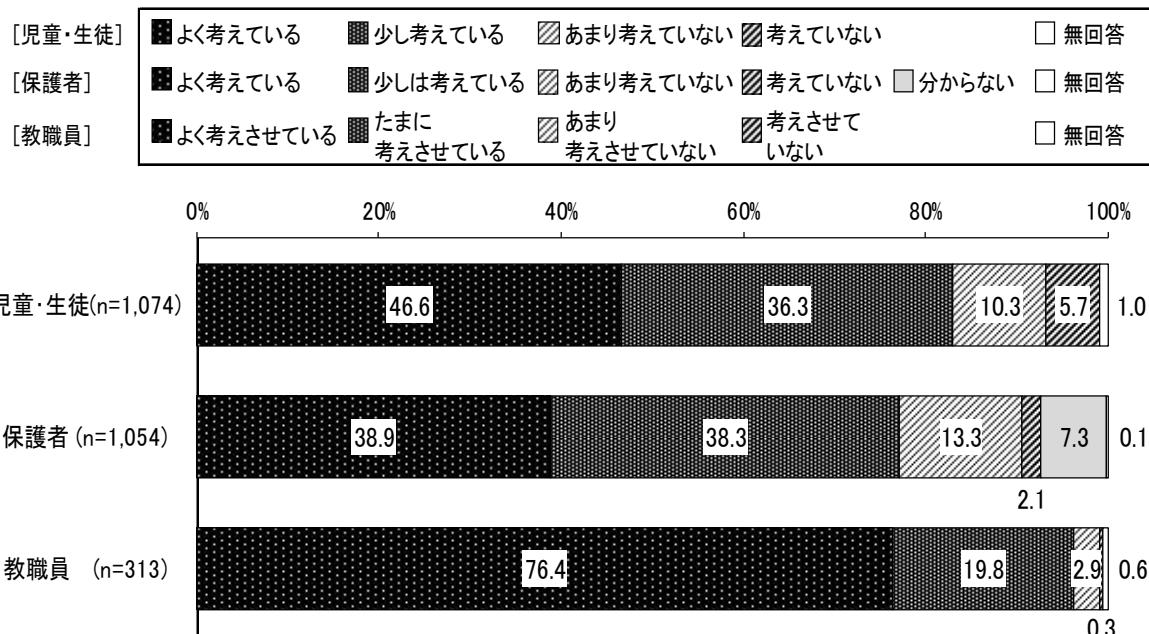


* 「分からない」は保護者のみの選択肢

(3)学校の取り組みや行事のときに目的や目標を考えているか

- [Q 5(児童・生徒)] あなたは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？
- [Q 6(保護者)] お子さんは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えて取り組んでいますか？
- [Q 6(教員)] セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちに「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えさせていますか？

「よく考えている／よく考えさせている」と「少し考えている／少しは考えている／たまに考えさせている」を合わせた《考えている／考えさせている》は、児童・生徒は 83.0%、保護者は 77.2%であるのに対し、教員は 96.2%と最も高く、特に「よく考えさせている」が 76.4%と 4 分の 3 を占めている。



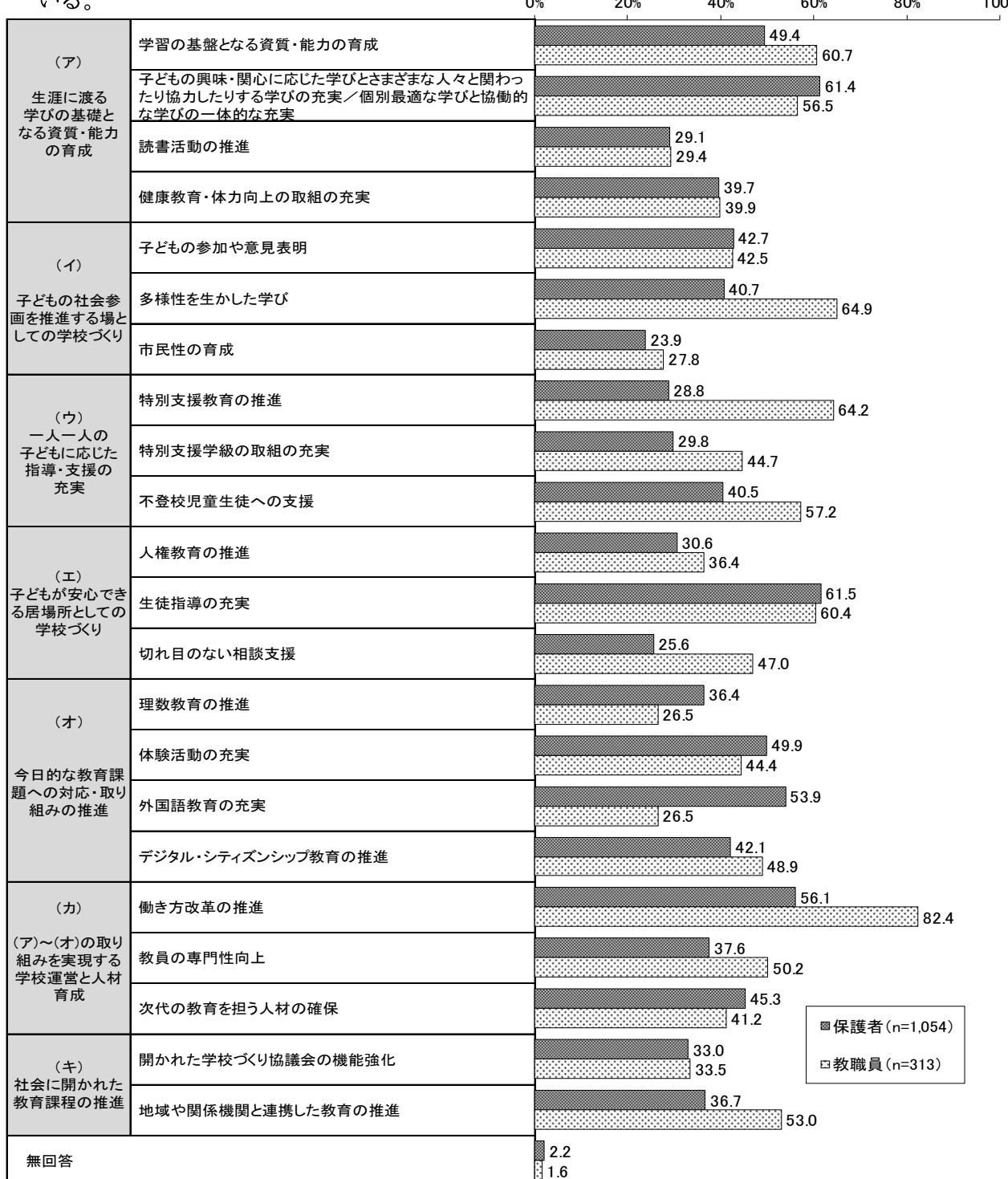
* 「分からない」は保護者のみの選択肢

(4)学校で進めてほしいこと

[Q9(保護者)] 学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

[Q9(教員)] 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

保護者は（エ）「生徒指導の充実」が61.5%と最も高く、次いで（ア）「子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実」(61.4%)、（カ）「働き方改革の推進」(56.1%)と続くが、教員は（カ）「働き方改革の推進」が82.4%と最も高く、次いで（イ）「多様性を生かした学び」(64.9%)、（ウ）「特別支援教育の推進」(64.2%)と続いている。

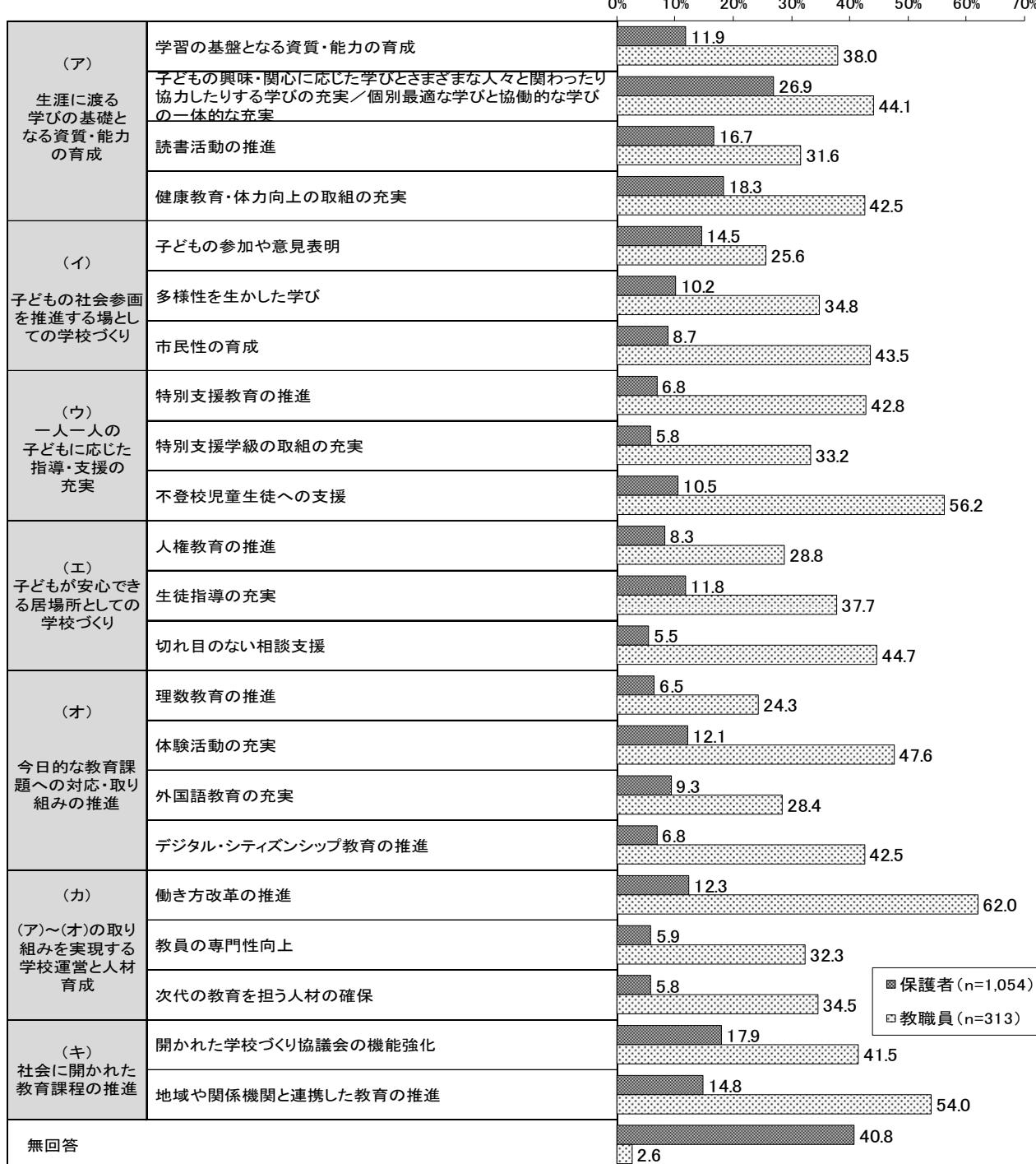


(5)学校に協力できること

[Q11(保護者)] Q9で挙げたもののうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、あなたが学校に協力できるものはありますか？複数ある場合は、複数の回答を選べます。

[Q11(教員)] Q9で挙げた取り組みのうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

保護者は（ア）「子どもの興味・関心等に応じた学びときままな人々と関わったり協力したりする学びの充実」が26.9%と最も高く、次いで（ア）「健康教育・体力向上の取組充実」（18.3%）、（キ）「開かれた学校づくり協議会の機能強化」（17.9%）と続くが、教員は（カ）「働き方改革の推進」が62.0%と最も高く、次いで（ウ）「不登校児童生徒への支援」（56.2%）、（キ）「地域や関係機関と連携した教育の推進」（54.0%）と続いている。



資料（調查票）

1 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（小学校6年生用）

□ 入力フォーム

1

2

3

質問は15問です。だいたい15分くらいで回答できます。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（小学校6年生用）

- あなたの名前を書く必要はありません。だれがどんな回答をしたのか分からないように集計します。
- あなたの日ごろの行動や気持ちに最もあてはまるものを選んでください。
- 「その他」を選んだときは、自分の答えを書いてください。
- あてはまるものがひとつもないときは、何も選ばなくていいです。

Q1. あなたにとって学校はどんな場所ですか？

- 楽しいときが多い
- まあ楽しい
- あまり楽しくない
- つらいときが多い

Q2. 学校にいるときに「楽しい」と感じるのはどんなときですか？3つまで選んでください。

Q1で「あまり楽しくない」、「つらいときが多い」を選んだ人も、少しでも楽しいと感じたことがあれば、そのときがどんなときだったかを選んでください。

- 授業中に問題が解けたとき
- 調べたり、実験したりしているとき
- 話し合いで色々な考えを出し合うとき
- 自分がやってみたいことにちょうど戦しているとき
- 先生や友だちが自分のことほめたり、認めてくれたりしたとき
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき
- 委員会やクラブ活動などで他の学年の人と関わっているとき

- 給食を食べているとき
- 好きなことをして、のんびりと過ごしているとき
- 特にない
- その他

Q3. なやみや困ったことがあったときにはだれに相談しますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 家族
- 学校の先生
- 友達
- スクールカウンセラー、相談員
- インターネットなどの相談サイト
- 相談する人はいない
- 相談するほどのなやみや困ったことはない
- その他

Q4. セカンドスクールや宿はく行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイディアや考えを聞いてくれますか？

- よく聞いてくれる
- 少し聞いてくれる
- あまり聞いてくれない
- 聞いてくれない

Q5. あなたは、セカンドスクールや宿はく行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういうことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？

- よく考えている
- 少し考えている
- あまり考えていない
- 考えていない

Q6. あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものはありますか？

- ある
- ない

Q6-2. それはどんなきまりやルールですか？

ここに、あなたが「おかしい」、「変えたい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q7. 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？5つまで選んでください。

- 自分の考えを作文などで上手に表現できるようにすること
- 学習者用コンピュータなどを使って自分が興味のあることを調べること
- 自分たちで考えた新しい取り組みを市役所や会社に提案すること
- オンラインを使って、他の地域やふだん会えない人などと交流すること
- いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること
- 学校や教室に行きづらくなったときの居場所をつくること
- 大学や会社の最新の研究を見たり、体験したりすること
- 図書館の本を学校で借りたり、学習者用コンピュータで電子書せきを読んだりすること

- たくさんの自然を見たりふれたりすること
- プロの音楽家の演奏をきいたり、美術作品を見たりすること
- 外国人や留学生と英語で話したり、遊んだりして交流すること
- スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること
- 医師などに病気の予防や体や心の健康について教えてもらうこと
- 動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること
- 先生や地域の人などと協力して、自分たちで学校のきまりや新しい取り組みをつくること
- 特にない

Q8. Q7以外に、学校で「もっとやってほしい」、「あなたがやってみたい」と思うことは何ですか？

ここに、上に書いてあるもの以外で、あなたが「もっとやってほしい」、「やってみたい」と思うことを書いてください。

0 / 60000

Q9. 放課後に、一番よくいる場所はどこですか？1つ選んでください。

- 自分の家
- 友達の家
- じゅく・習い事
- クラブ活動・部活動
- あそべえ・学童クラブ
- 公園
- 児童館・コミュニティセンター
- 祖父母・親せきの家
- その他

Q10. 放課後は、何をして過ごすことが多いですか？3つまで選んでください。

- 家族と過ごす
- 友達と遊ぶ
- 勉強（じゅくをふくむ）
- スポーツ（習い事をふくむ）
- 本を読む
- 音楽をきく・演奏する（習い事をふくむ）
- テレビを見る
- けい帯ゲーム・オンラインゲーム
- スマホ・タブレット・パソコンで動画・SNS（ツイッター・LINEなど）を見る（投こうする）
- 家族の手伝い
- その他

Q11. 放課後の勉強はどのようにしていますか？3つまで選んでください。

- 家で教科書や参考書を使って勉強する
- 家の人に教えてもらったり、家人といっしょに勉強をしたりする
- 学習者用コンピュータや家のタブレットやパソコンを使って勉強する
- 学校の図書館で勉強する
- 学校以外の市のしせつ（コミュニティセンターや中央図書館など）で勉強する
- じゅくで勉強したり、家庭教師に教えてもらう
- 放課後は勉強をしない
- その他

Q12. 放課後や休日に、自分のやりたいことや好きなことをする時間はありますか？

- ある
- 少しある
- あまりない
- まったくない

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

「子どもの権利」とは、子どものみなさんが安心して生活できること、自信をもって生きていこと、自由に意見を言つたり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なものです。

- 内容を知っている
- 名前だけ知っている
- まったく知らない

Q14. 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか？大切だと思うものを、3つまで選んでください。

- 安心して生きる権利
- 自分らしく育つ権利
- 遊ぶ権利
- 休息する権利
- 自分の意思で学ぶ権利
- 自己の気持ちを尊重される権利
- 意見を表明し、参加する権利
- 差別されずに生きる権利

Q15. 家族の中にあなたがいつも助けたり、お世話をしたりしている人はいますか？

(注意) この質問では、「助けたり、お世話をしたり」とは、例えば、病気や障害がある家族の看病やかい護をしたり、幼いきょうだいに食事を作つてあげたりすることを言います。

- いる
- いない

Q16. 家族を助けたり、お世話をしたりすることで、あなたの生活にどんなえいきょうが出ていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 学校の休みやちこくが増えた
- 学校への書類やプリントの提出がおくれる
- 自分のやりたいことや好きなことをする時間が少ない
- 勉強の時間が十分に取れない
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない
- 修学旅行などの宿はくする行事に参加することを迷う（または参加できない）
- お世話について相談できる人がいない
- お世話することがストレスでイライラすることが多い
- ねむかったり、体がだるかったりすることが多い
- しっかり食べていない
- 進路についてしっかり考える時間がない
- 特にえいきょうはない
- 分からない、答えたくない
- その他

[→ 確認画面へ進む](#)

 入力内容を一時保存する

2 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（中学校3年生用）

□ 入力フォーム

1

2

3

質問は15問です。だいたい15分くらいで回答できます。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（中学校3年生用）

- あなたの名前を書く必要はありません。だれがどんな回答をしたのか分からないように集計します。
- あなたの日ごろの行動や気持ちに最もあてはまるものを選んでください。
- 「その他」を選んだときは、自分の答えを書いてください。
- あてはまるものがひとつもないときは、何も選ばなくていいです。

Q1. あなたにとって学校はどんな場所ですか？

- 楽しいときが多い
- まあ楽しい
- あまり楽しくない
- つらいときが多い

Q2. 学校にいるときに「楽しい」と感じるのはどんなときですか？3つまで選んでください。

Q1で「あまり楽しくない」、「つらいときが多い」を選んだ人も、少しでも楽しいと感じたことがあれば、そのときがどんなときだったかを選んでください。

- 授業中に問題が解けたとき
- 調べたり、実験したりしているとき
- 話し合いで色々な考えを出し合うとき
- 自分がやってみたいことに挑戦しているとき
- 先生や友だちが自分のことをほめたり、認めてくれたりしたとき
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき
- 委員会やクラブ活動などで他の学年の人と関わっているとき

- 給食を食べているとき
- 好きなことをして、のんびりと過ごしているとき
- 特にない
- その他

Q3. なやみや困ったことがあったときにはだれに相談しますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 家族
- 学校の先生
- 友達
- スクールカウンセラー、相談員
- インターネットなどの相談サイト
- 相談する人はいない
- 相談するほどのなやみや困ったことはない
- その他

Q4. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイディアや考えを聞いてくれますか？

- よく聞いてくれる
- 少し聞いてくれる
- あまり聞いてくれない
- 聞いてくれない

Q5. あなたは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういうことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？

- よく考えている
- 少し考えている
- あまり考えていない
- 考えていない

Q6. あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものがありますか？

- ある
- ない

Q6-2. それはどんなきまりやルールですか？

ここに、あなたが「おかしい」、「変えたい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q7. 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？5つまで選んでください。

- 自分の考えを作文などで上手に表現できるようにすること
- 学習者用コンピュータなどを使って自分が興味のあることを調べること
- 自分たちで考えた新しい取り組みを市役所や会社に提案すること
- オンラインを使って、他の地域や普段会えない人などと交流すること
- いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること
- 学校や教室に行きづらくなったときの居場所をつくること
- 大学や会社の最新の研究を見たり、体験したりすること
- 図書館の本を学校で借りたり、学習者用コンピュータで電子書籍を読んだりすること

- たくさんの自然を見たりふれたりすること
- プロの音楽家の演奏を聴いたり、美術作品を見たりすること
- 外国人や留学生と英語で話したり、遊んだりして交流すること
- スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること
- 医師などに病気の予防や体や心の健康について教えてもらうこと
- 動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること
- 先生や地域の人などと協力して、自分たちで学校のきまりや新しい取り組みをつくること
- 特にない

Q8. Q7以外に、学校で「もっとやってほしい」、「あなたがやってみたい」と思うことは何ですか？

ここに、上に書いてあるもの以外で、あなたが「もっとやってほしい」、「やってみたい」と思うことを書いてください。

0 / 60000

Q9. 放課後に、一番よくいる場所はどこですか？1つ選んでください。

- 自分の家
- 友達の家
- 塾・習い事
- クラブ活動・部活動
- あそべえ・学童クラブ
- 公園
- 児童館・コミュニティセンター
- 祖父母・親せきの家
- その他

Q10. 放課後は、何をして過ごすことが多いですか？3つまで選んでください。

- 家族と過ごす
- 友達と遊ぶ
- 勉強（塾を含む）
- スポーツ（習い事を含む）
- 本を読む
- 音楽を聞く・演奏する（習い事を含む）
- テレビを見る
- 携帯ゲーム・オンラインゲーム
- スマホ・タブレット・パソコンで動画・SNS（ツイッター・LINEなど）を見る（投稿する）
- 家族の手伝い
- その他

Q11. 放課後の勉強はどのようにしていますか？3つまで選んでください。

- 家で教科書や参考書を使って勉強する
- 家の人に教えてもらったり、家人と一緒に勉強をしたりする
- 学習者用コンピュータや家のタブレットやパソコンを使って勉強する
- 学校の図書館で勉強する
- 学校以外の市の施設（コミュニティセンターや中央図書館など）で勉強する
- 塾で勉強したり、家庭教師に教えてもらう
- 放課後は勉強をしない
- その他

Q12. 放課後や休日に、自分のやりたいことや好きなことをする時間はありますか？

- ある
- 少しある
- あまりない
- まったくない

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

「子どもの権利」とは、子どものみなさんが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なものです。

- 内容を知っている
- 名前だけ知っている
- まったく知らない

Q14. 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか？大切だと思うものを、3つまで選んでください。

- 安心して生きる権利
- 自分らしく育つ権利
- 遊ぶ権利
- 休息する権利
- 自分の意思で学ぶ権利
- 自分の気持ちを尊重される権利
- 意見を表明し、参加する権利
- 差別されずに生きる権利

Q15. 家族の中にあなたがいつも助けたり、お世話をしたりしている人はいますか？

(注意) この質問では、「助けたり、お世話をしたり」とは、例えば、病気や障害がある家族の看病やかい護をしたり、幼いきょうだいに食事を作つてあげたりすることを言います。

- いる
- いない

Q16. 家族を助けたり、お世話をしたりすることで、あなたの生活にどんな影響が出ていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 学校の休みや遅刻が増えた
- 学校への書類やプリントの提出が遅れる
- 自分のやりたいことや好きなことをする時間が少ない
- 勉強の時間が十分に取れない
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない
- 修学旅行などの宿泊する行事に参加することを迷う（または参加できない）
- お世話について相談できる人がいない
- お世話することがストレスでイライラすることが多い
- 眠かったり、体がだるかったりすることが多い
- しっかり食べていない
- 進路についてしっかり考へる時間がない
- 特に影響はない
- 分からない、答えたくない
- その他

→ 確認画面へ進む

■ 入力内容を一時保存する

3 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（保護者用）

□ 入力フォーム

1

2

3

アンケートは15問です。15分くらいで回答できますので、令和5年7月25日までに回答してください。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（保護者用）

- ・このアンケートは、「第四期学校教育計画」と「第六次子どもプラン武蔵野」を作るために活用します。
- ・市立小学校6年生と市立中学校3年生の保護者の皆様全員を対象としています（7月25日締切）。
- ・アンケートの結果は、個人の回答内容が分からないように集計して公表する予定です。
- ・自分の気持ちや回答にあてはまる項目を、それぞれの質問で指定してある数以内で選んで回答してください。
- ・あてはまる項目がひとつもないときは、何も選ばなくともいいです。
- ・アンケートの回答は、1回のみ有効です。

Q1. 回答の対象となるお子さんの学年は、次のうちどちらですか？

市立小学校6年生と市立中学校3年生のお子さんが2人以上いる場合は、一番年上のお子さんについて回答してください。

- 小学校6年生
- 中学校3年生

Q2. お子さんは学校に楽しそうに通っていますか？

- いつも楽しそう
- 楽しそうなときが多い
- 楽しそうでないときが多い
- いつも楽しそうでない
- 分からない

Q3. お子さんは、次のような学校での出来事を家で話しますか？家で話すことを3つまで選んでください。

- その日学習したこと
- 友達と話したことや遊んだこと
- 学校の先生のこと
- 学校で困っていること
- 進路や将来のこと
- 学校での出来事は話さない
- 子どもから話を聞く時間がない
- その他

Q4. お子さんの日常生活について心配していることはありますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 友人関係
- 登校しぶりや不登校
- 勉強や成績のこと
- クラブ活動や部活動のこと
- SNSとの付き合い方
- 仕事や家事が忙しくて子どもと関わる時間が少ない
- 特になし
- その他

Q5. あなたが子育てで悩んでいたりする時、誰に相談できますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 家族
- 学校の先生
- カウンセラーなどの専門家
- 知人・友人
- 市役所
- インターネットなどの相談サイト
- SNSでつながった人
- 相談できる人はいない
- 相談したいことはない
- その他

Q6. 先生たちは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイディアや考えを聞いていると思いますか？

- よく聞いている
- 少しは聞いている
- あまり聞いていない
- 聞いていない
- 分からない

Q7. お子さんは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えて取り組んでいますか？

- よく考えている
- 少し考えている
- あまり考えていない
- 考えていない
- 分からない

Q8. あなたは、今の学校のきまりやルールの中で、「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているものがありますか？

- ある
- ない

Q8-2.それはどんなきまりやルールですか？

ここに、あなたが「おかしい」「変えたい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q9. 学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

(ア) 生涯に渡る学びの基盤となる資質・能力の育成

- 学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級会や生徒会活動等における話し合いを通した合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインに基づく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、相談員・関係機関やNPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利に関する理解の促進、人権課題の理解など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、進学先との連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSでのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性向上（教員が研究会等への参加することの補助や支援）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q10. Q9で挙げたもの以外に進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことはどんなことですか？

ここに、Q9の選択項目以外で進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことを書いてください。

0 / 60000

Q11. Q9で挙げたもののうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、あなたが学校に協力できるものはありますか？複数ある場合は、複数の回答を選べます。

(ア) 生涯に渡る学びの基盤となる資質・能力の育成

- 学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級会や生徒会活動等における話し合いを通した合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインに基づく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、相談員・関係機関やNPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利に関する理解の促進、人権課題の理解など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、進学先との連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSでのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性向上（教員が研究会等への参加することの補助や支援）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q12. 武蔵野市の教育に関する施策で、知っているものがありますか？知っているものをすべて選んでください。

- 学校司書（令和4年度まで「図書館サポーター」）の配置
- 武蔵野市民科の実施
- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- スクールカウンセラーによる相談
- 家庭と子どもの支援員による不登校対応
- 就学援助制度（学用品費、給食費の援助）
- 小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和
- 中学校への部活動指導員の配置
- 開かれた学校づくり協議会
- 広報誌「きょういく武蔵野」の発行
- 武蔵野市子どもの権利条例

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

「子どもの権利」とは子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なものです。

- 内容を知っている。
- 名前だけ知っている。
- 全く知らない。

Q14. 子どもに関わる費用で負担を感じているもの、または費用負担のためにあきらめているものがありますか？あてはまる項目をすべて選んでください。

- 学校の教材費
- 給食費
- 習いごと（ピアノ、ダンス、書道など）やスポーツクラブでの活動（水泳、野球、サッカーなど）の費用（クラブ活動、部活動を含む）
- 学力向上のための費用（塾、学習参考書、通信教材）
- 芸術鑑賞（コンサート、美術館に行くなど）
- 自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）
- 異文化交流（外国人との交流、外国訪問など）
- スマホなどの通信費
- 大学等への進学のための費用
- 特になし

Q15. 次の項目のうち、地域や保護者のボランティアが行うなど、必ずしも学校が担う必要がないと思うものがありますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 登下校時の見守り
- 放課後や夜間、お祭りの時の見回り
- 地域のボランティアと学校との連絡調整
- 休み時間の校庭等での遊びの見守り
- 校内清掃
- 中学校の部活動や小学校の吹奏楽部、合唱クラブの練習
- 給食の配膳準備や見守り

- 運動会などの学校行事の準備、運営の手伝い
- この項目の中にはない
- その他

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

4 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（教員用）

□ 入力フォーム

1

2

3

質問は15問です。15分くらいで終わります。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（教員向け）

- ・教育委員会では、今年度から来年度にかけて、第四期武蔵野市学校教育計画（令和7～11年度）の策定を行います。
- ・このアンケートは、計画策定のための基礎資料として活用するため、武蔵野市立の小・中学校の教員全員を対象に行うものです。
- ・あてはまる項目が一つもないときは、何も選ばなくて構いません。
- ・アンケートは匿名で行い、集計しますので、個人が特定されることはありません。・

Q1. あなたが勤務している学校は次のどちらですか？ 必須

- 小学校
- 中学校

Q2. 武蔵野市の学校に勤務した年数（通算）はどの区分に当てはまりますか？ 必須

- 1年未満
- 1年以上5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上

Q3. あなたの職名は次のうちどれですか？ 必須

- 校長
- 副校長
- 主幹教諭・指導教諭
- 主任教諭・主任養護教諭
- 教諭・養護教諭
- 非常勤教員

Q4. 今の仕事にやりがいや充実感を感じていますか？

- よく感じている
- 感じるときもある
- 感じるときは少ない
- まったく感じない
- 分からない

Q5. どんなときに仕事のやりがいや充実感を感じますか？あてはまるものすべてを選択してください。

- 受け持っている子どもの成長を感じたとき
- 子どもからの相談を受けているとき
- 学校行事や大きな取り組みがうまくいったとき
- 子どもや保護者から感謝の言葉を述べられたとき
- 保護者の悩みなどの相談を受けているとき
- 同僚から授業などの相談を受けているとき
- 授業準備や教材研究をしているとき
- 同僚や管理職から自分の仕事が認められたとき
- その他

Q6. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイディアや考えを聞いていますか？

- よく聞いている
- 少しは聞いている
- あまり聞いていない
- 聞いていない

Q7. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちに「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えさせていますか？

- よく考えさせている
- たまに考えさせている
- あまり考えさせていない
- 考えさせていない

Q8. 今いる学校のきまりやルールの中で「これはおかしい」と思ったり、「変えた方がよい」と思ったりするものはありますか？

- ある
- ない

Q8-2.それはどんなルールですか？

ここに、「これはおかしい」、「変えた方がよい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q9. 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

(ア) 生涯に渡る学びの基礎となる資質・能力の育成

- 学習の基礎となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館の活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組の充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通した合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、SCやSSWなど関係機関、NPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保子小の連携、小中の連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館等との連携、STEAM教育など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q10. Q9以外に、市立小・中学校全体で進めていくとよいと、あなたが考える取り組みはどんなことですか？

ここに、上の選択項目以外で、あなたが進めていくとよいと考える取り組みを書いてください。

0 / 60000

Q11. Q9で掲げた取り組みのうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

(ア) 生涯に渡る学びの基礎となる資質・能力の育成

- 学習の基礎となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館の活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組の充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、SCやSSWなど関係機関、NPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保子小の連携、小中の連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館等との連携、STEAM教育など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q12. 武藏野市では市講師や部活動指導員、ICTサポーターなど様々な人材を学校に配置や派遣をしています。こうした人材との連携を進めていく上で、どのような課題があると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 学校に来る人材が、それぞれどのような役割を担っているのかが分からない
- 勤務時間内に打ち合わせをする時間がない
- 学校の実態に合った人材を探すことが難しい
- 学校教育や子どもに関わる人材としての素養が不十分な場合がある
- その他

Q13. 武蔵野市の施策で知っているものすべて選んでください。

- 学校司書（図書館サポーター）の配置
- 武蔵野市民科の実施
- 地域の教育力予算
- デジタル・シティズンシップ教育
- プログラミング教材の貸出
- 教育相談員の配置
- 家庭と子どもの支援員による不登校対応
- 子どもの家庭生活 気づきのチェックリスト
- 就学援助制度（学用品費や給食費の援助、所得制限あり。）
- 小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和
- 中学校部活動指導員の配置
- 研究課題の発表会等への参加費補助
- 開かれた学校づくり協議会
- 広報誌「きょういく武蔵野」の発行
- 子どもの権利条例

Q14. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

子どもの権利とは子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり、活動したりすることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なものです。

- 内容を知っている
- 名前だけ知っている
- 全く知らない

武蔵野市が特に大切にしている8つの子どもの権利とは、「安心して生きる権利」「自分らしく育つ権利」「遊ぶ権利」「休息する権利」「自分の意志で学ぶ権利」「自分の気持ちを尊重される権利」「意見を表明し、参加する権利」「差別されずに生きる権利」のことと言います。

Q15. 子どもに「子どもの権利」を教えるにあたって、どのような難しさを感じていますか？

- 適切な教材がない
- 子どもに关心を持つてもらうのが難しい
- 子どもの権利について教える時間がない
- 子どもの権利を教える具体的な方法が分からぬ
- 自分自身が子どもの権利をよく理解できていない
- 難しさを感じていない
- その他

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

令和5年度
武藏野市子どもの学習・生活に関する調査報告書

発行年月 令和6年1月
発 行 武蔵野市教育委員会教育部教育企画課
武蔵野市緑町2-2-28
電話 0422-60-1894

